

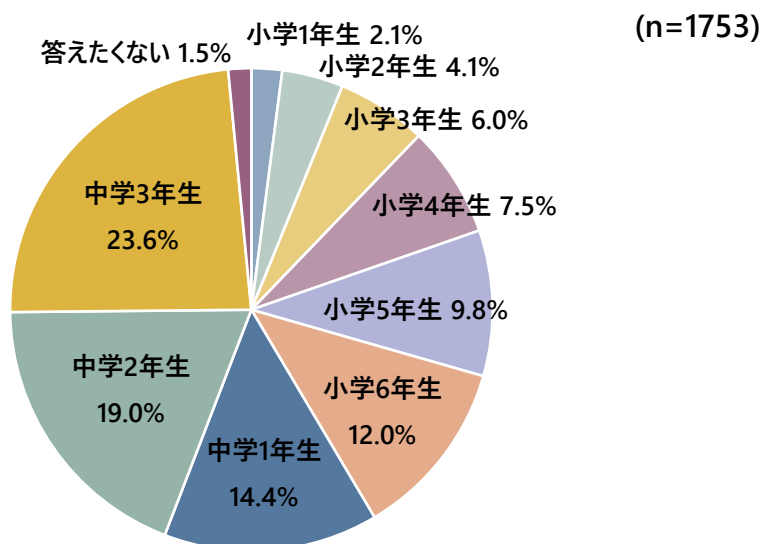
### 3. 児童生徒向けアンケート調査結果

#### ■回答者について

##### (1)学年

現在何年生かを尋ねたところ、「中学3年生」の割合が最も高く 23.6%である。次いで、「中学2年生 (19.0%)」、「中学1年生 (14.4%)」である。

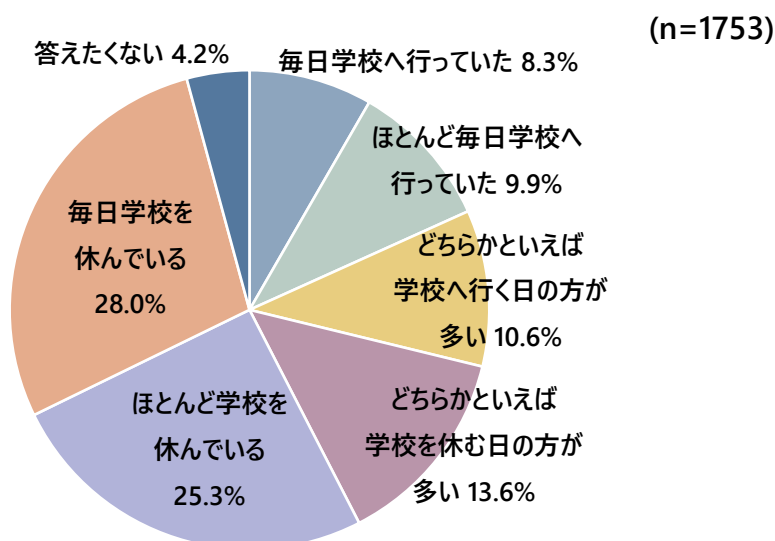
図表 56 学年



##### (2)令和5年の11月に学校に行っていた回数

令和5年11月に学校に行っていた回数を尋ねたところ、「毎日学校を休んでいる」の割合が最も高く 28.0%である。次いで、「ほとんど学校を休んでいる (25.3%)」、「どちらかといえば学校を休む日の方が多い (13.6%)」である。

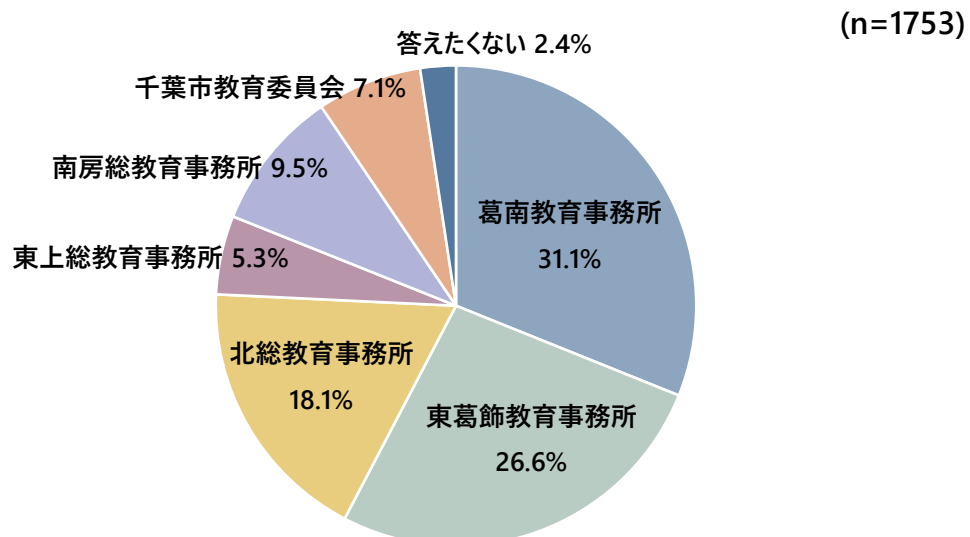
図表 57 令和5年度の11月に学校に行っていた回数



### (3)居住する市町村(管轄する教育事務所)

居住する市町村を尋ね、管轄する教育事務所別に割合を算出した。その分布は以下の通りである。

図表 58 居住する市町村(管轄する教育事務所)

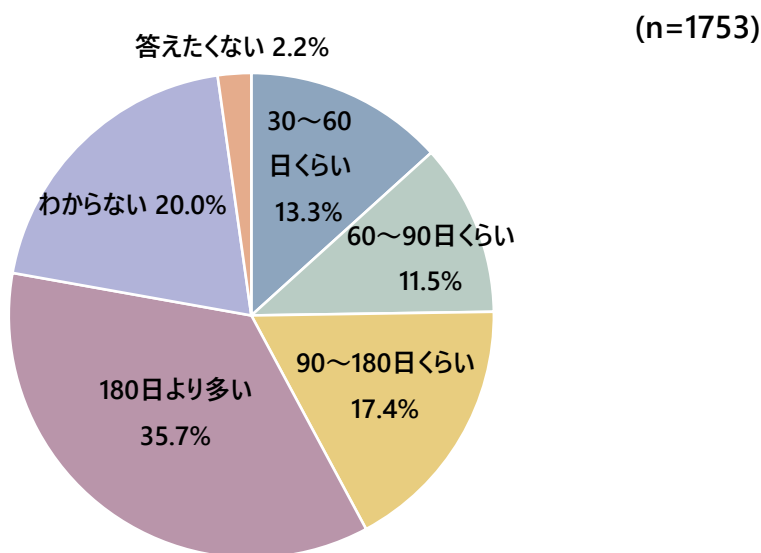


#### (4)令和4年度に学校を休んだ日数

##### ①全体

令和4年度に学校を休んだ日数を尋ねたところ、「180日より多い」の割合が最も高く35.7%である。次いで、「わからない(20.0%)」、「90～180日くらい(17.4%)」である。

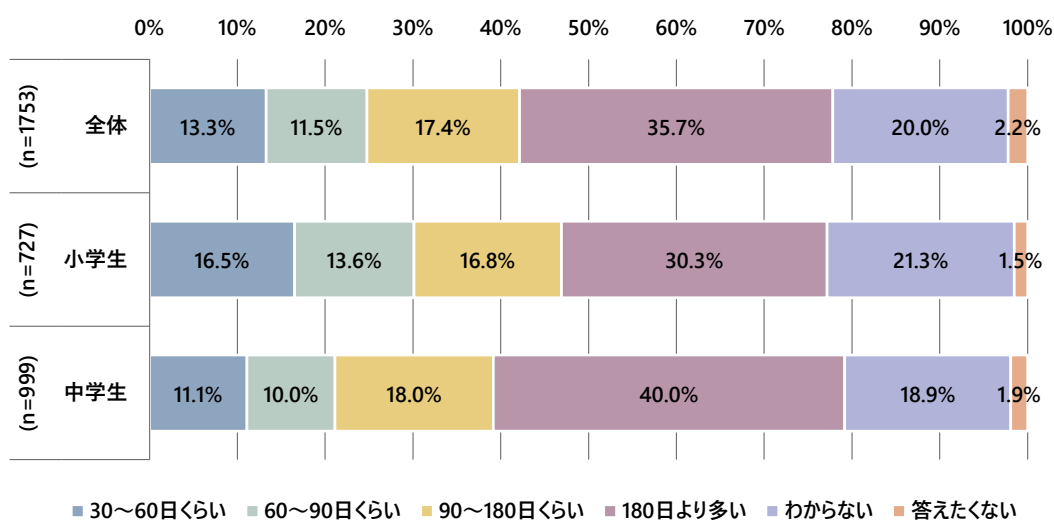
図表 59 令和4年度に学校を休んだ日



##### ②学校種別

学校種別にみると、中学生において、「180日より多い」と回答した割合が高いなど、休んだ日数が多い傾向がみられる。

図表 60 令和4年度に学校を休んだ日数(学校種別)



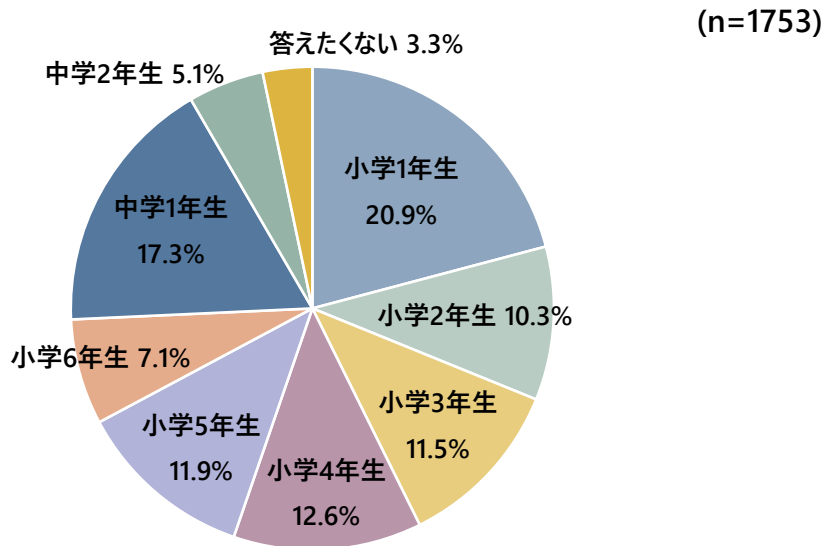
## ■学校を休み始めた時期

### (5)最初に学校に「行きたくない」と思った学年

#### ①全体

最初に学校に「行きたくない」と思った学年を尋ねたところ、「小学1年生」の割合が最も高く20.9%である。次いで、「中学1年生(17.3%)」、「小学4年生(12.6%)」である。

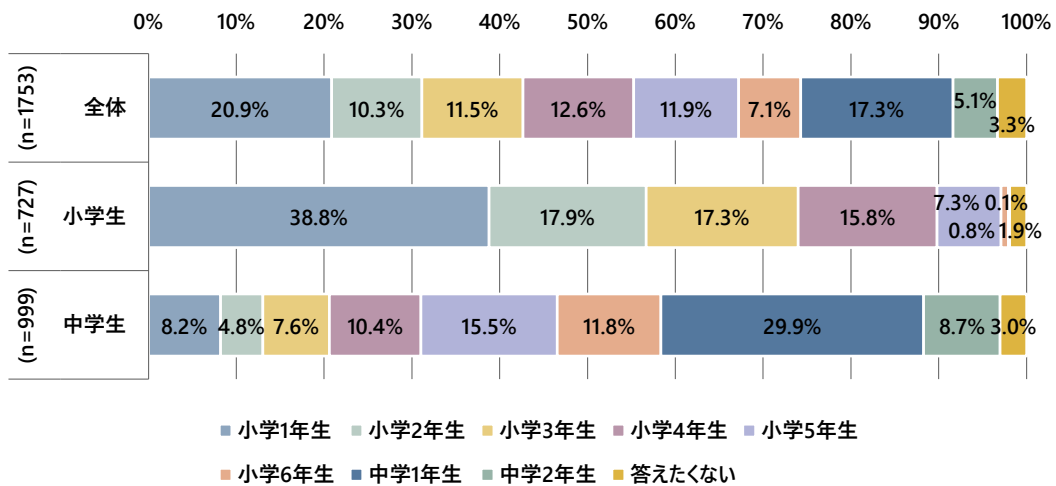
図表 61 最初に学校に「行きたくない」と思った学年



#### ②学校種別

学校種別にみると、小学生では「小学1年生」の回答割合が高く、中学生では「中学1年生」の回答割合が高いほか、小学生の頃と回答する割合も半数以上にのぼった。

図表 62 最初に学校に「行きたくない」と思った学年(学校種別)

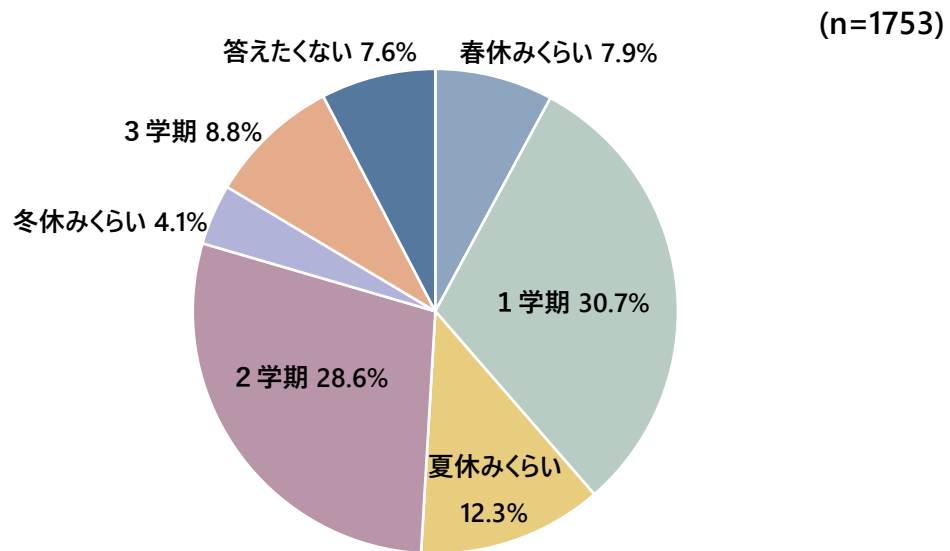


## (6)最初に学校に「行きたくない」と思った時期

### ①全体

最初に学校に「行きたくない」と思った時期を尋ねたところ、「1学期」の割合が最も高く30.7%である。次いで、「2学期(28.6%)」、「夏休みくらい(12.3%)」である。

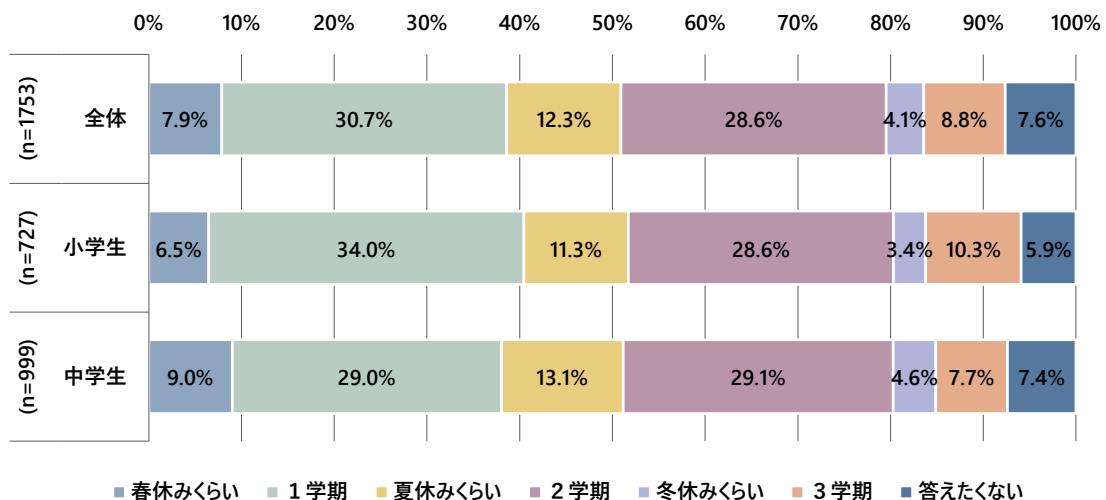
図表 63 最初に学校に「行きたくない」と思った時期



### ②学校種別

学校種別にみると、特段の傾向の差は見られなかった。

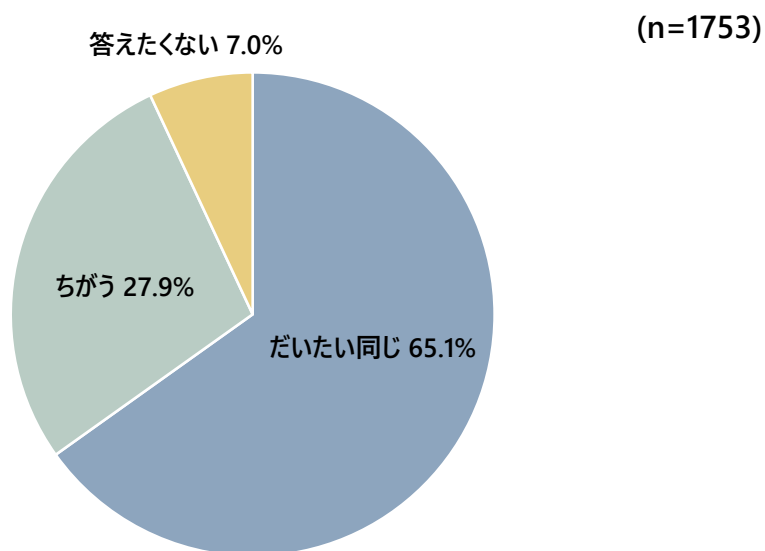
図表 64 最初に学校に「行きたくない」と思った時期(学校種別)



### (7)学校に「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期の差

学校に「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期の差を尋ねたところ、65.1%が「だいたい同じ」であり、次いで、「ちがう (27.9%)」「答えたくない (7.0%)」である。

図表 65 学校に「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期の差

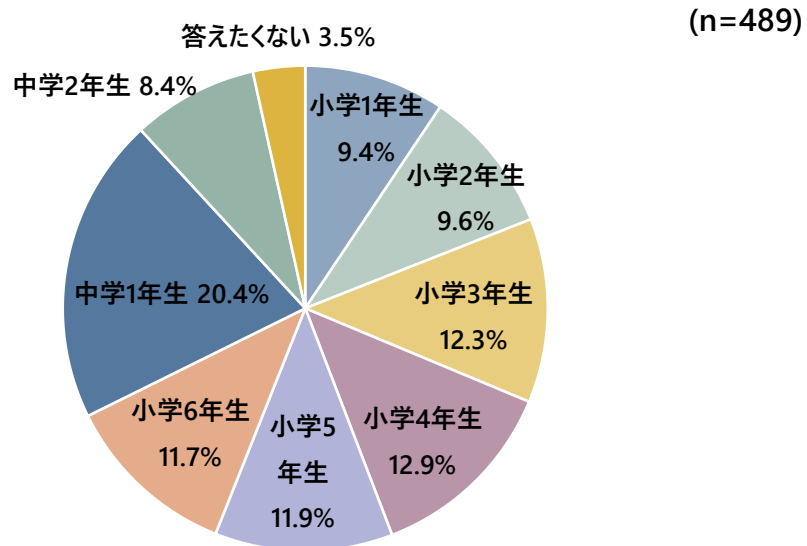


## (8)実際に学校を休み始めた学年

### ①全体

「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期が違くと回答した人に、実際に学校を休み始めた学年を尋ねたところ、「中学1年生」の割合が最も高く20.4%である。次いで、「小学4年生(12.9%)」、「小学3年生(12.3%)」である。

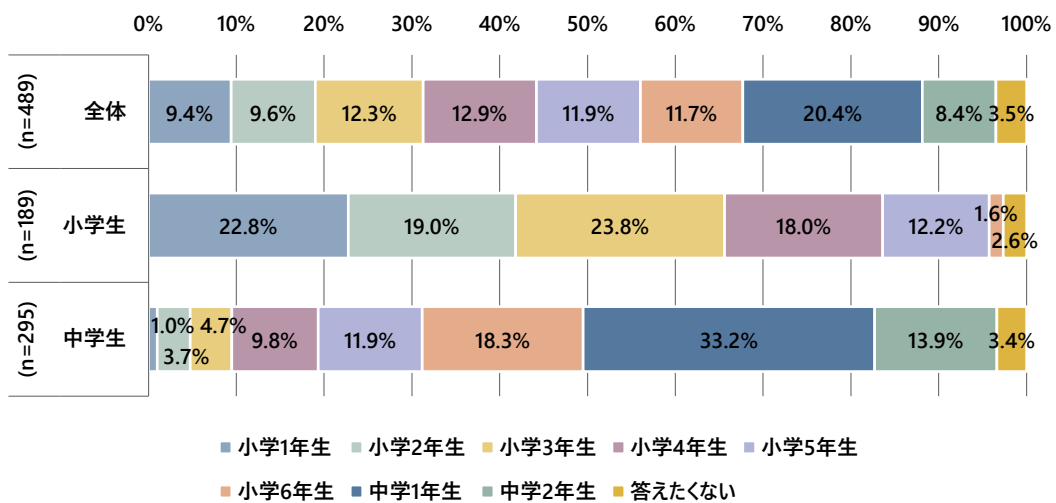
図表 66 実際に学校を休み始めた学年



### ②学校種別

学校種別にみると、小学生・中学生いずれも、実際に休み始めた時期は最初に学校に「行きたくない」と感じた時期より全体として後ろ倒しになっている。

図表 67 実際に学校を休み始めた学年(学校種別)

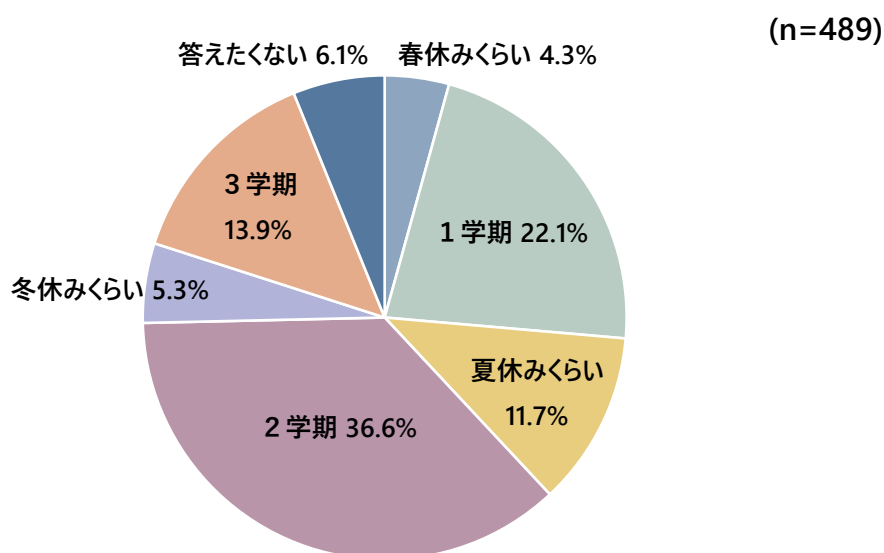


## (9)実際に学校を休み始めた時期

### ①全体

「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期が違うと回答した人に、実際に学校を休み始めた時期を尋ねたところ、「2 学期」の割合が最も高く 36.6%である。次いで、「1 学期 (22.1%)」、「3 学期 (13.9%)」である。

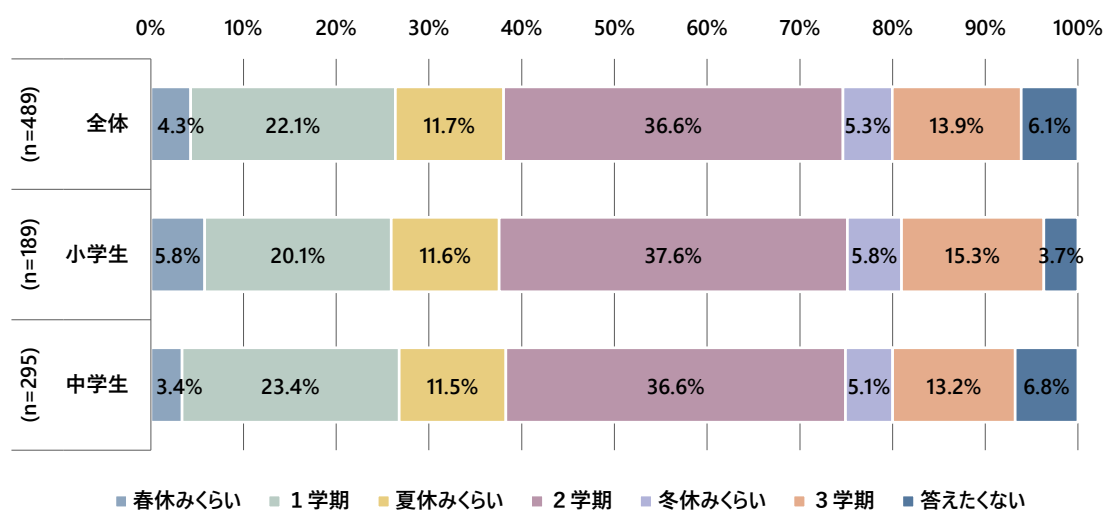
図表 68 実際に学校を休み始めた時期



### ②学校種別

学校種別にみると、特段の差は見られなかった。

図表 69 実際に学校を休み始めた時期(学校種別)



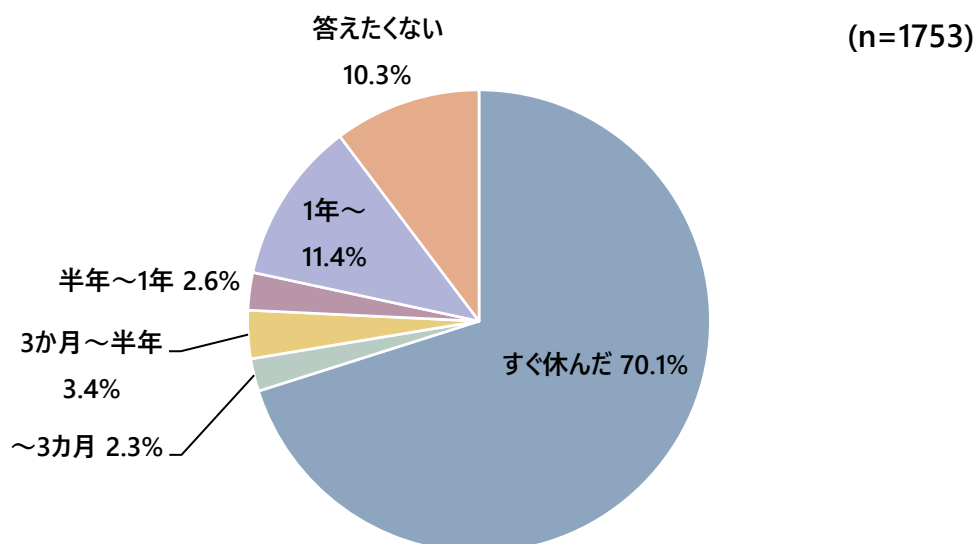


## (10)「行きたくない」と思ってから実際に学校を休み始めるまでの期間

### ①全体

行きたくないと思ってから実際に学校を休み始めるまでの期間について、大体の長さを分析した。「すぐ休んだ」の割合が 70.1%と高くなっているが、1年以上という回答も 11.4%存在している。

図表 70 「行きたくない」と思ってから実際に学校を休み始めるまで



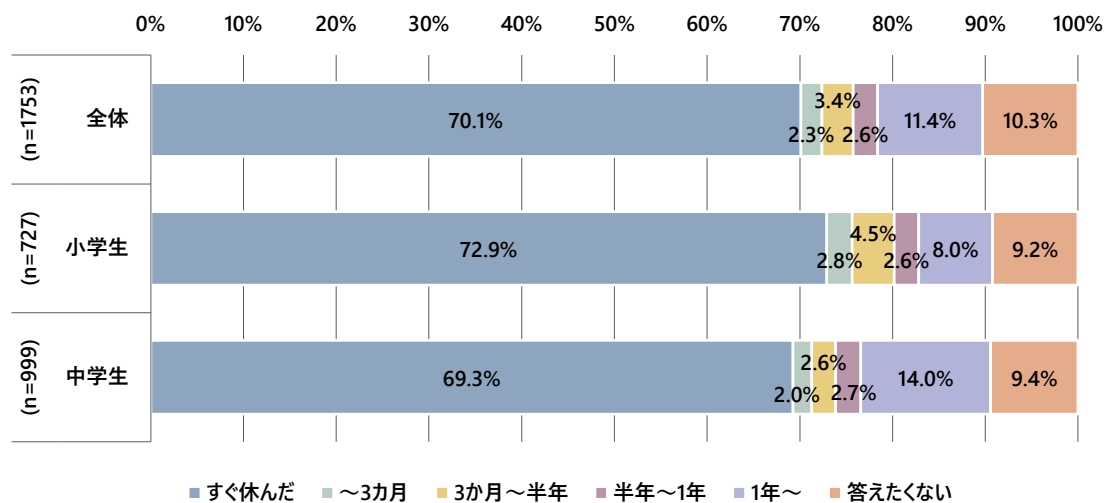
【備考】 行きたくないと思ってから実際に学校を休み始めるまでの期間の算出方法について

- ・ はじめに学校に行きたくないと思った時期および実際に休み始めた時期の各選択肢について、「春休みくらい」＝「3月」、「1学期（4～7月）」＝「5月」、「夏休み」＝「8月」、「2学期（9～12月）」＝「10月」、「冬休み」＝「12月」、「3学期（1～3月）」＝「2月」と見なし、両者の差分を分析している。
- ・ なお、差分が1年を超える場合もあるため、学年情報も加味している。

## ②学校種別

学校種別にみると、中学生において、「1年～」と回答した割合が高いなど、実際に休み始めるまでの期間が長い傾向がみられる。

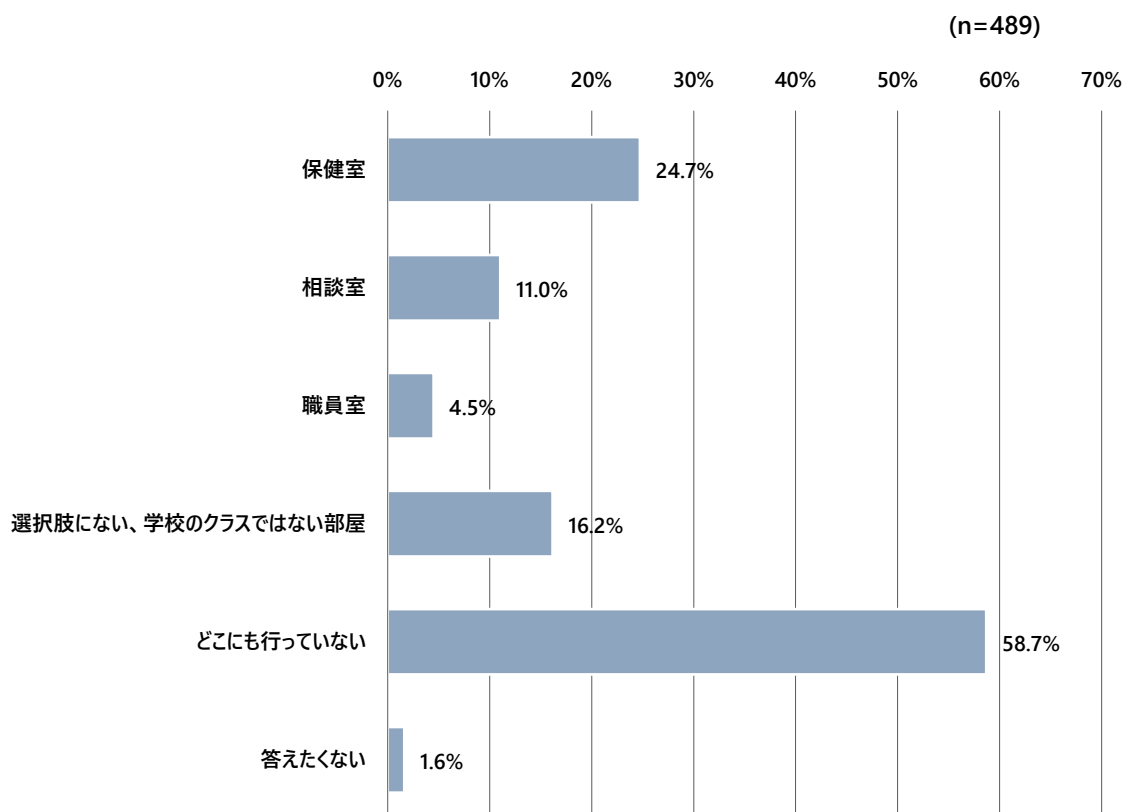
図表 71 「行きたくない」と思ってから実際に学校を休み始めるまで(学校種別)



### (11) 学校を休み始めるまでに行ったことのある学校内のクラス以外の場所

「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期が違っていると回答した人に、学校を休み始めるまでに行ったことのある学校内のクラス以外の場所を尋ねたところ、「どこにも行ってない」の割合が最も高く 58.7%である。次いで、「保健室 (24.7%)」、「選択肢がない、学校のクラスではない部屋 (16.2%)」である。

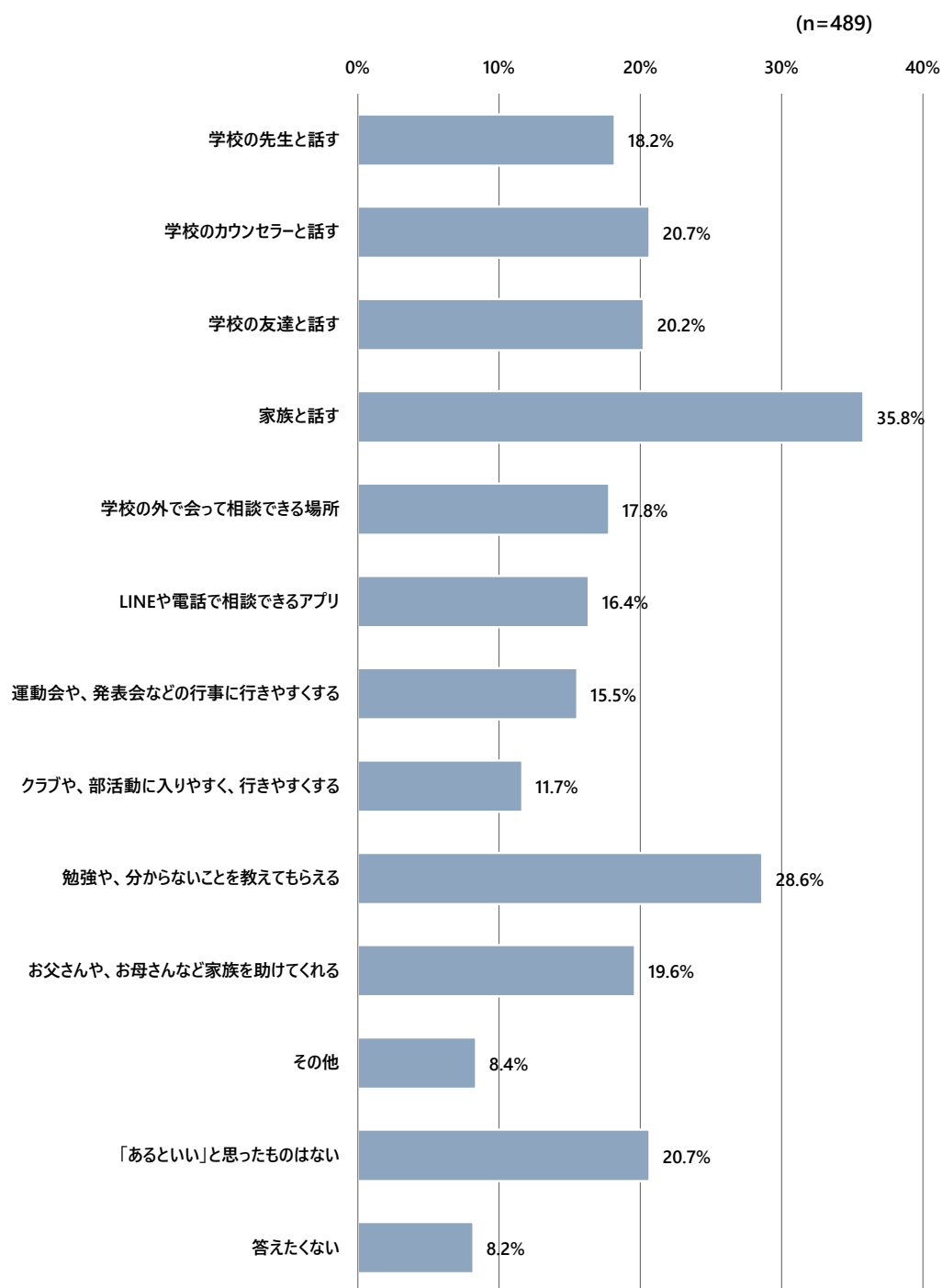
図表 72 学校を休み始めるまでに行ったことのある学校内のクラス以外の場所



## (12)学校を休み始めるまでにあつたらよかったこと

「行きたくない」と思った時期と実際に学校を休み始めた時期が違うと回答した人に、その間にどんなことがあつたらよかったかを尋ねたところ、「家族と話す」の割合が最も高く 35.8%である。次いで、「勉強や、分からないことを教えてもらえる (28.6%)」、「学校のカウンセラーと話す (20.7%)」、「あるといい」と思ったものはない (20.7%)」である。

図表 73 学校を休み始めるまでにあつたらよかったこと



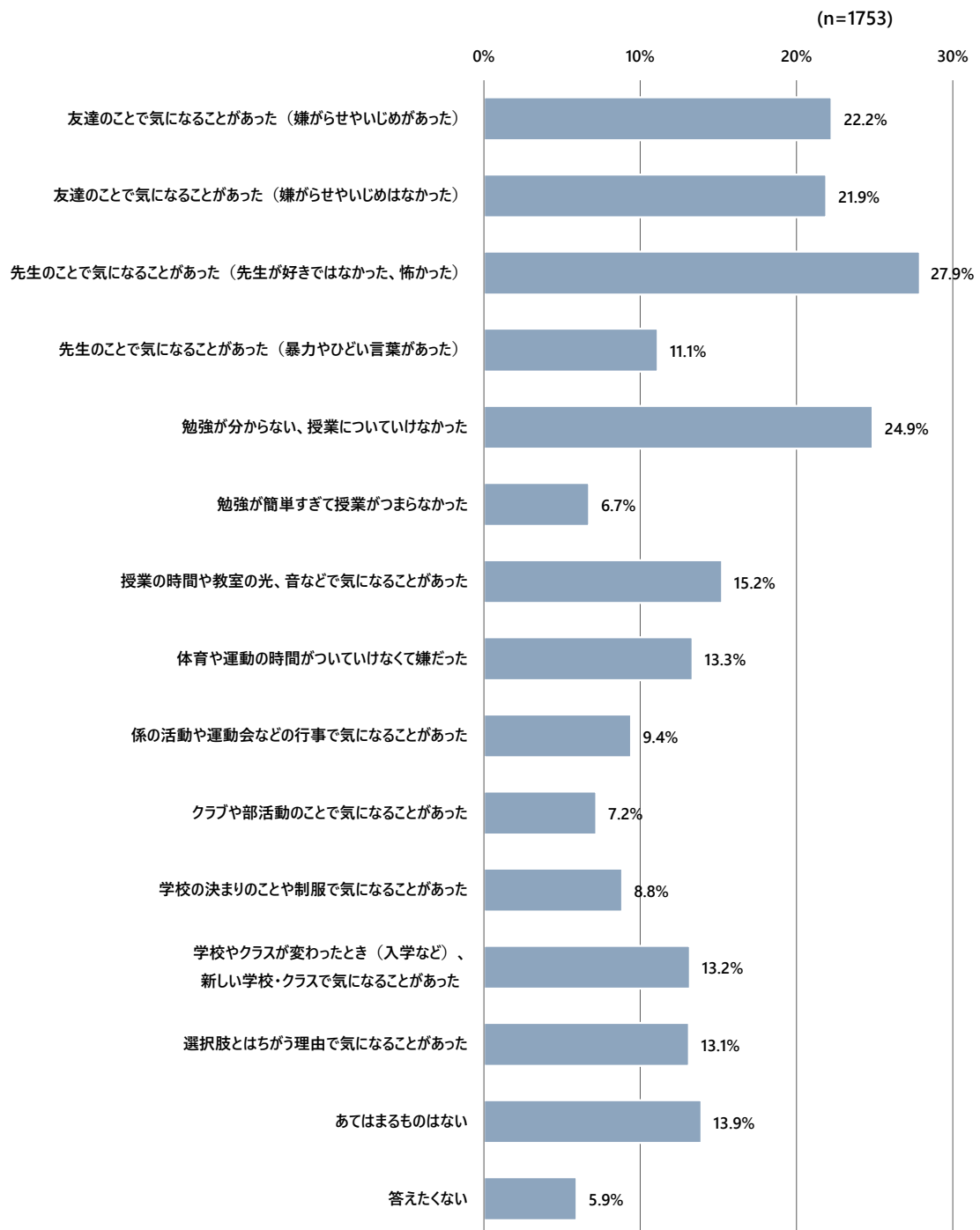
## ■学校に行きたくないと考えたきっかけ

### (13)学校に「行きたくない」と考えたきっかけ(学校のこと)

#### ①全体

学校のことによって学校に「行きたくない」と考えたきっかけを尋ねたところ、「先生のことによって気になることがあった(先生が好きではなかった、怖かった)」の割合が最も高く 27.9%である。次いで、「勉強が分からない、授業についていけなかった(24.9%)」、「友達のことによって気になることがあった(嫌がらせやいじめがあった)(22.2%)」である。

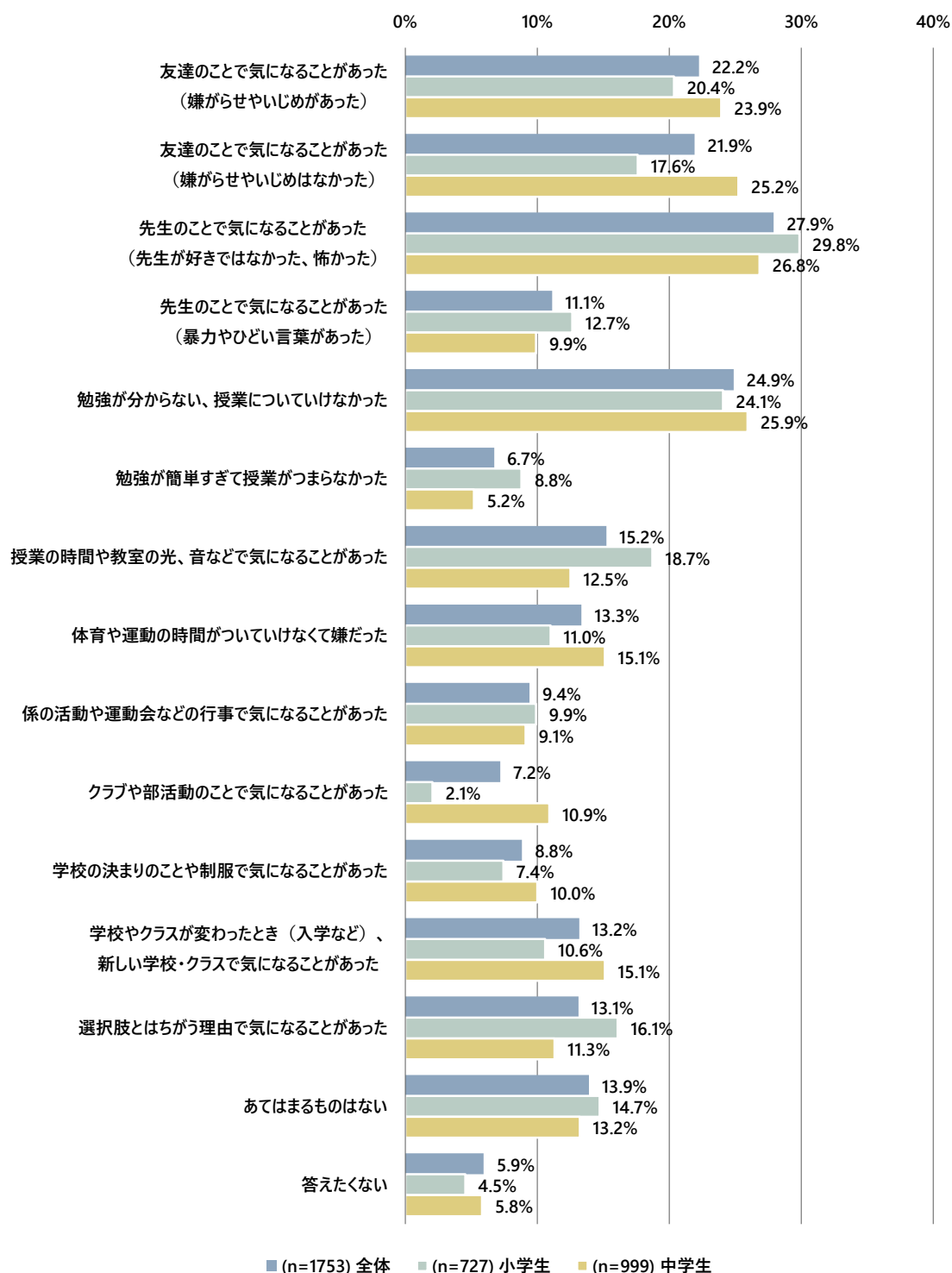
図表 74 学校に「行きたくない」と考えたきっかけ(学校のこと)



## ②学校種別

学校種別にみたとき、小学生において「授業の時間や教室の光、音などで気になることがあった」と回答した割合が高く、中学生において「友だちのことで気になることがあった（嫌がらせやいじめはなかった）」「クラブや部活動のことで気になることがあった」と回答した割合が高い。

図表 75 学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(学校のこと)(学校種別)

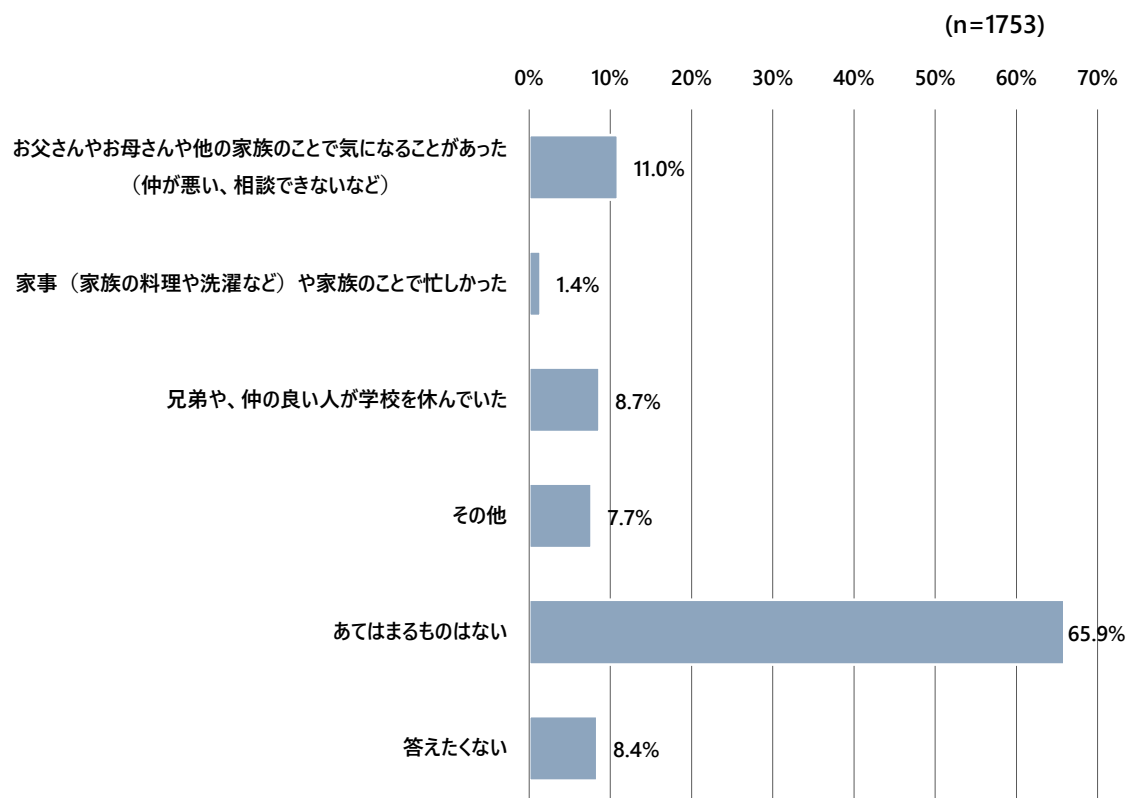


## (14)学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(家のこと)

### ①全体

家のことで学校に「行きたくない」と思ったきっかけを尋ねたところ、「あてはまるものはない」の割合が最も高く 65.9%である。次いで、「お父さんやお母さんや他の家族のことで気になることがあった（仲が悪い、相談できないなど）（11.0%）」、「兄弟や、仲の良い人が学校を休んでいた（8.7%）」である。

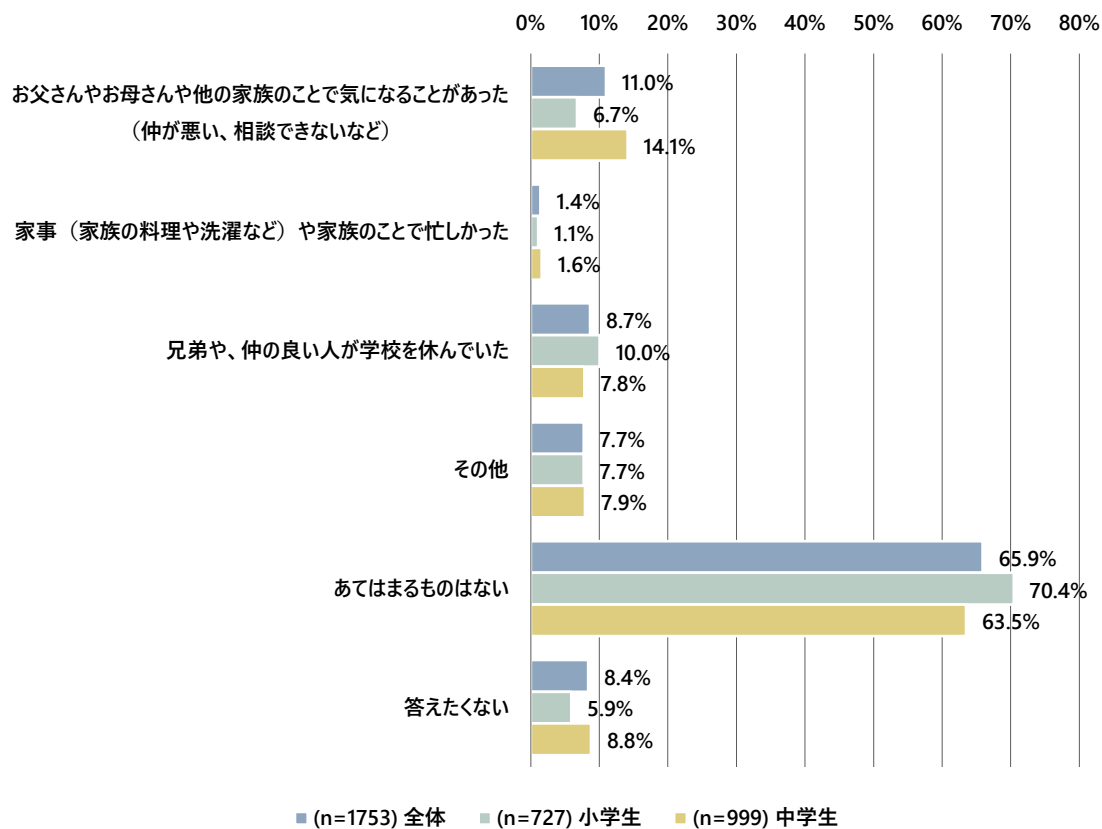
図表 76 学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(家のこと)



## ②学校種別

学校種別にみると、中学生において、「お父さんやお母さんや他の家族のことで気になることがあった（仲が悪い、相談できないなど）」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 77 学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(家のこと)(学校種別)



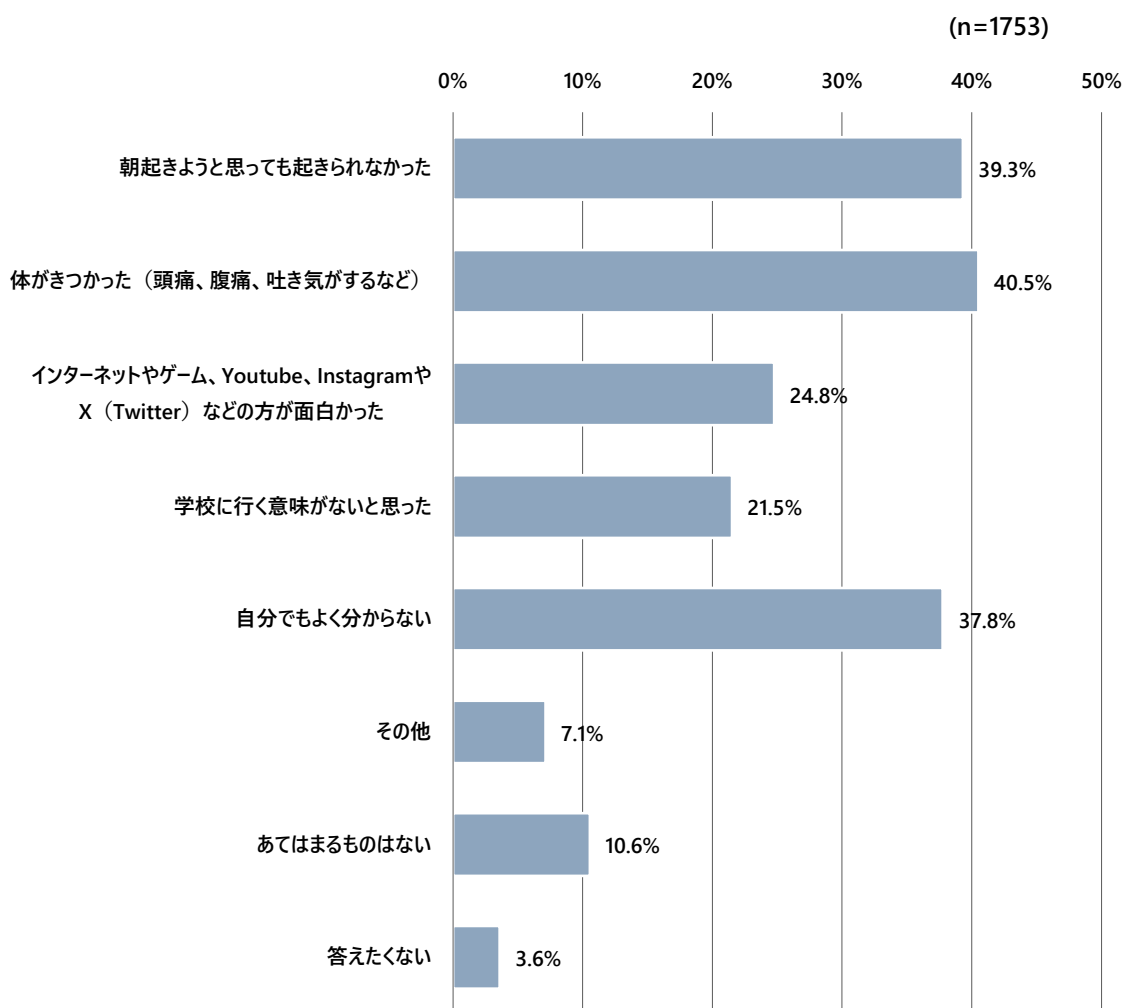


## (15)学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(自分のこと)

### ①全体

自分のことで学校に「行きたくない」と思ったきっかけを尋ねたところ、「体がきつかった(頭痛、腹痛、吐き気がするなど)」の割合が最も高く40.5%である。次いで、「朝起きようと思っても起きられなかった(39.3%)」、「自分でもよく分からない(37.8%)」である。

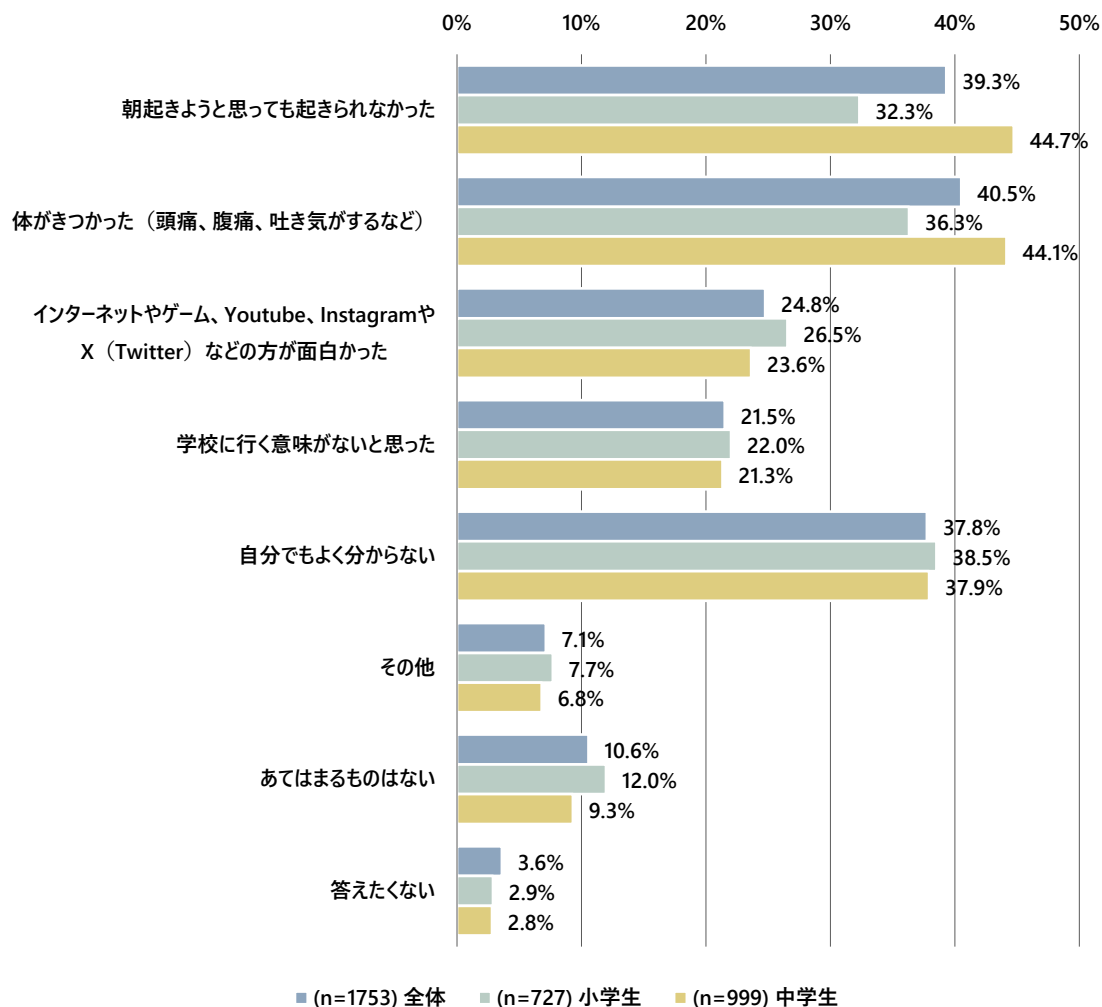
図表 78 学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(自分のこと)



## ②学校種別

学校種別にみると、中学生において、「朝起きようと思っても起きられなかった」「体がきつかった（頭痛、腹痛、吐き気がするなど）」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 79 学校に「行きたくない」と思ったきっかけ(自分のこと)(学校種別)

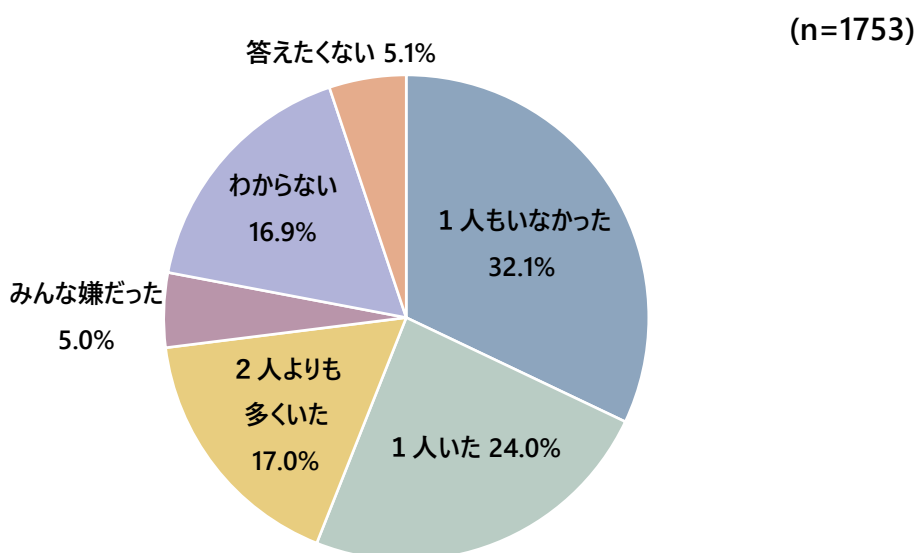


## (16)好きではない先生や嫌な先生はいたか

### ①全体

好きではない先生や嫌いな先生はいたかを尋ねたところ、「1人もいなかった」の割合が最も高く 32.1%である。次いで、「1人いた (24.0%)」、「2人よりも多くいた (17.0%)」である。

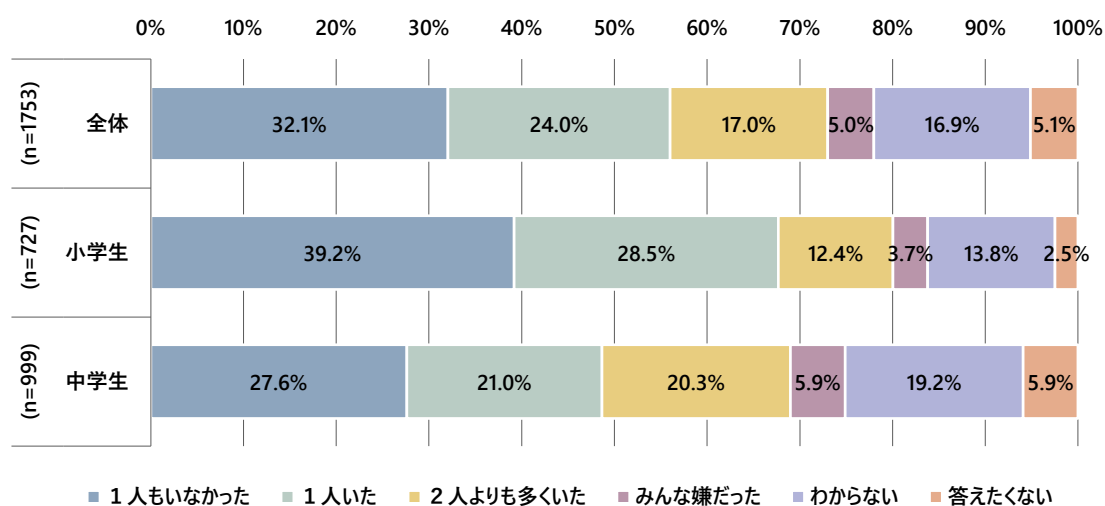
図表 80 好きではない先生や嫌な先生はいたか



### ②学校種別

学校種別にみると、中学生において嫌な人がいた人数が多い傾向がみられる。

図表 81 好きではない先生や嫌な先生はいたか(学校種別)

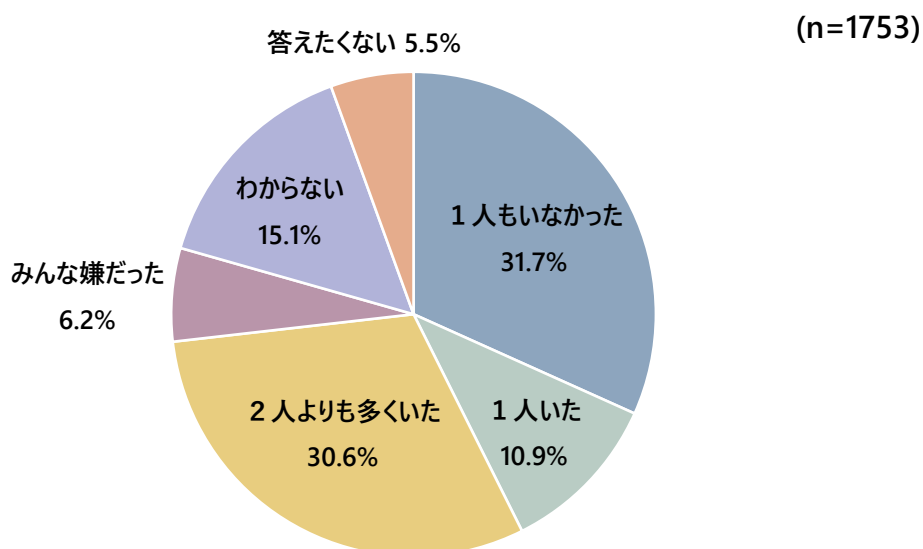


## (17)好きではないクラスの人や嫌な友達がいたか

### ①全体

好きではないクラスの人や嫌な友達がいたかを尋ねたところ、「1人もいなかった」の割合が最も高く 31.7%である。次いで、「2人よりも多くいた (30.6%)」、「わからない (15.1%)」である。

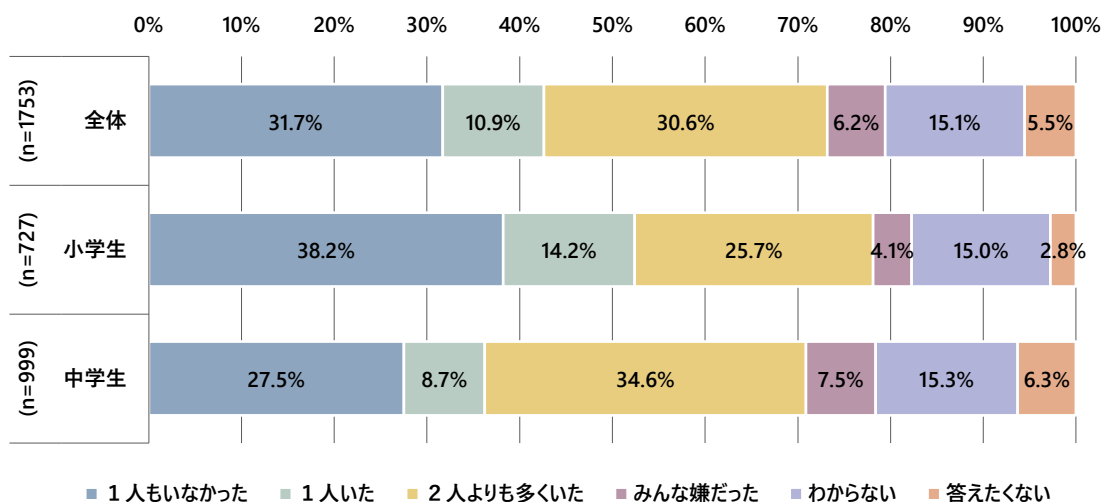
図表 82 好きではないクラスの人や嫌な友達はいたか



### ②学校種別

学校種別にみると、中学生において嫌な人がいた人数が多い傾向がみられる。

図表 83 好きではないクラスの人や嫌な友達はいたか(学校種別)



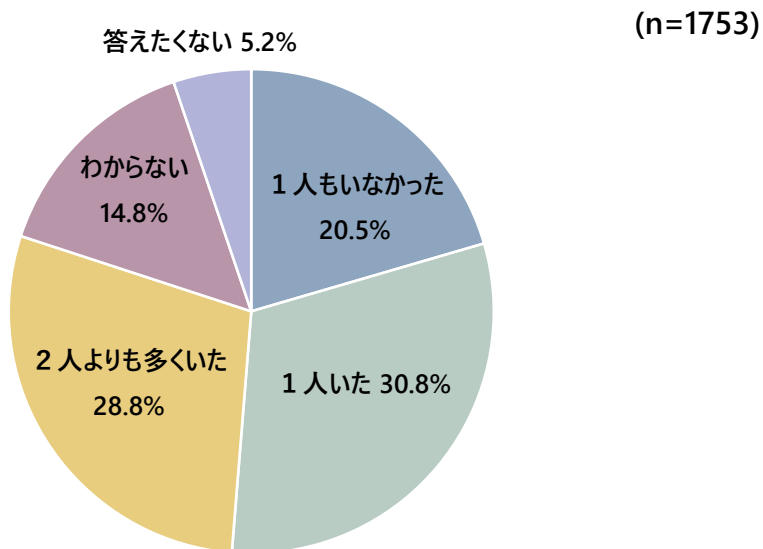
## ■自分の気持ちを相談できたか

### (18)学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人はいるか

#### ①全体

学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人はいるかを尋ねたところ、「1人いた」の割合が最も高く 30.8%である。次いで、「2人よりも多くいた (28.8%)」、「1人もいなかった (20.5%)」である。

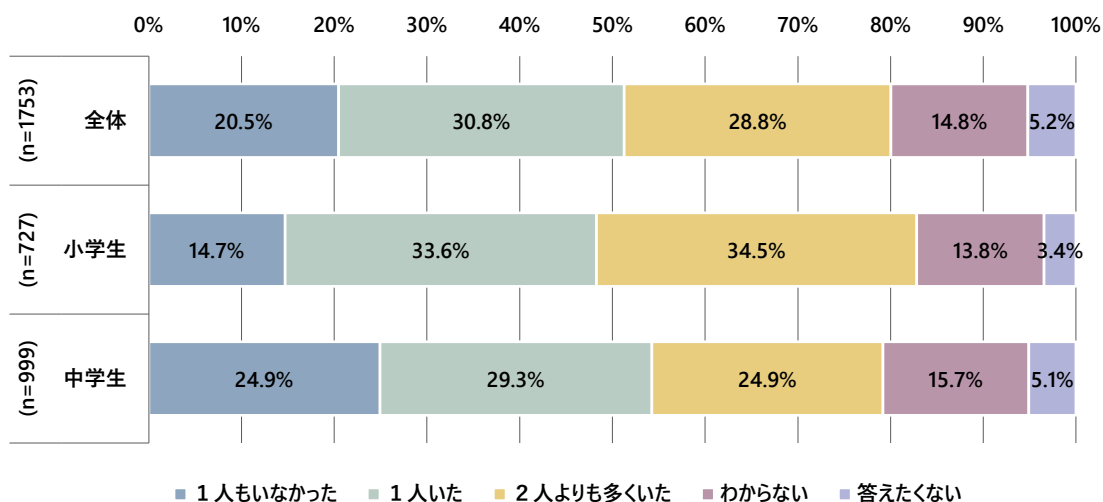
図表 84 学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人はいるか



#### ②学校種別

学校種別にみると、小学生の方が相談できる人が多くいた傾向がみられる。

図表 85 学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人はいるか(学校種別)

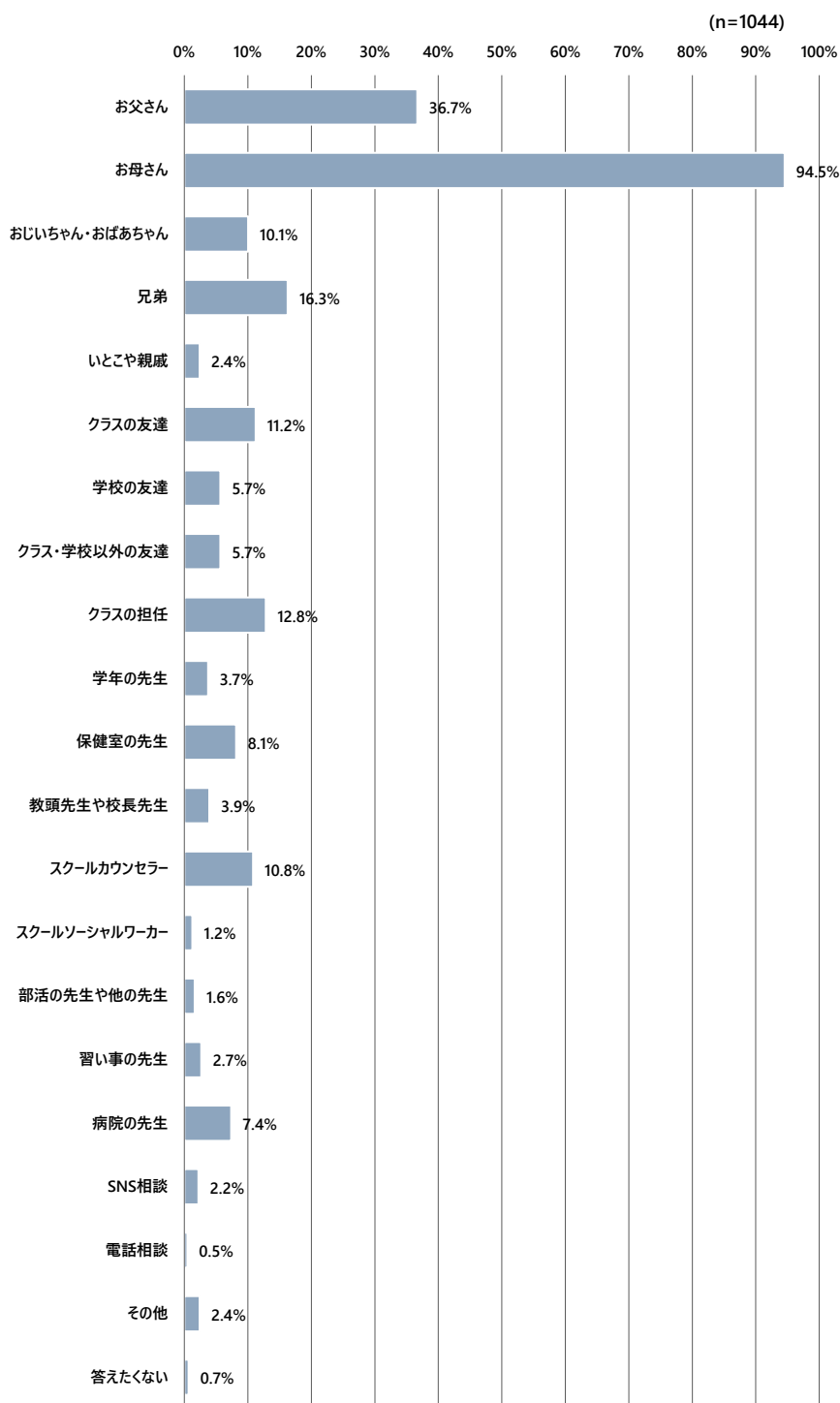


## (19)学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人

### ①全体

学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人が「1人いた」「2人よりも多くいた」と回答した人に気持ちを話した人を尋ねたところ、「お母さん」の割合が最も高く94.5%である。次いで、「お父さん(36.7%)」、「兄弟(16.3%)」である。

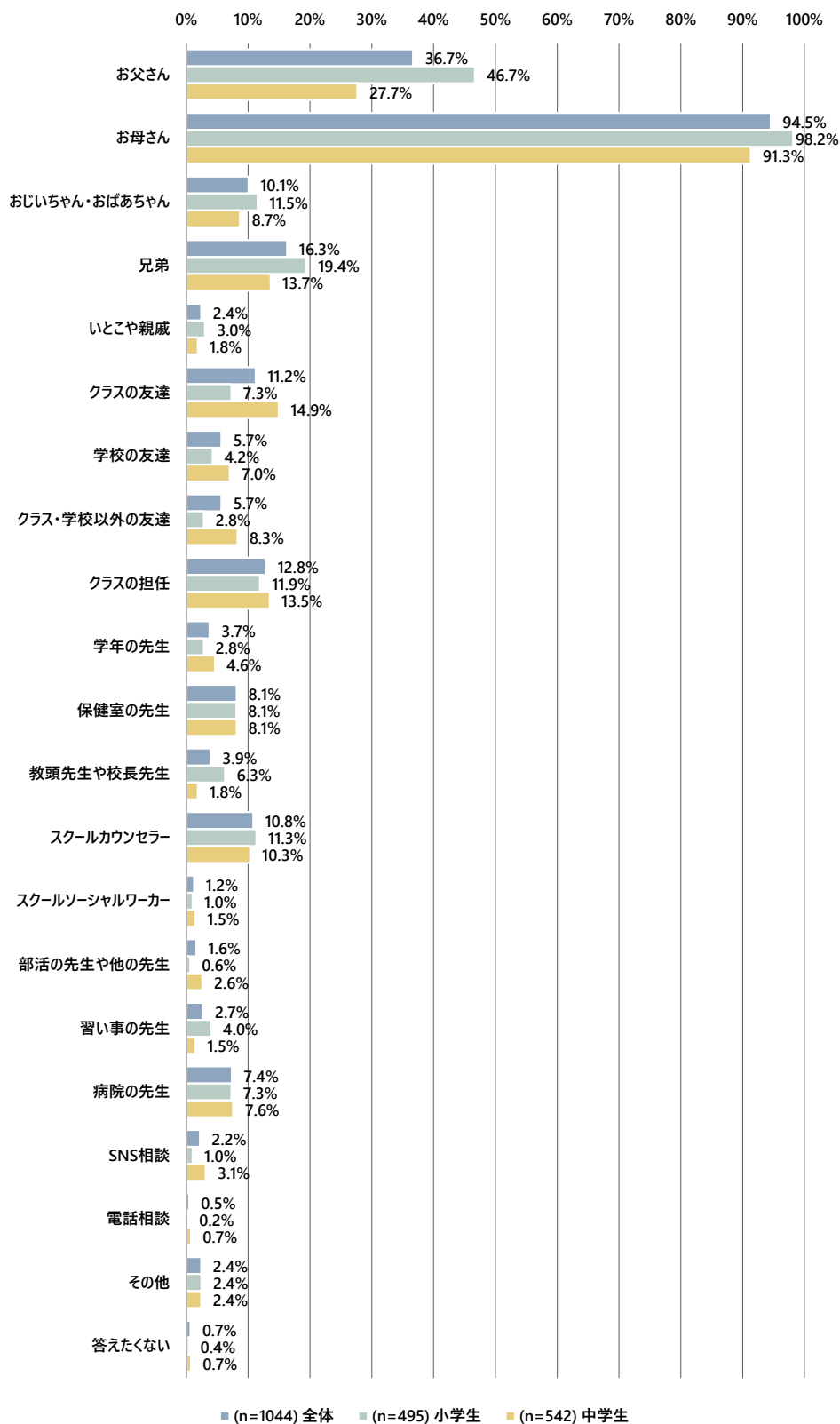
図表 86 学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人



## ②学校種別

学校種別にみると、小学生において「お父さん」と回答した割合が中学生より高い傾向がみられる。

図表 87 学校に行きたくない、休みたい気持ちを話した人(学校種別)

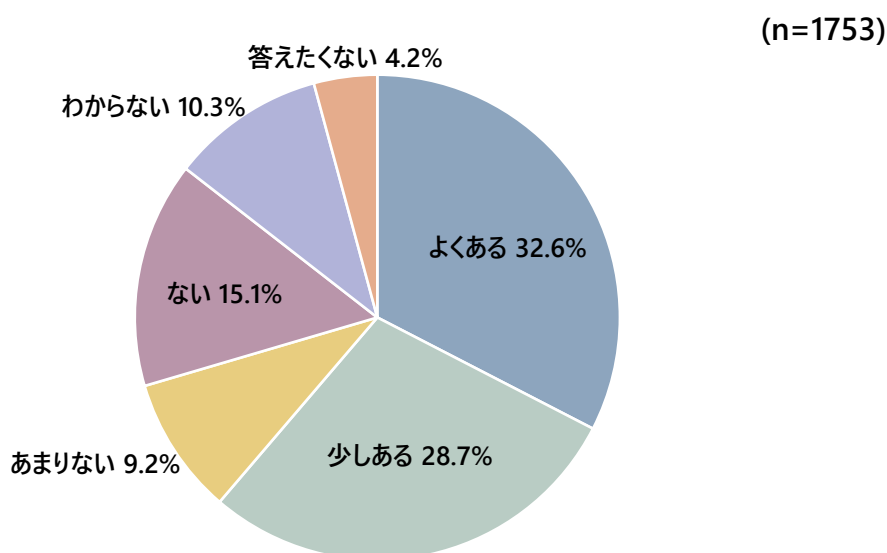


## (20)学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいと思ったことはあるか

### ①全体

学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいと思ったことはあるかを尋ねたところ、「よくある」の割合が最も高く 32.6%である。次いで、「少しある (28.7%)」、「ない (15.1%)」である。

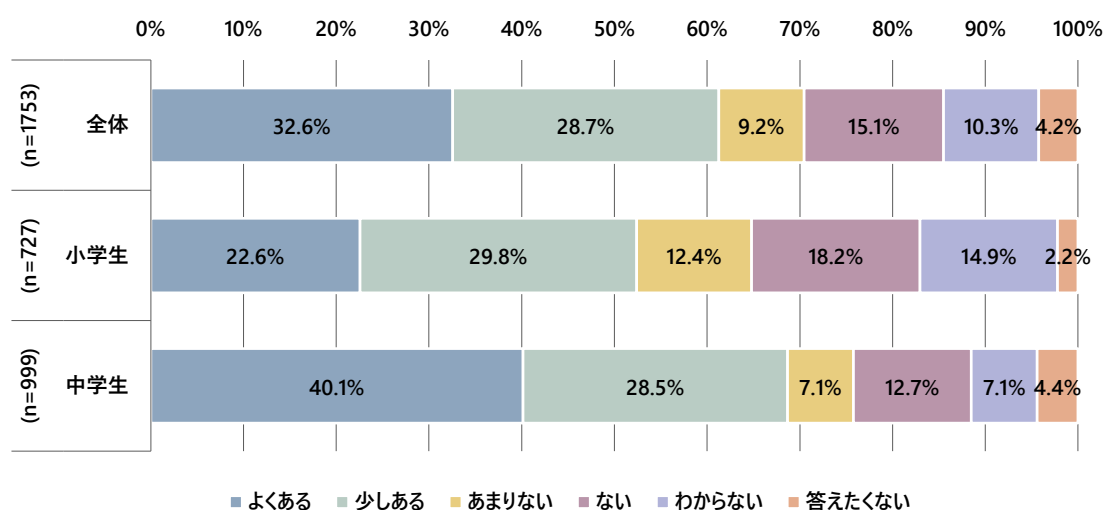
図表 88 学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいと思ったことはあるか



### ②学校種別

学校種別にみると、中学生において、「よくある」と回答した割合が高いなど、相談しにくい傾向がみられる。

図表 89 学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいと思ったことはあるか(学校種別)



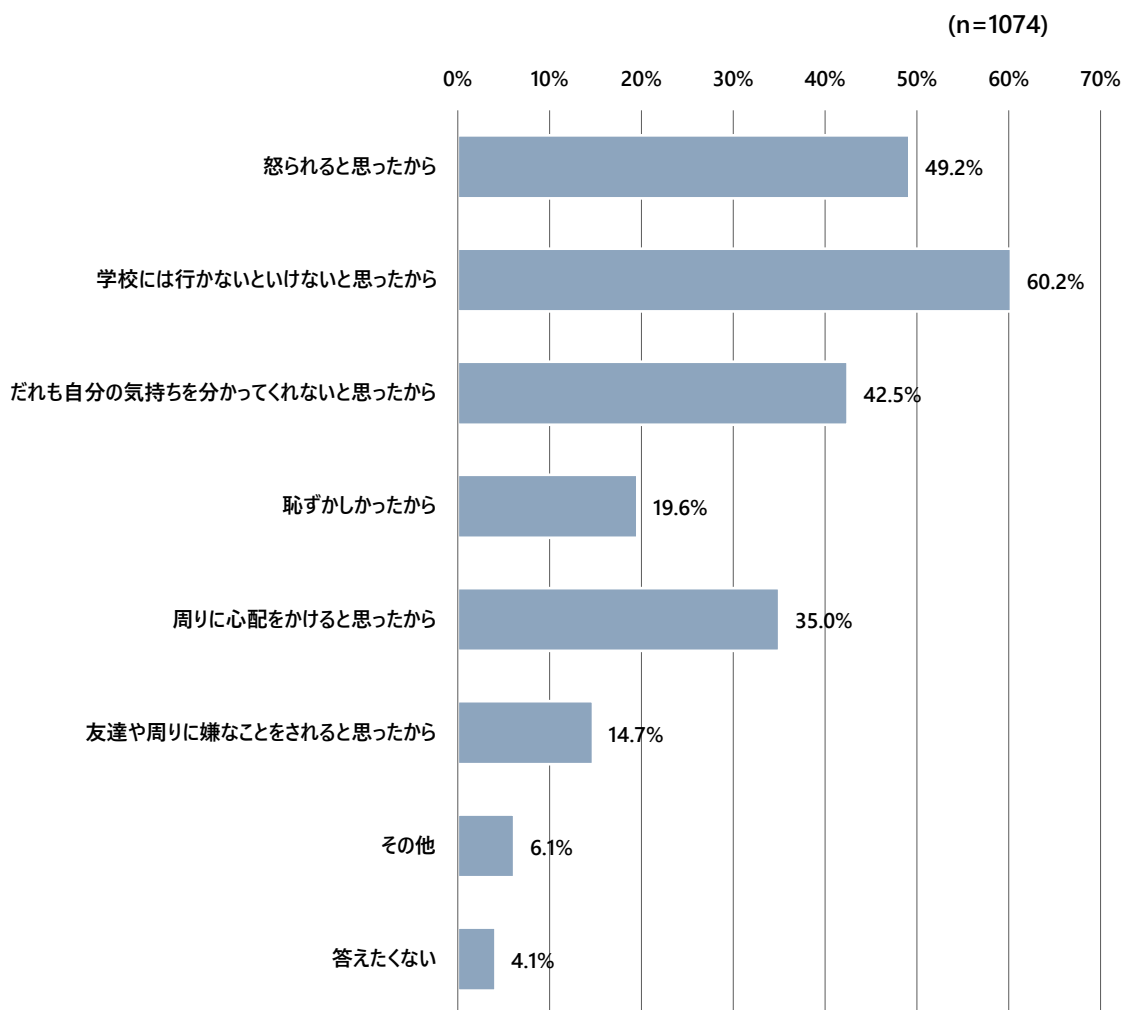


## (21)学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいのはどうしてか

### ①全体

学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいと思った事が「よくある」「少しある」と回答した人に相談しにくいのはどうしてかを尋ねたところ、「学校には行かないといけないと思ったから」の割合が最も高く60.2%である。次いで、「怒られると思ったから(49.2%)」、「だれも自分の気持ちを分かってくれないと思ったから(42.5%)」である。

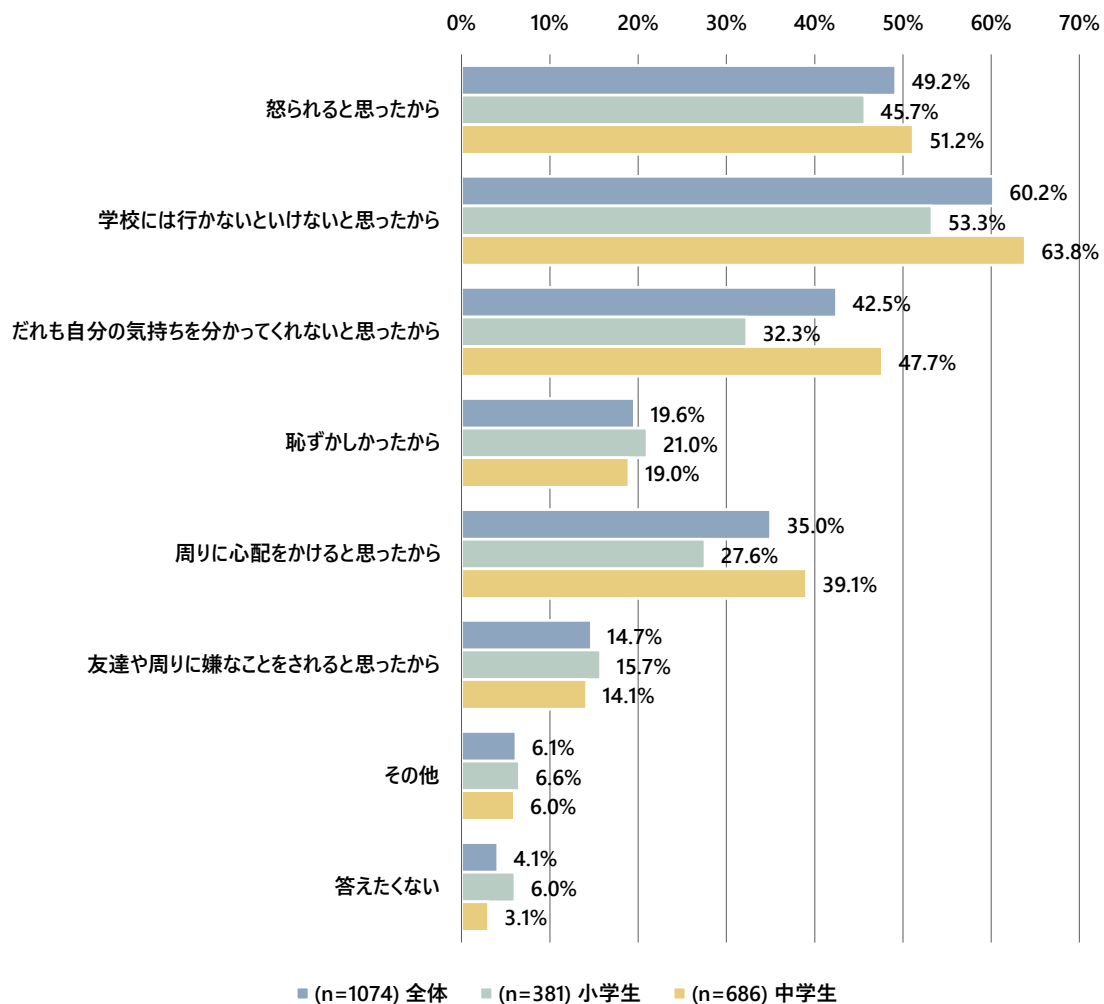
図表 90 学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいのはどうしてか



## ②学校種別

学校種別にみると、中学生において「学校には行かないといけないと思ったから」「だれも自分の気持ちを分かってくれないと思ったから」「周りに心配をかけると思ったから」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 91 学校に行きたくない、休みたい気持ちを相談しにくいのはどうしてか(学校種別)



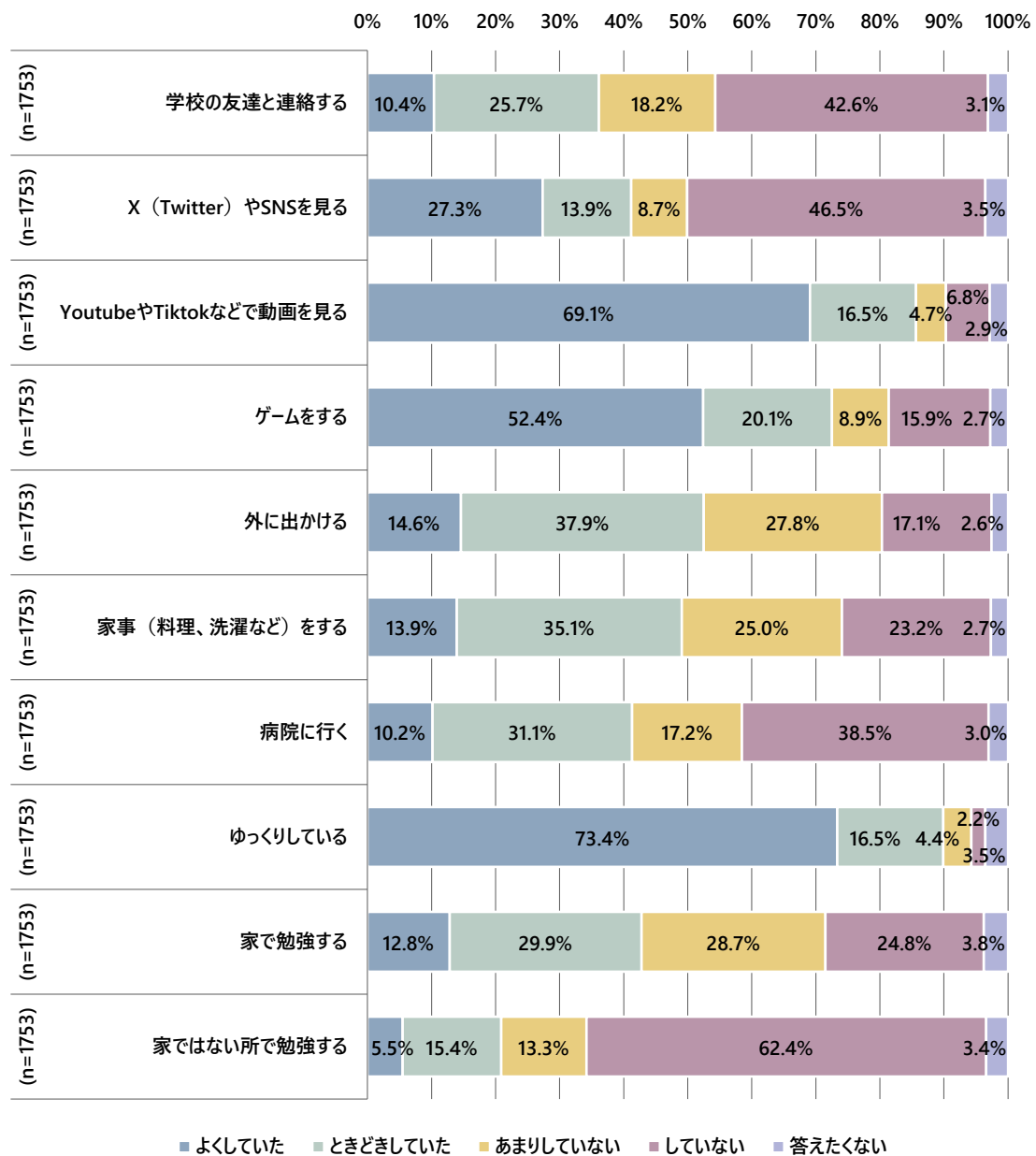
## ■学校を休んでいる間の暮らしについて

### (22)学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか

#### ①全体

学校を休んでいる時、どんな風に過ごしていたかを尋ねた。「よくしていた」と「ときどきしていた」の割合の合計に着目すると、「ゆっくりしている」における割合が最も高く89.9%である。次いで、「YoutubeやTiktokなどで動画を見る（85.6%)」、「ゲームをする（72.5%)」である。

図表 92 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか

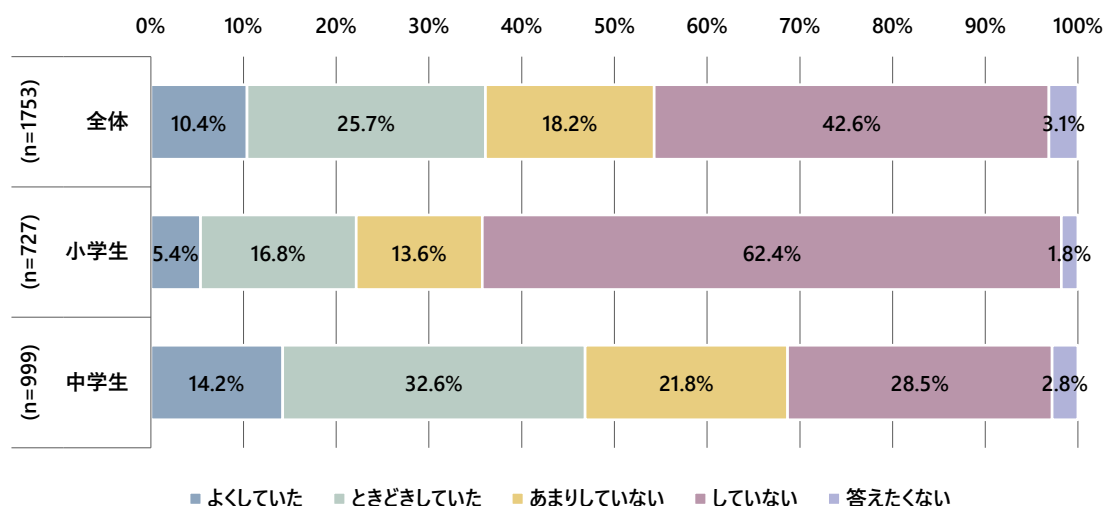


## ②学校種別

### 1)学校の友達と連絡する

学校種別にみると、中学生において「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した割合が高い傾向がみられる。

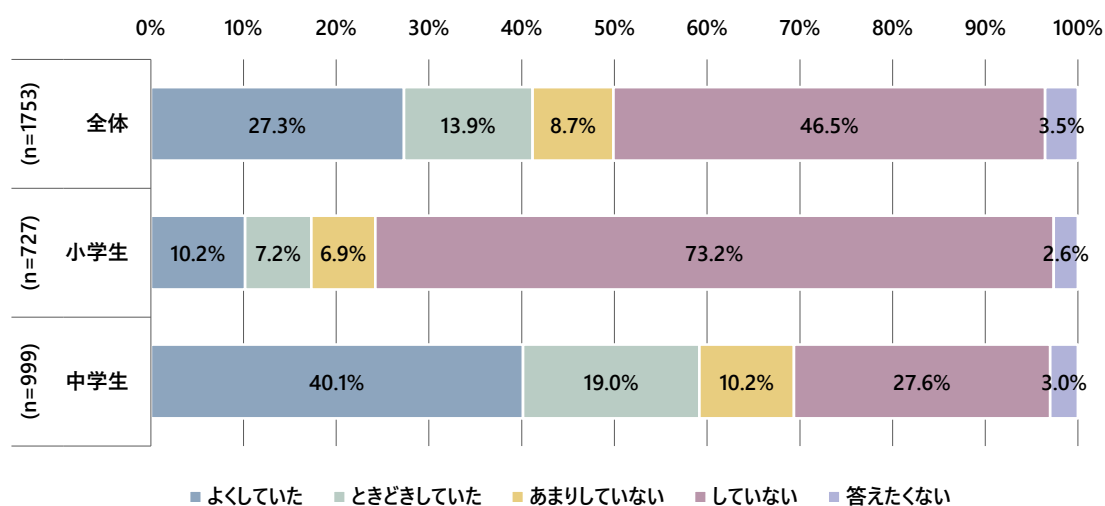
図表 93 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(学校の友達と連絡する)(学校種別)



### 2)X(Twitter)やSNSを見る

学校種別にみると、中学生において「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した割合が高い傾向がみられる。

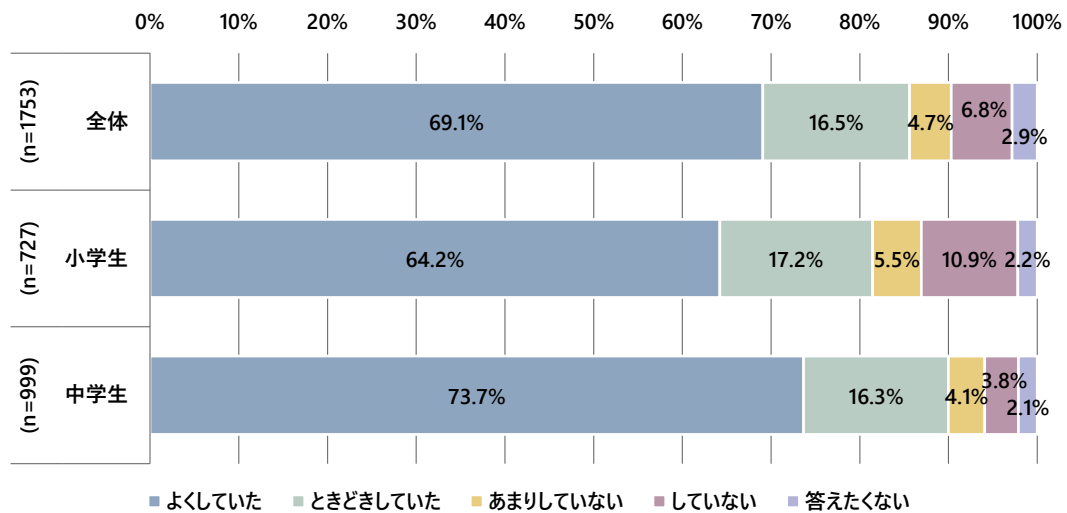
図表 94 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(X(Twitter)やSNSを見る)(学校種別)



### 3) Youtube やTiktok などで動画を見る

学校種別にみると、中学生において「よくしていた」と回答した割合が高い傾向がみられる。

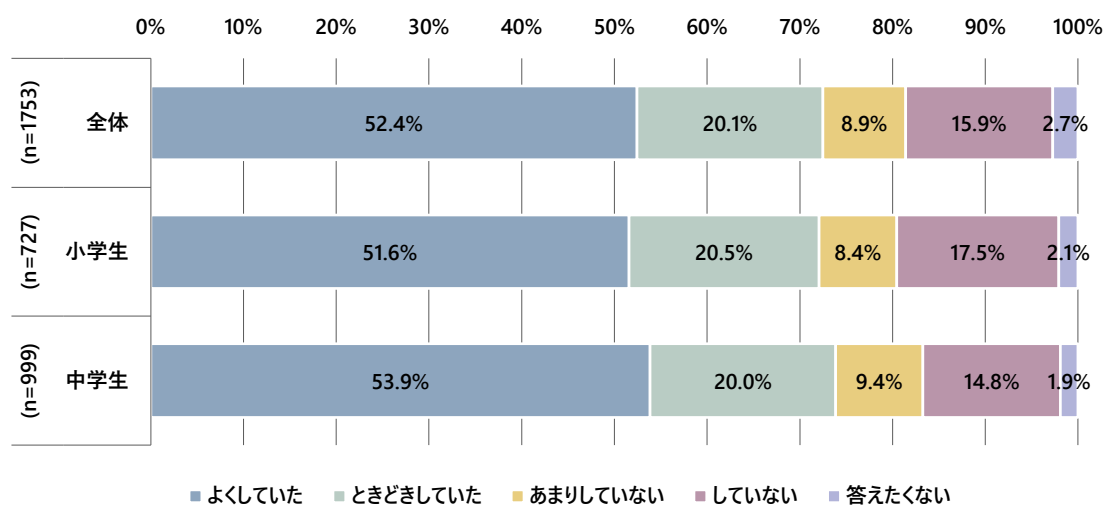
図表 95 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか  
(Youtube やTiktok などで動画を見る)(学校種別)



### 4) ゲームをする

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

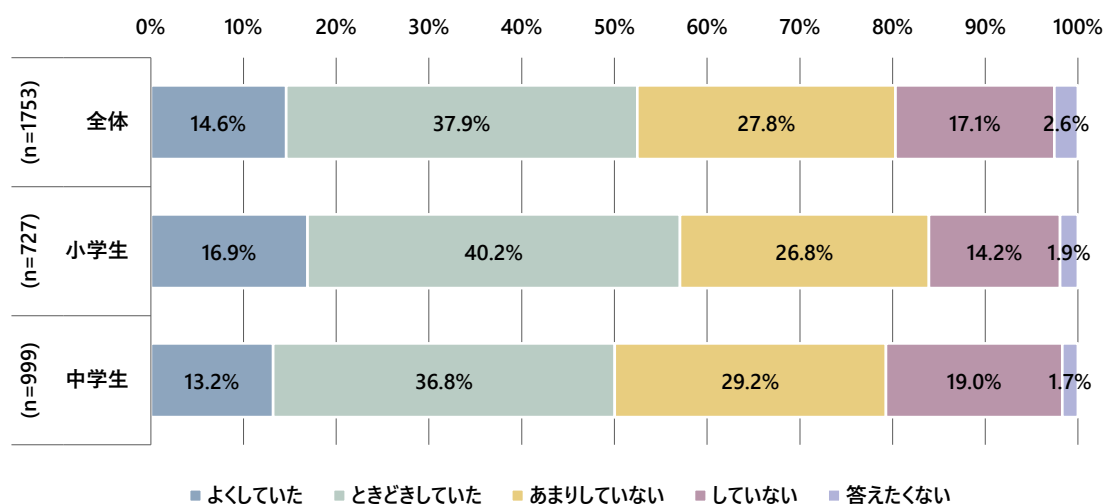
図表 96 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(ゲームをする)(学校種別)



## 5)外に出かける

学校種別にみると、小学生において「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した割合が高い傾向がみられる。

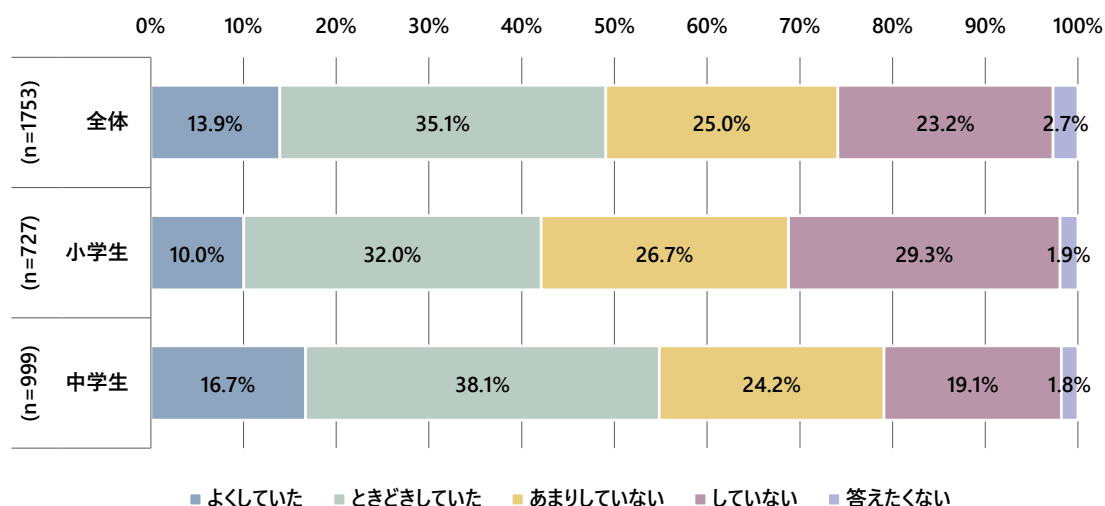
図表 97 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(外に出かける)(学校種別)



## 6)家事(料理、洗濯など)をする

学校種別にみると、中学生において「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した割合が高い傾向がみられる。

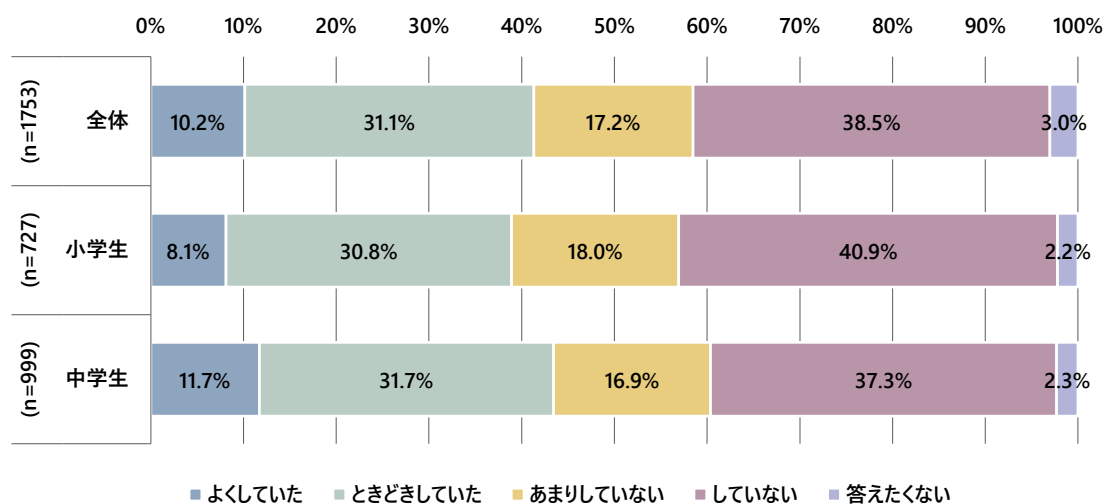
図表 98 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか  
(家事(料理、洗濯など)をする)(学校種別)



## 7)病院に行く

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

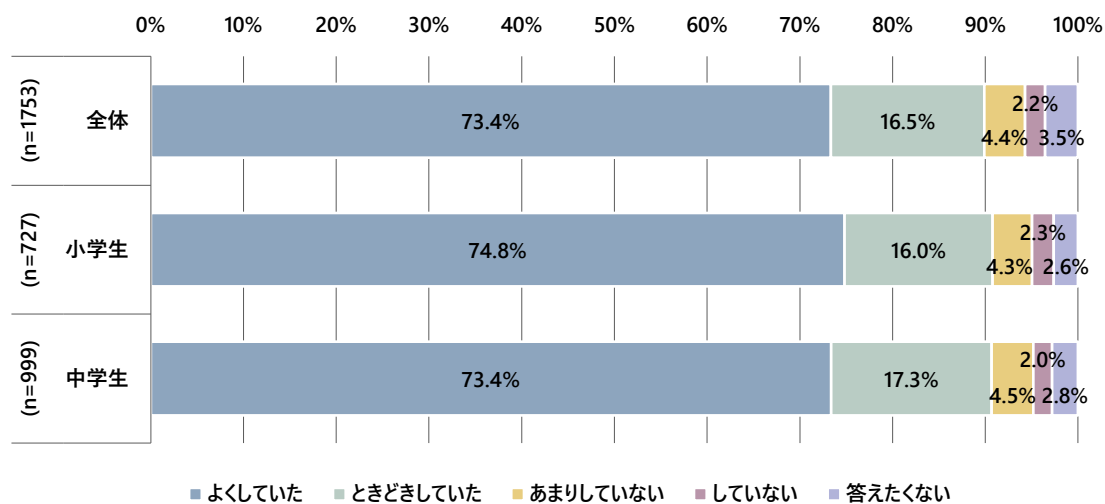
図表 99 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(病院に行く)(学校種別)



## 8)ゆっくりしている

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

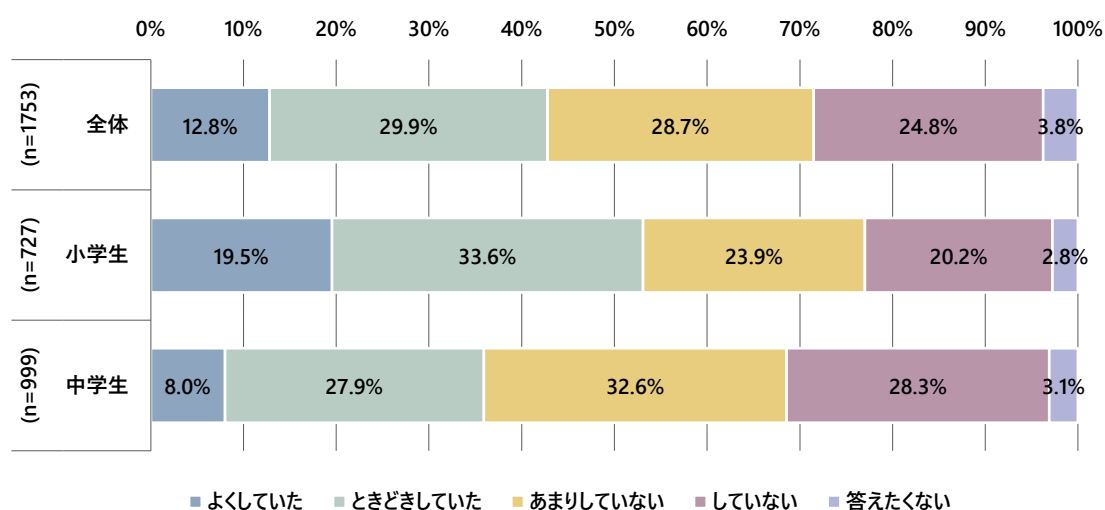
図表 100 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(ゆっくりしている)(学校種別)



## 9)家で勉強する

学校種別にみると、小学生において「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した割合が高い傾向がみられる。

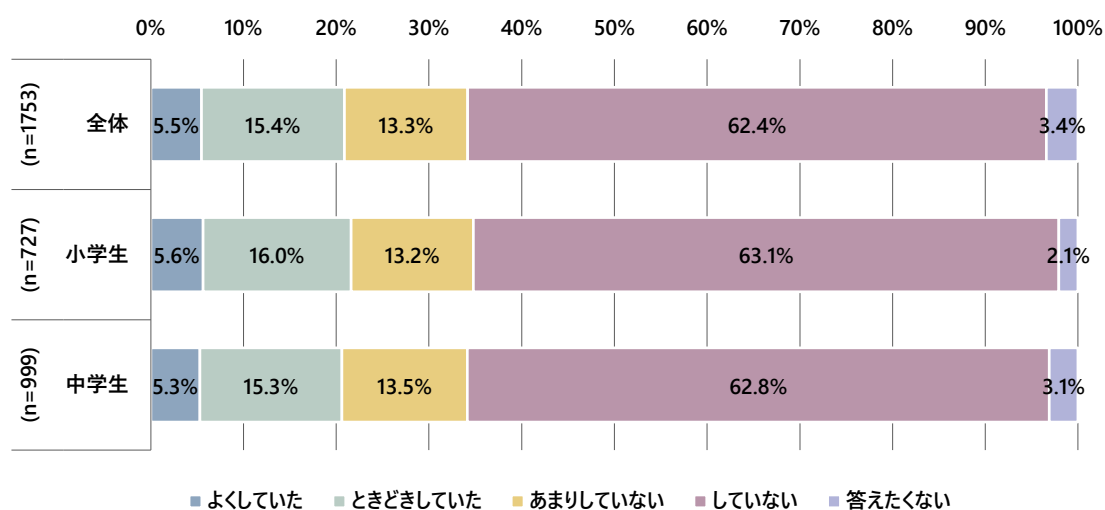
図表 101 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(家で勉強する)(学校種別)



## 10)家ではない所で勉強する

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

図表 102 学校を休んでいるとき、どんな風に過ごしていたか(家ではない所で勉強する)(学校種別)



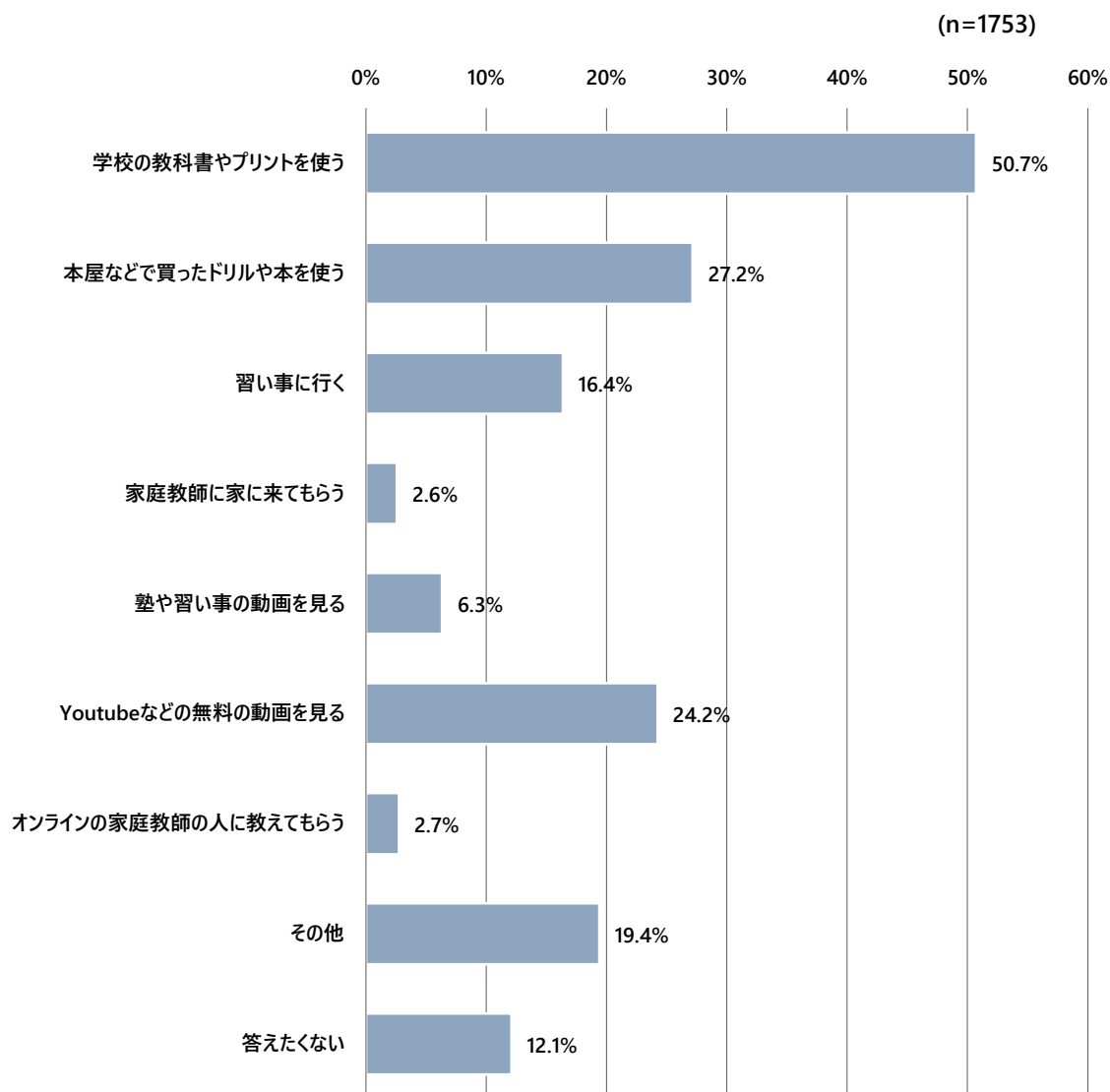


## (23) 学校を休んでいるとき、どんなやり方で勉強していたか

### ①全体

学校を休んでいるとき、どんなやり方で勉強していたかを尋ねたところ、「学校の教科書やプリントを使う」の割合が最も高く 50.7%である。次いで、「本屋などで買ったドリルや本を使う (27.2%)」、「Youtube などの無料の動画を見る (24.2%)」である。

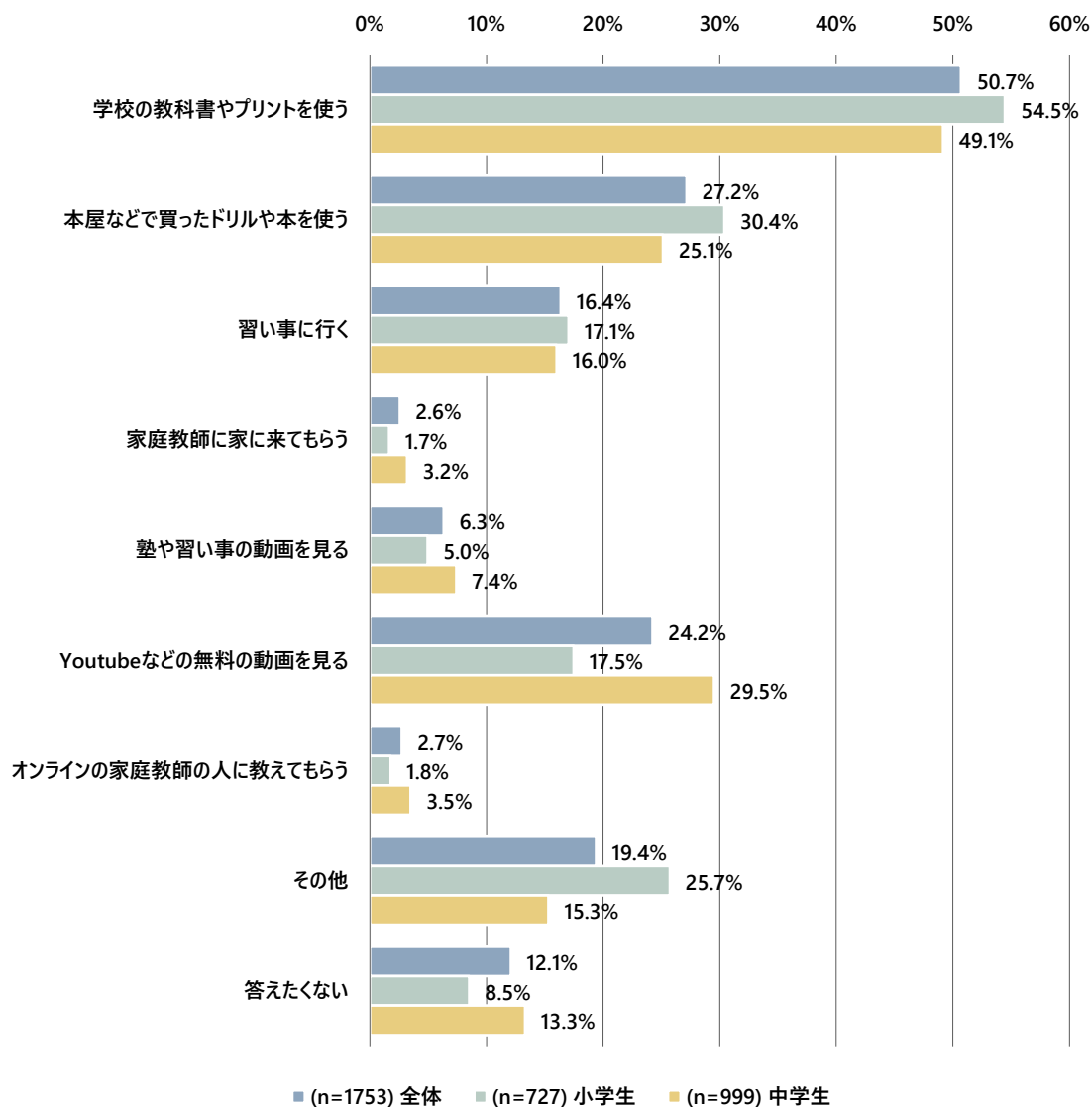
図表 103 学校を休んでいるとき、どんなやり方で勉強していたか



## ②学校種別

学校種別にみると、小学生において「学校の教科書やプリントを使う」「本屋で買ったドリルや本を使う」、中学生において「Youtubeなどの無料の動画を見る」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 104 学校を休んでいるとき、どんなやり方で勉強していたか(学校種別)



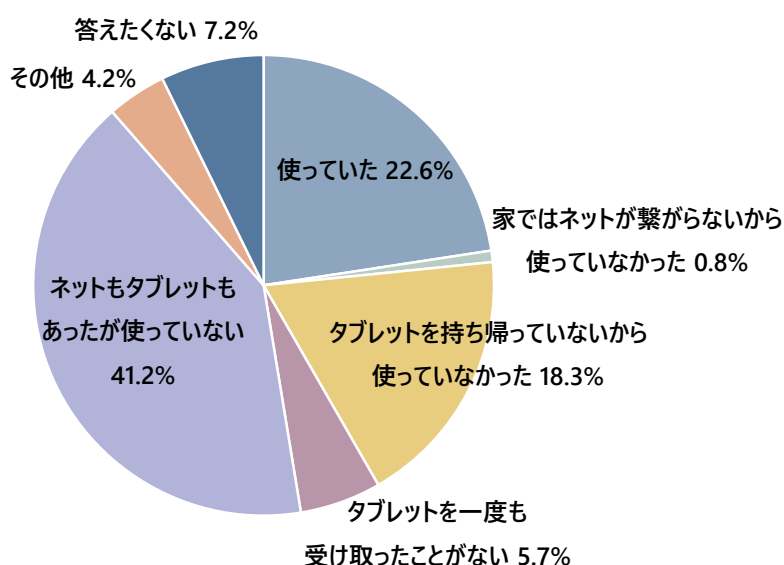
## (24)学校を休んでいるときの、タブレットの利用状況

### ①全体

学校を休んでいるときのタブレットの利用状況を尋ねたところ、「ネットもタブレットもあったが使っていない」の割合が最も高く 41.2%である。次いで、「使っていた (22.6%)」、「タブレットを持ち帰っていないから使っていなかった (18.3%)」である。

図表 105 学校を休んでいるときの、タブレットの利用状況

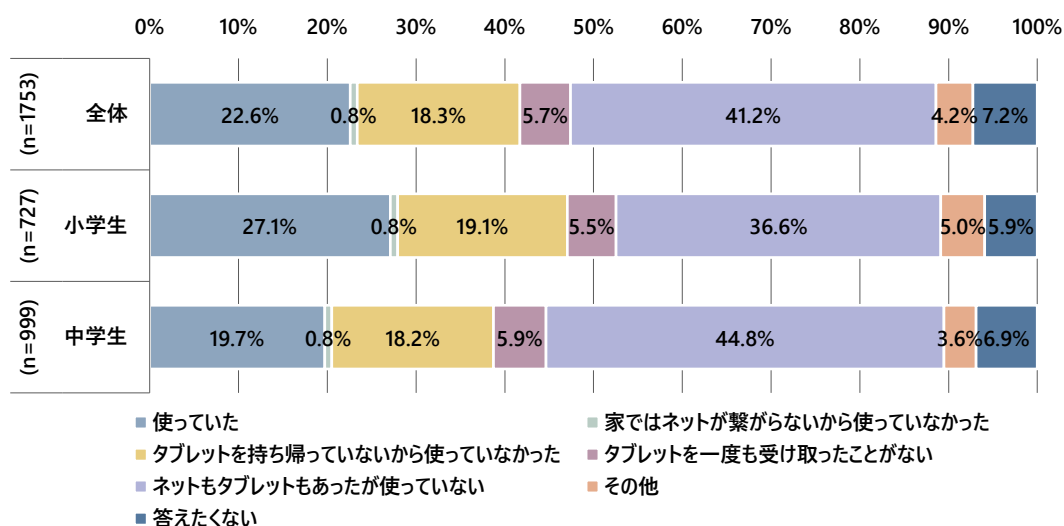
(n=1753)



### ②学校種別

学校種別にみると、小学生において、「使っていた」中学生において「ネットもタブレットもあったが使っていない」と回答した割合が高い傾向がみられる。

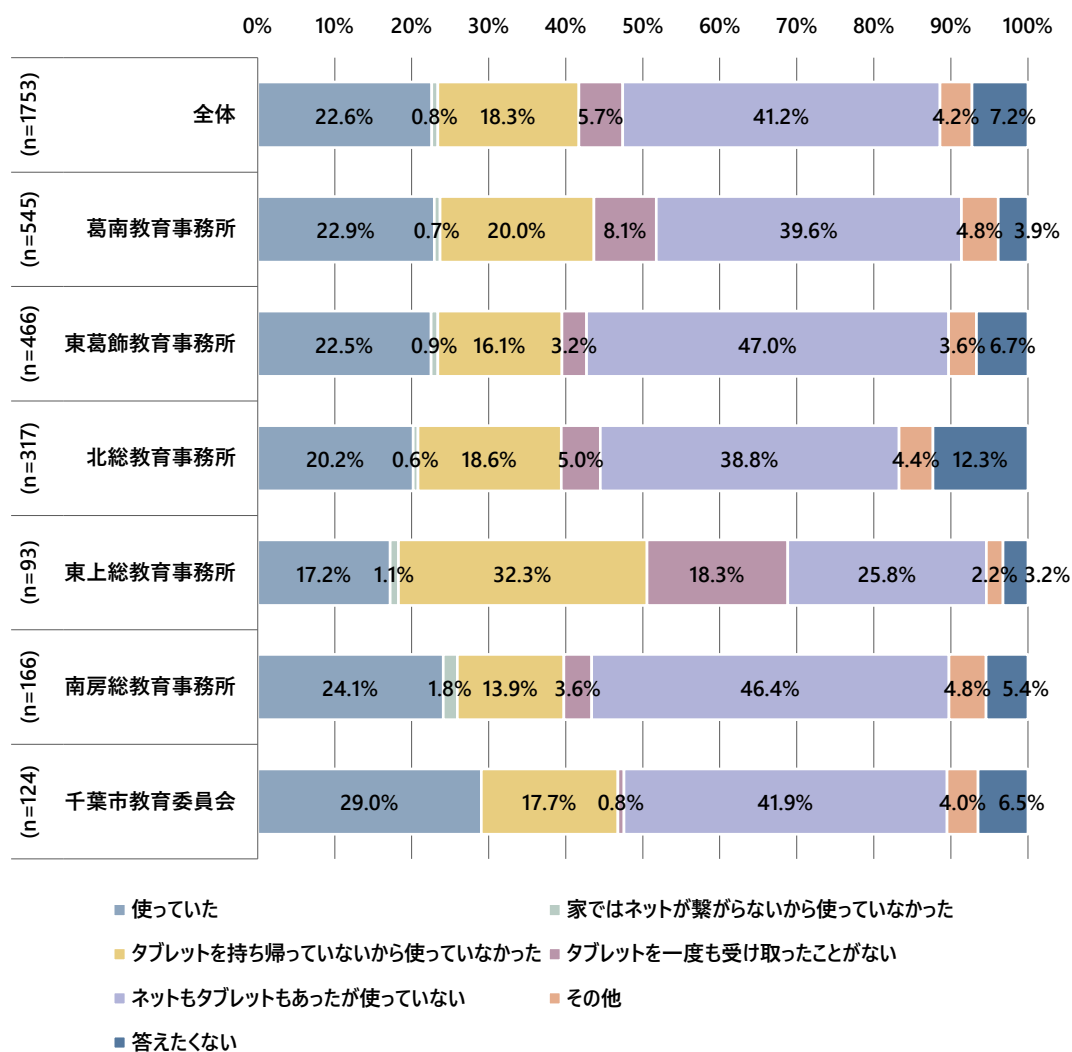
図表 106 学校を休んでいるときの、タブレットの利用状況(学校種別)



### ③地域(管轄する教育事務所)別

地域別にみると、東上総教育事務所管轄地域において、「タブレットを持ち帰っていないから使っていないかった」「タブレットを一度も受け取ったことがない」の回答割合が相対的に高くなっている。

図表 107 学校を休んでいるときの、タブレットの利用状況(地域別)

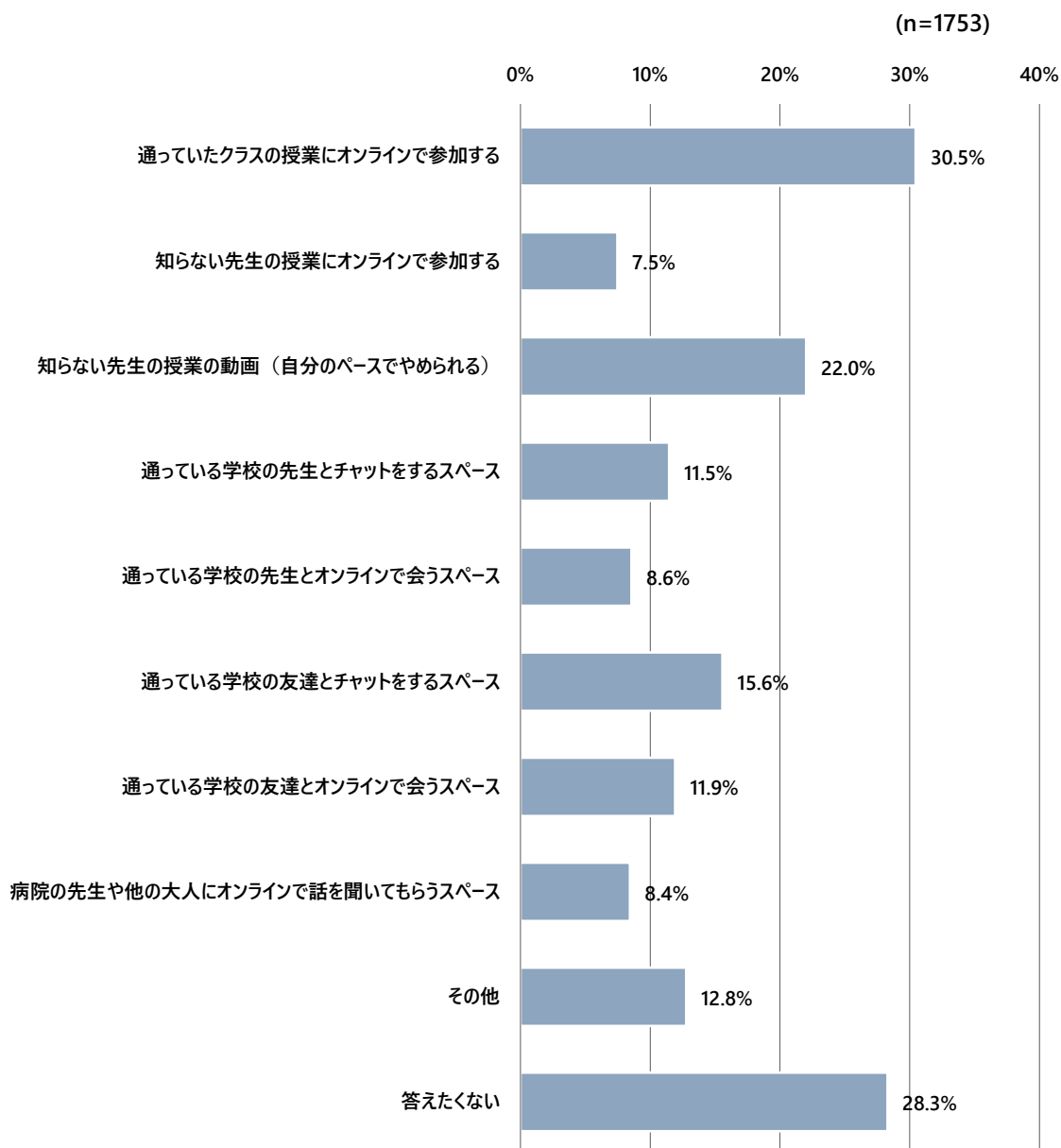


## (25)学校を休んでいるとき、オンラインであつたらよいこと

### ①全体

学校を休んでいるとき、オンラインであつたらよいことを尋ねたところ、「通っていたクラスの授業にオンラインで参加する」の割合が最も高く30.5%である。次いで、「答えたくない(28.3%)」、「知らない先生の授業の動画(自分のペースでやめられる)(22.0%)」である。

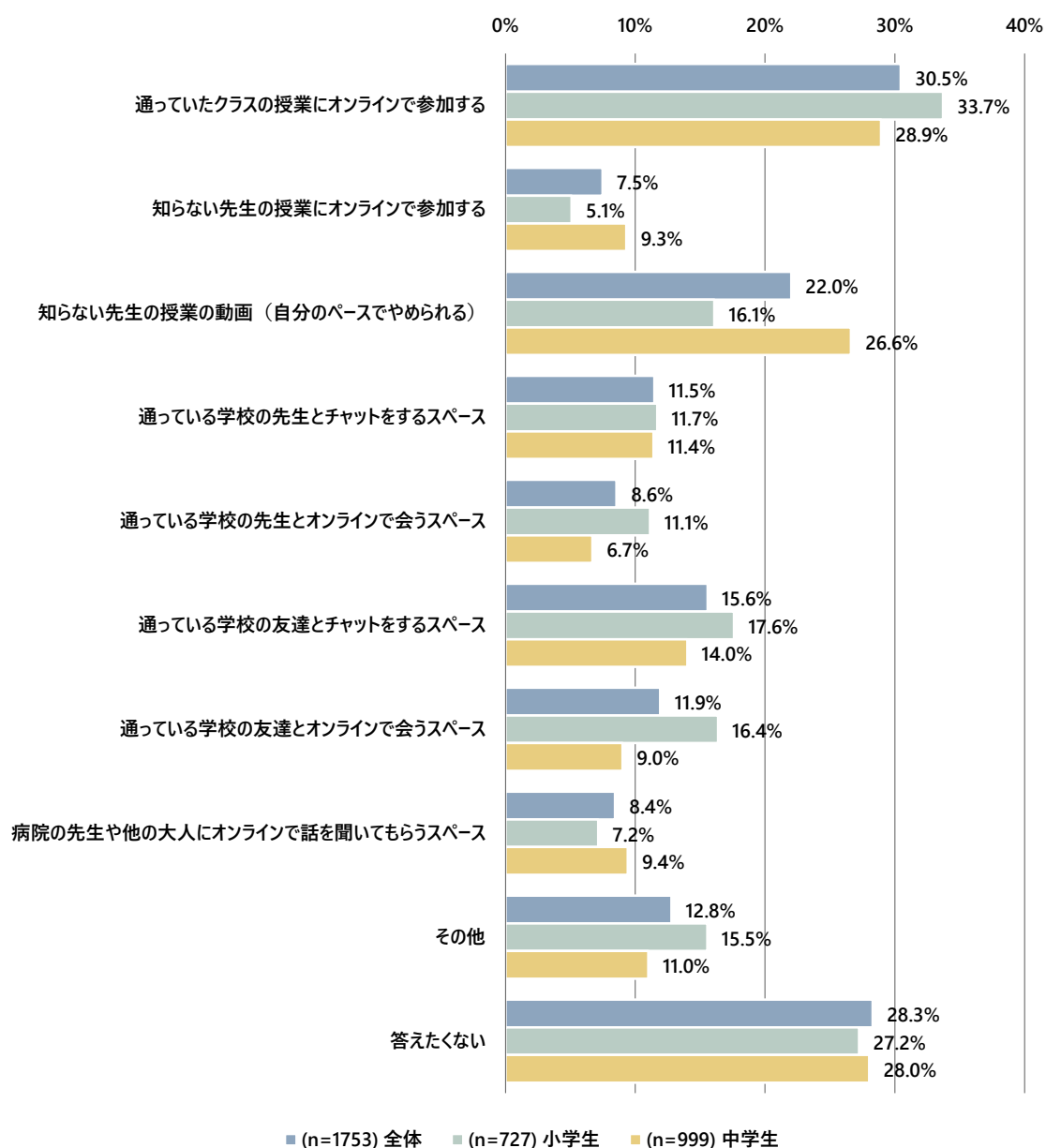
図表 108 学校を休んでいるとき、オンラインであつたらよいこと



## ②学校種別

学校種別にみると、中学生において、「知らない先生の授業の動画（自分のペースでやめられる）」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 109 学校を休んでいるとき、オンラインであつたらよいこと(学校種別)



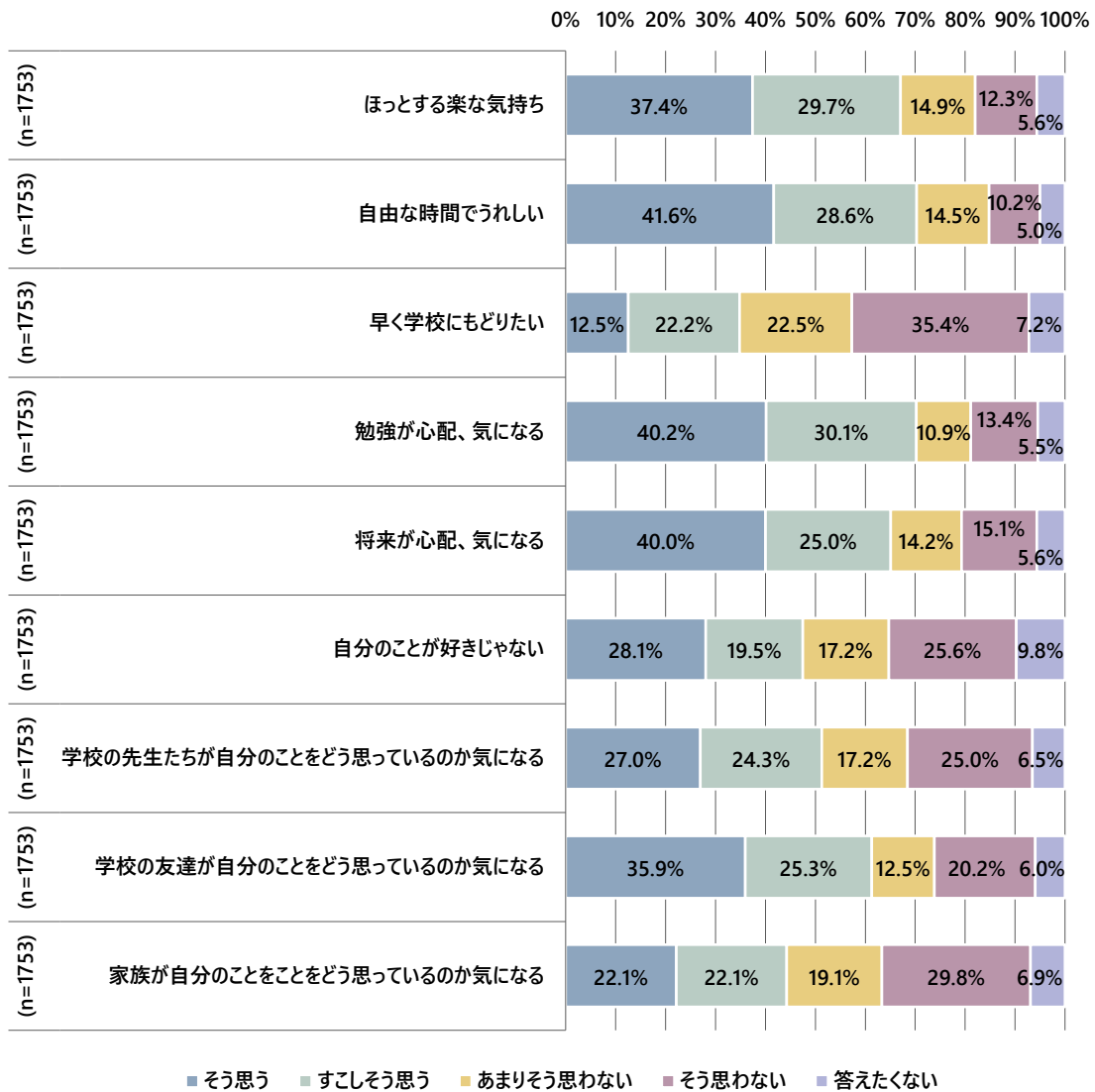
## ■学校を休んでいるときの気持ち

### (26)学校を休んでいるときの気持ち

#### ①全体

学校を休んでいるときに、どんな気持ちになるか尋ねた。「そう思う」と「すこしそう思う」の割合の合計に着目すると、「勉強が心配、気になる」における割合が最も高く70.3%である。次いで、「自由な時間でうれしい（70.2%）」「ほっとする楽な気持ち（67.1%）」である。

図表 110 学校を休んでいるときの気持ち

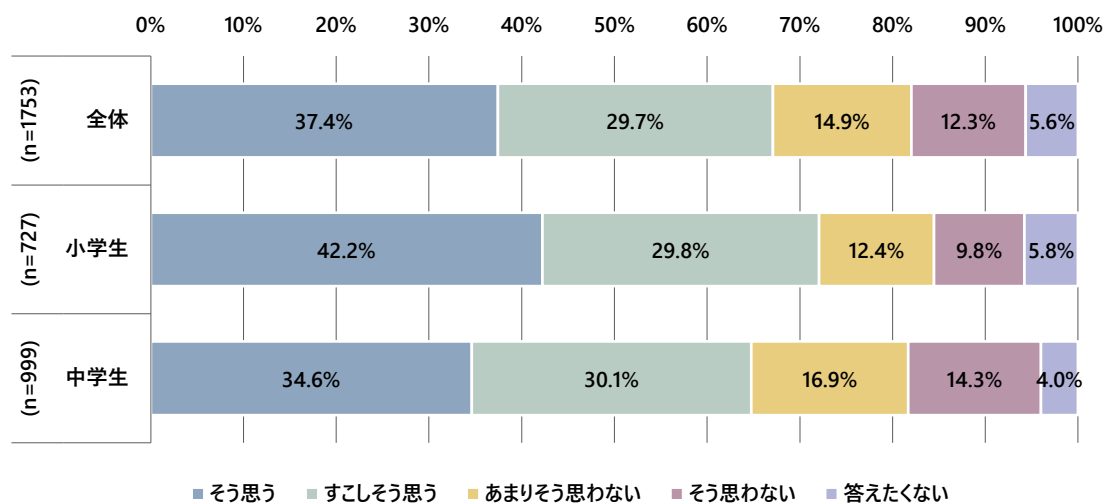


## ②学校種別

### 1)ほっとする楽な気持ち

学校種別にみると、小学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

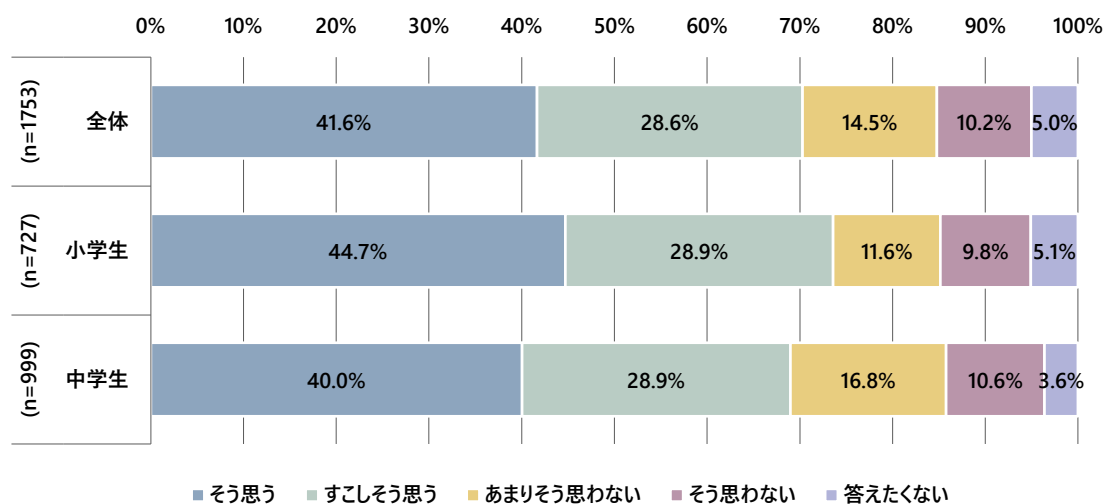
図表 111 学校を休んでいるときの気持ち(ほっとする楽な気持ち)(学校種別)



### 2)自由な時間でうれしい

学校種別にみると、小学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 112 学校を休んでいるときの気持ち(自由な時間でうれしい)(学校種別)

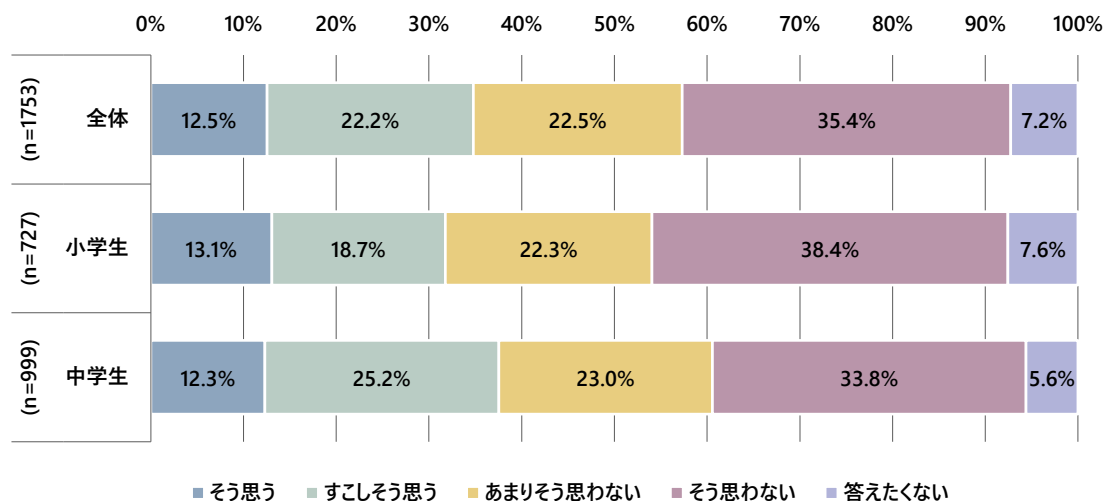




### 3)早く学校にもどりたい

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

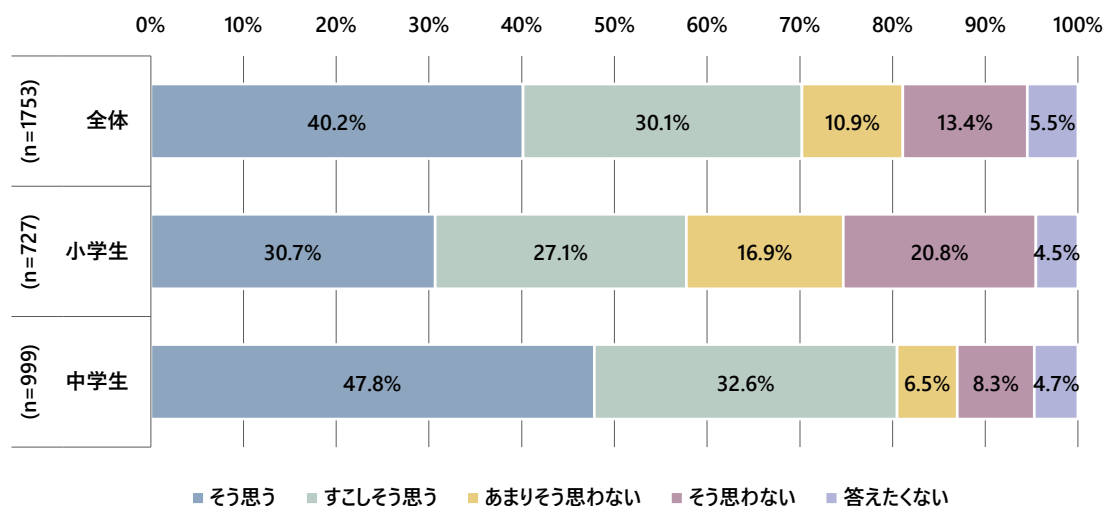
図表 113 学校を休んでいるときの気持ち(早く学校にもどりたい)(学校種別)



### 4)勉強が心配、気になる

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

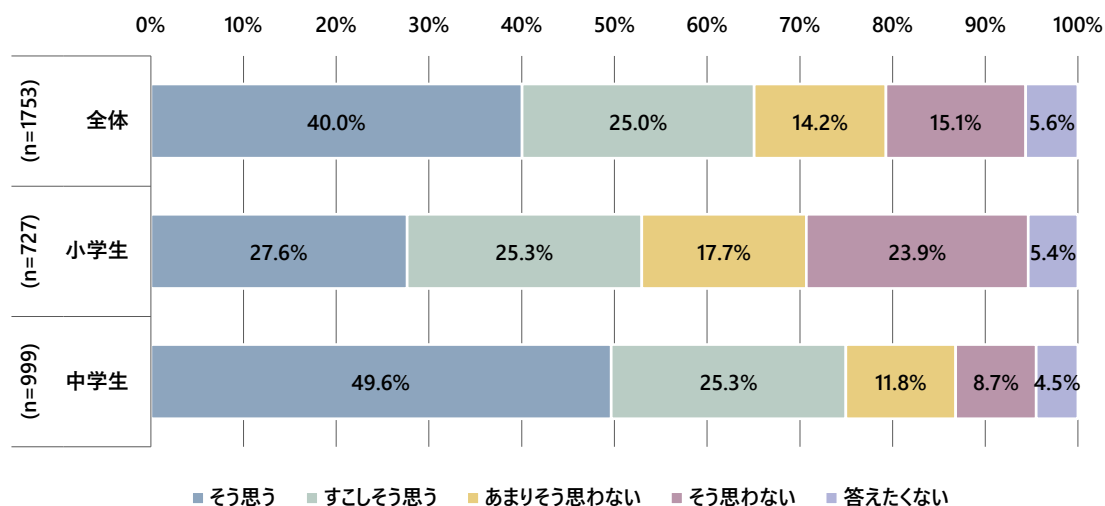
図表 114 学校を休んでいるときの気持ち(勉強が心配、気になる)(学校種別)



## 5) 将来が心配、気になる

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

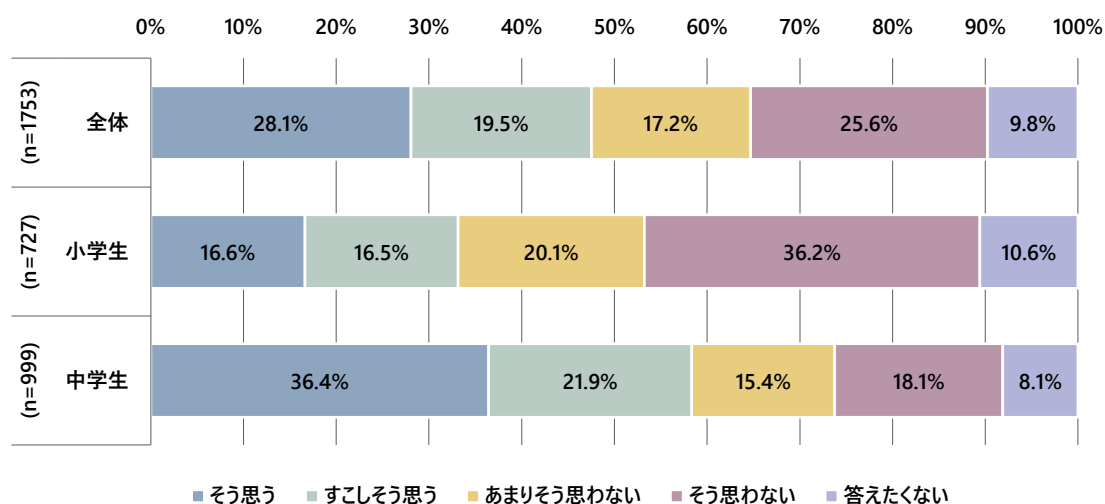
図表 115 学校を休んでいるときの気持ち(将来が心配、気になる)(学校種別)



## 6) 自分のことが好きじゃない

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

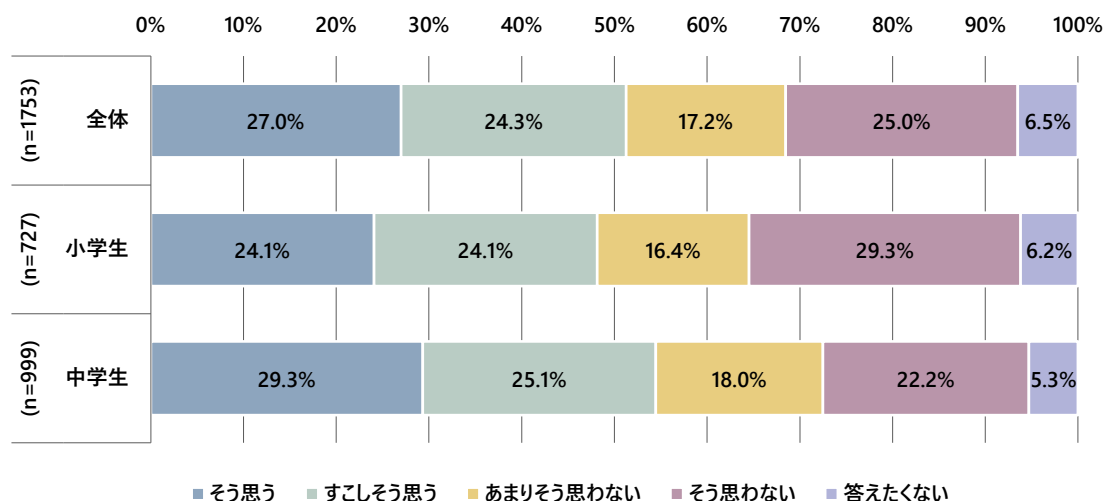
図表 116 学校を休んでいるときの気持ち(自分のことが好きじゃない)(学校種別)



## 7) 学校の先生たちが自分のことをどう思っているのか気になる

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

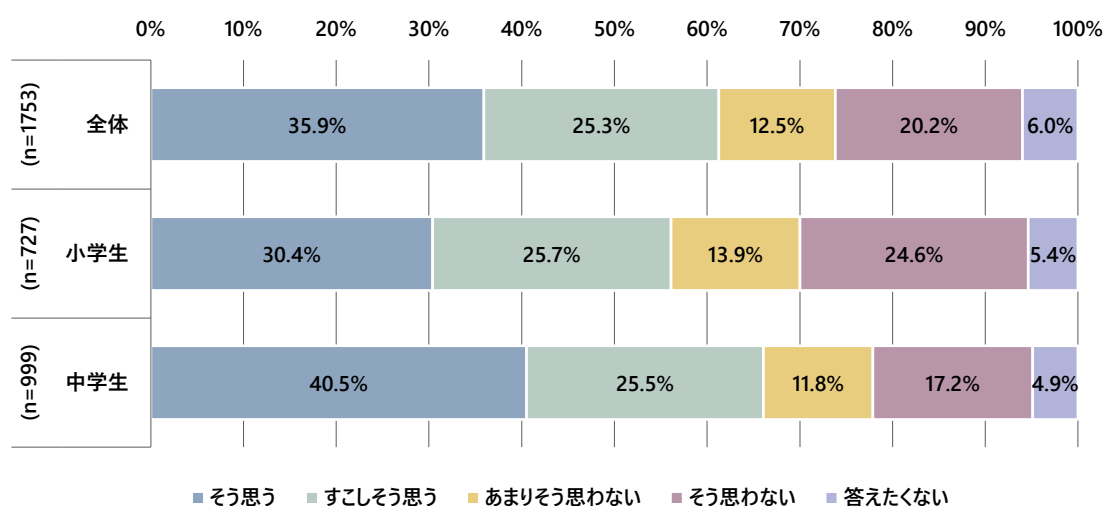
図表 117 学校を休んでいるときの気持ち  
(学校の先生たちが自分のことをどう思っているのか気になる)(学校種別)



## 8) 学校の友達が自分のことをどう思っているのか気になる

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

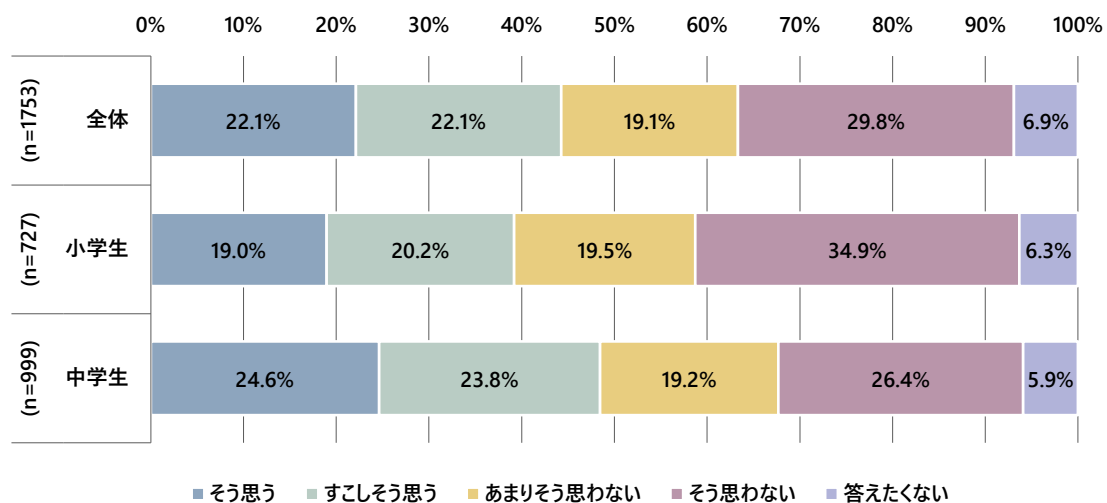
図表 118 学校を休んでいるときの気持ち  
(学校の友達が自分のことをどう思っているのか気になる)(学校種別)



### 9) 家族が自分のことをどう思っているのか気になる

学校種別にみると、中学生において「そう思う」「すこしそう思う」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 119 学校を休んでいるときの気持ち  
(家族が自分のことをどう思っているのか気になる)(学校種別)



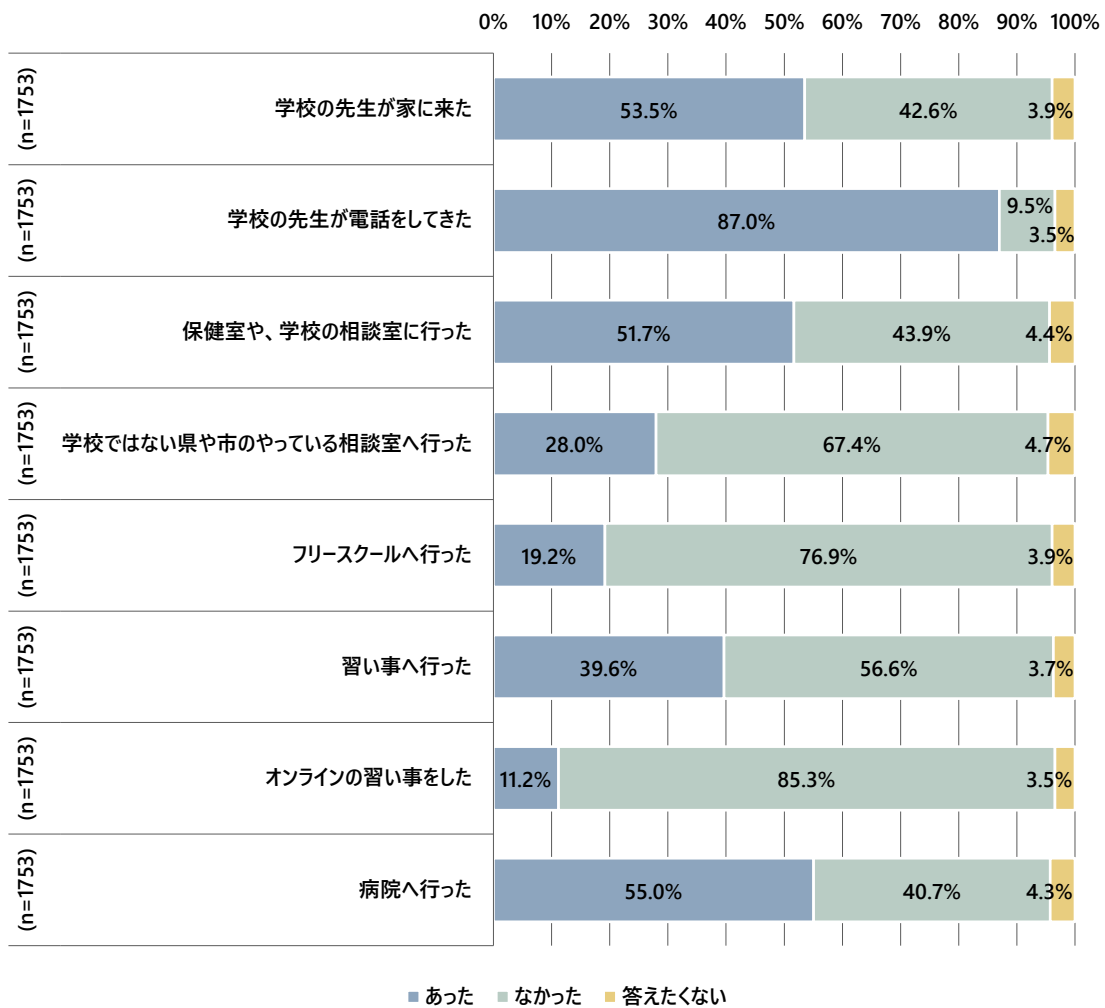
## ■学校を休んでいる間の支援

### (27)学校を休んでいるときにあった・行ったこと

#### ①全体

学校を休んでいるときに、次のようなことがあったか・行ったかを尋ねた。「あった」の割合に着目すると、「学校の先生が電話をしてきた」の割合が最も高く 87.0%である。次いで、「病院へ行った (55.0%)」、「保健室や、学校の相談室に行った (51.7%)」である。

図表 120 学校を休んでいるときにあった・行ったこと

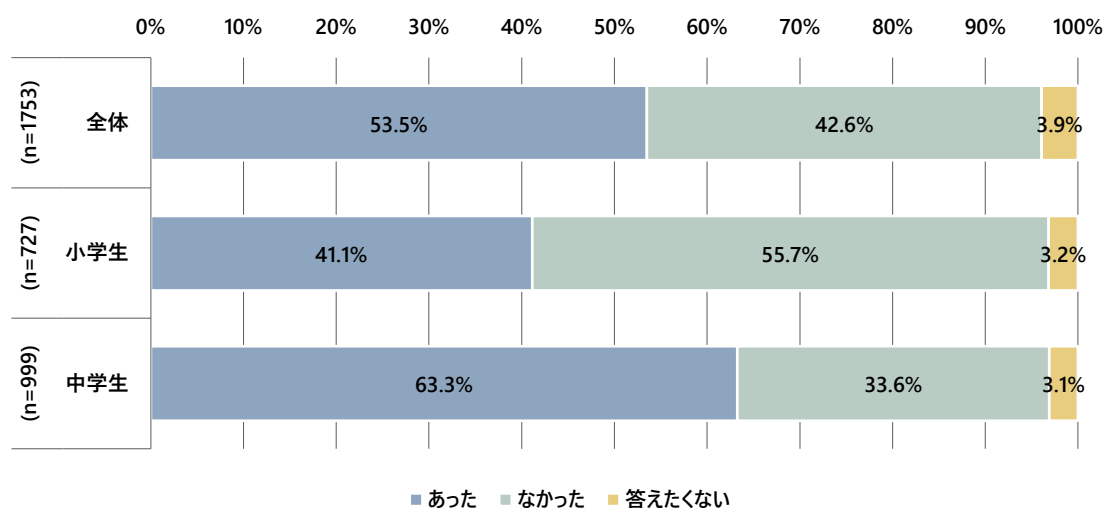


## ②学校種別

### 1)学校の先生が家に来た

学校種別にみると、中学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

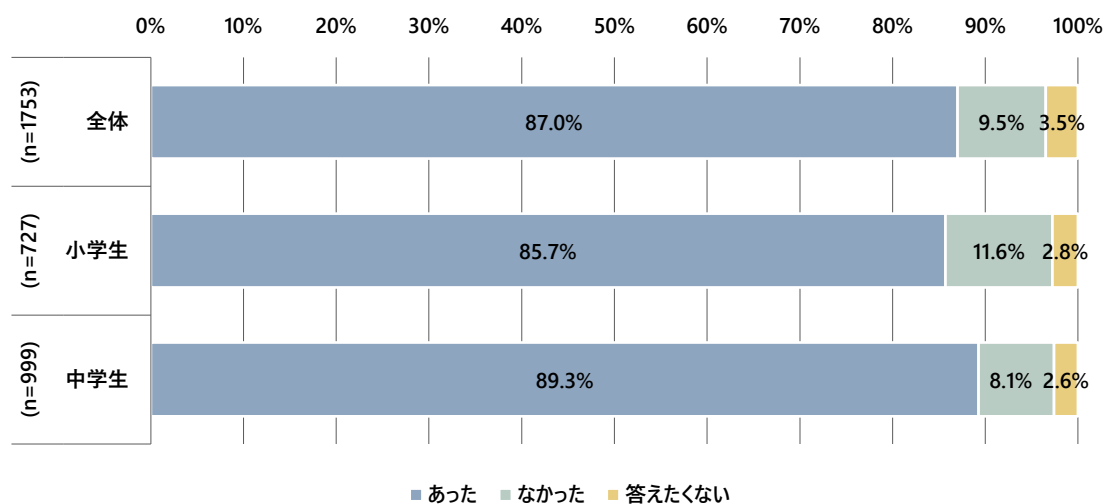
図表 121 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(学校の先生が家に来た)(学校種別)



### 2)学校の先生が電話をしてきた

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

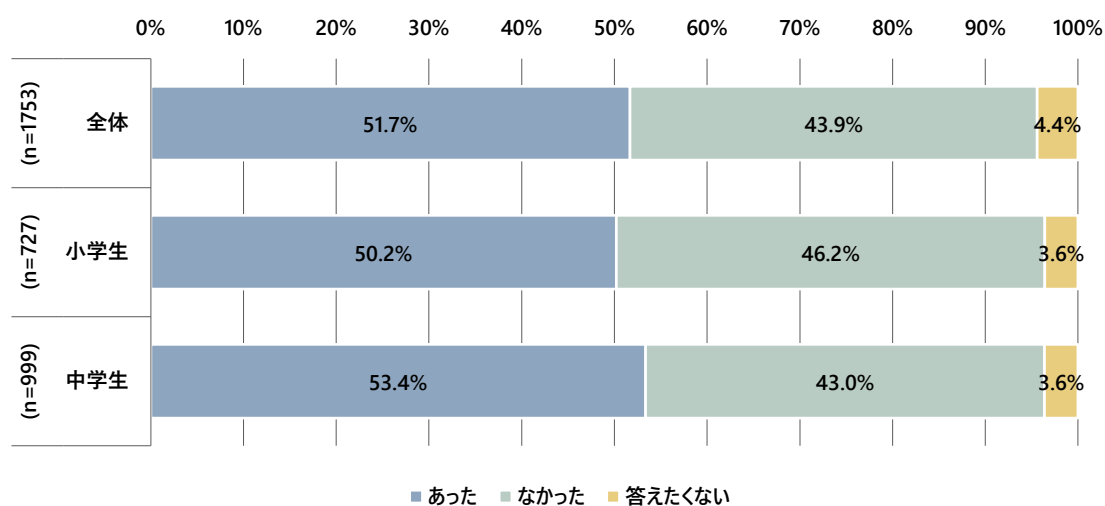
図表 122 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(学校の先生が電話をしてきた)(学校種別)



### 3)保健室や、学校の相談室に行った

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

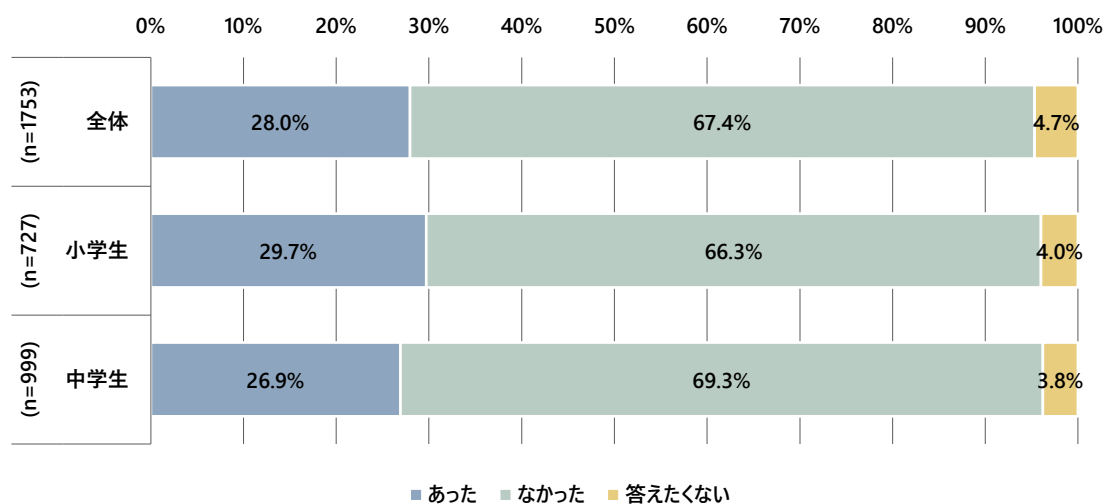
図表 123 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(保健室や、学校の相談室に行った)(学校種別)



### 4)学校ではない県や市のやっている相談室へ行った

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

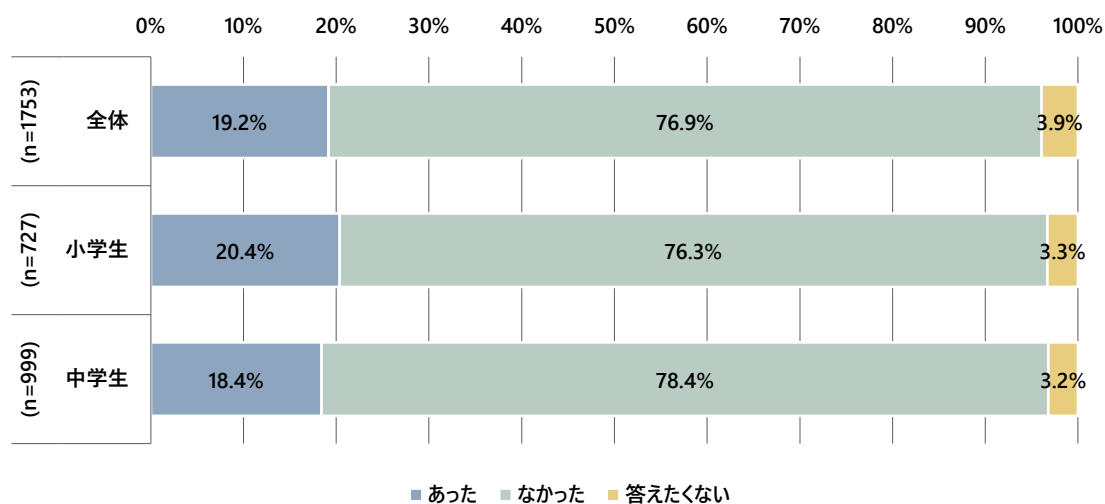
図表 124 学校を休んでいるときにあった・行ったこと  
(学校ではない県や市のやっている相談室へ行った)(学校種別)



## 5) フリースクールへ行った

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

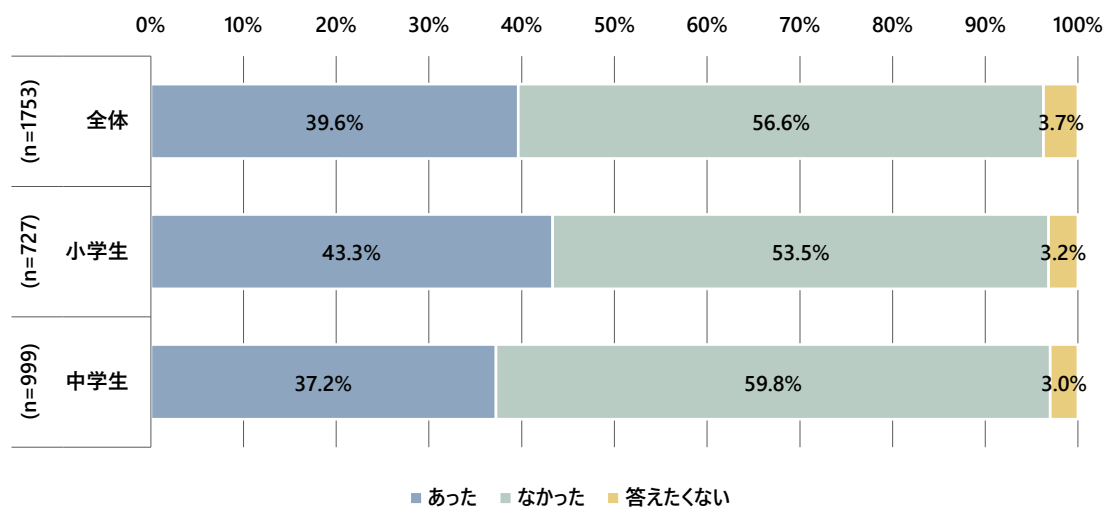
図表 125 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(フリースクールへ行った)(学校種別)



## 6) 習い事へ行った

学校種別にみると、小学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 126 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(習い事へ行った)(学校種別)

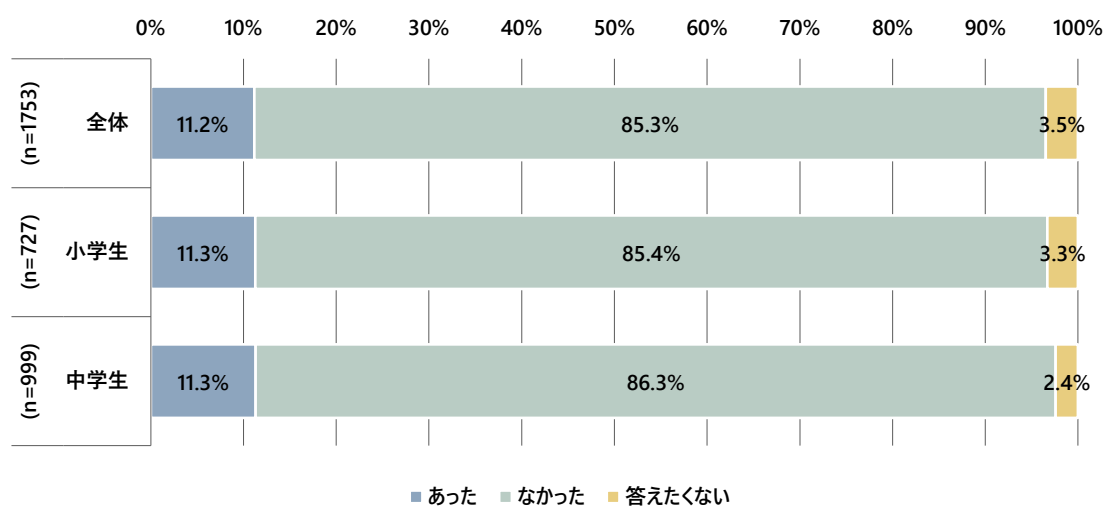




## 7)オンラインの習い事をした

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

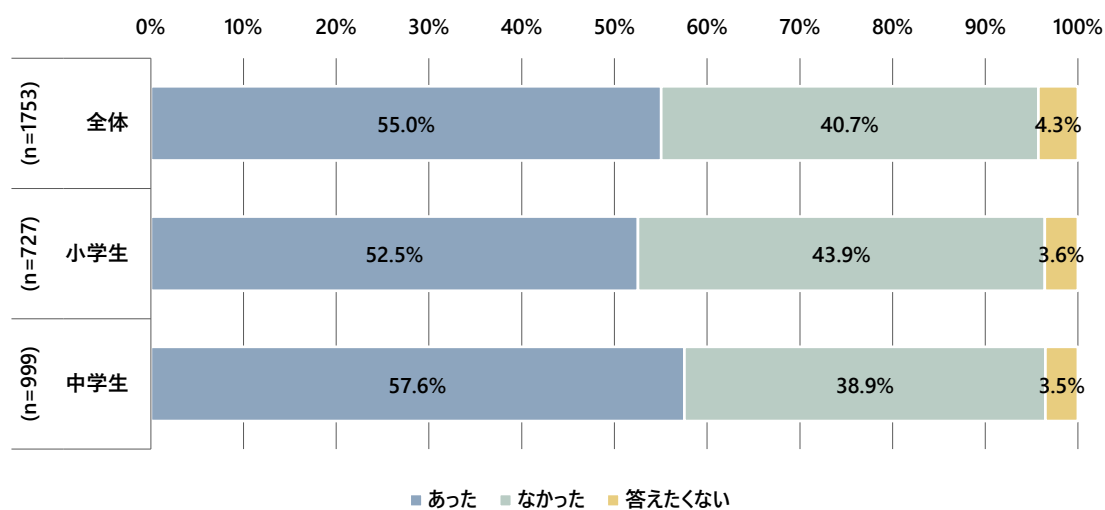
図表 127 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(オンラインの習い事をした)(学校種別)



## 8)病院へ行った

学校種別にみると、中学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 128 学校を休んでいるときにあった・行ったこと(病院へ行った)(学校種別)

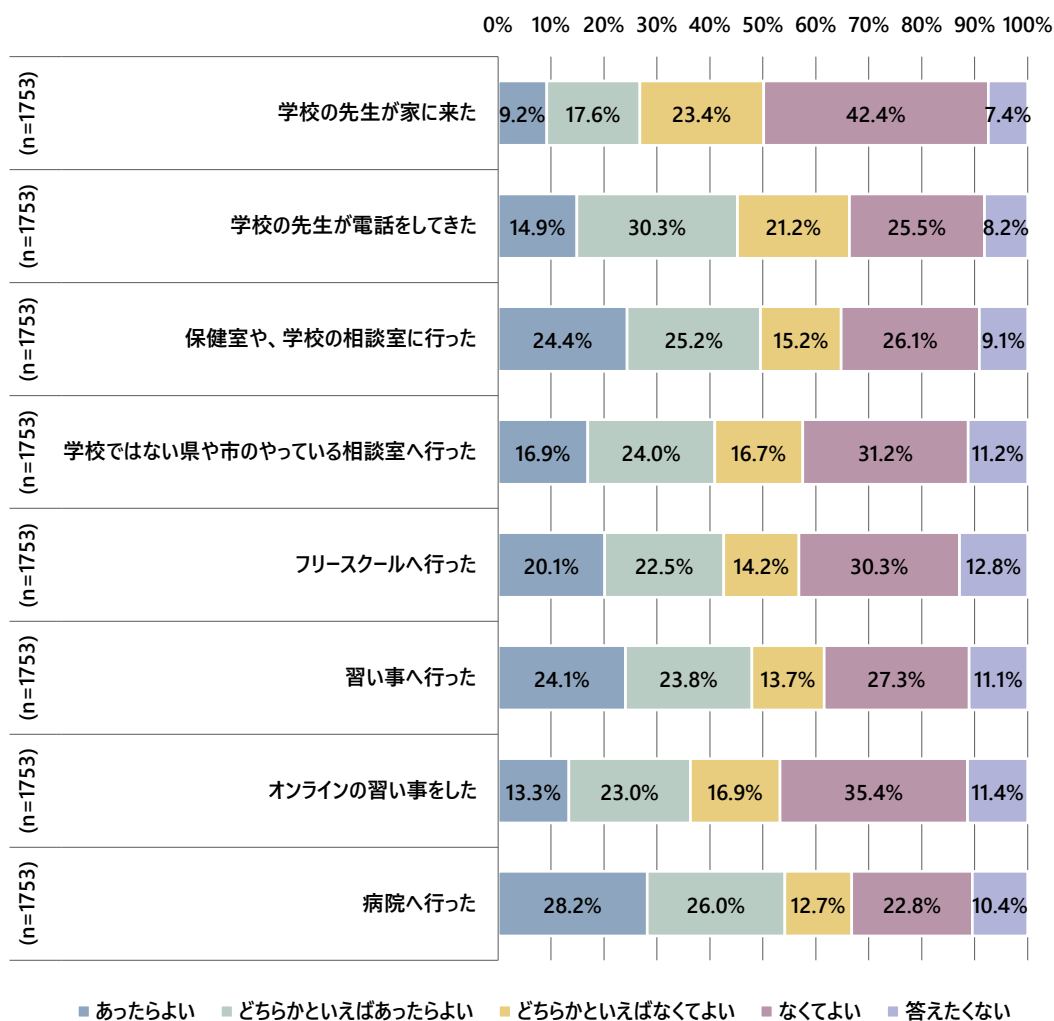


## (28)学校を休んでいるときあった・行ったことへの評価

### ①全体

学校を休んでいるときにあった・行ったことについてどう思うかを尋ねた。「あったらよい」と「どちらかといえばあったらよい」の割合の合計に着目すると、「病院へ行った」における割合が最も高く 54.2%である。次いで、「保健室や、学校の相談室に行った (49.6%)」、「習い事へ行った (47.9%)」である。

図表 129 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価

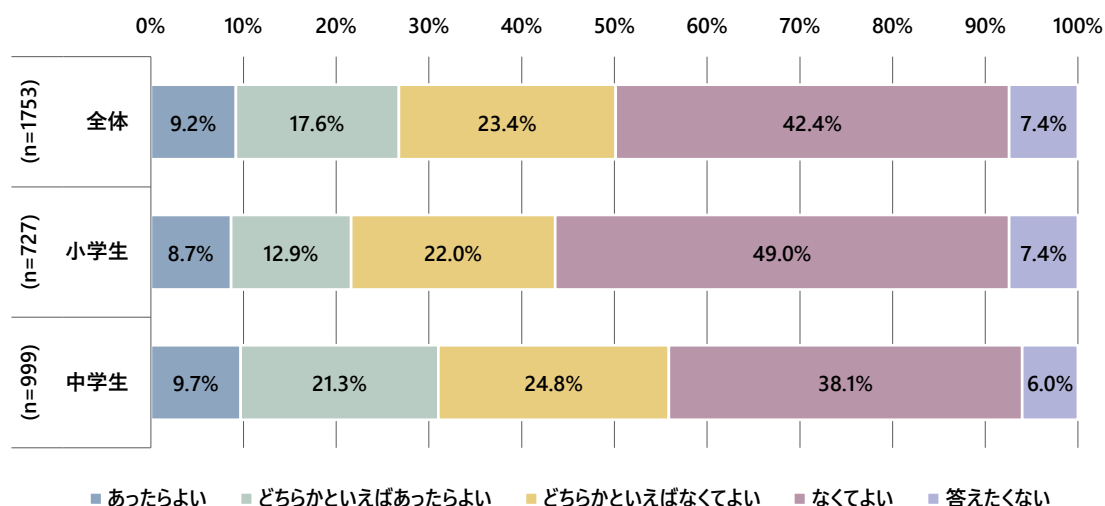


## ②学校種別

### 1)学校の先生が家に来た

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

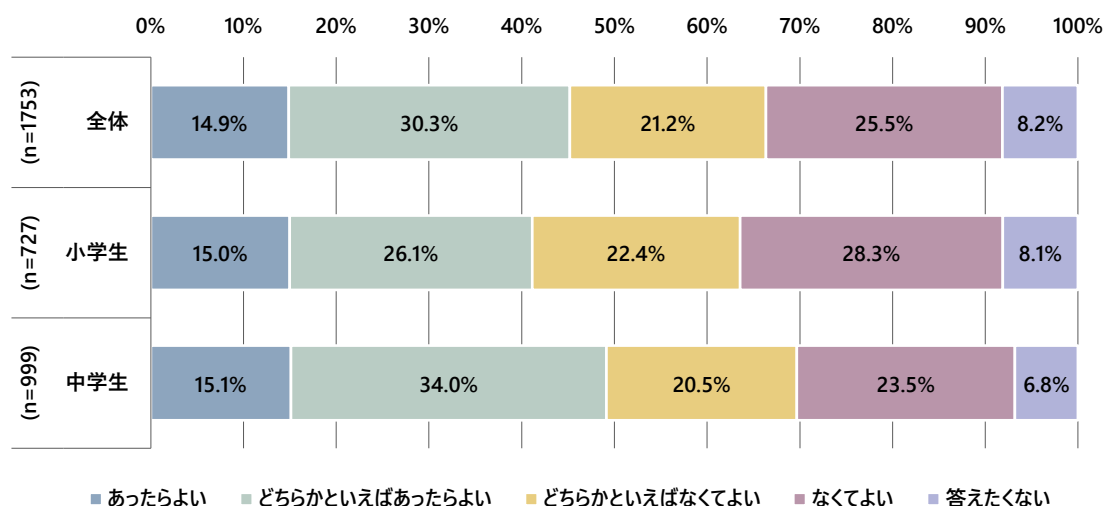
図表 130 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価(学校の先生が家に来た)(学校種別)



### 2)学校の先生が電話をしてきた

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

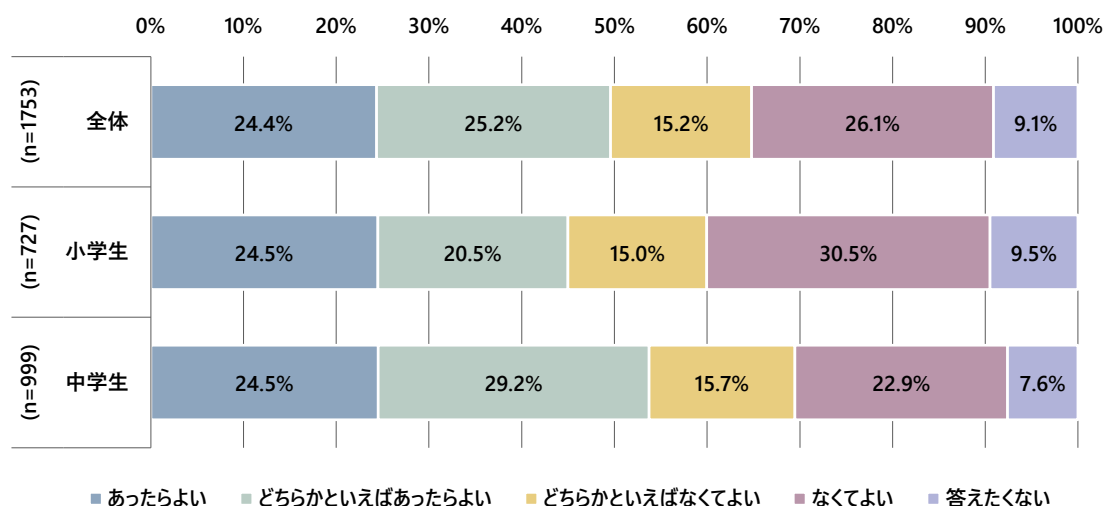
図表 131 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価(学校の先生が電話をしてきた)(学校種別)



### 3)保健室や、学校の相談室に行った

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

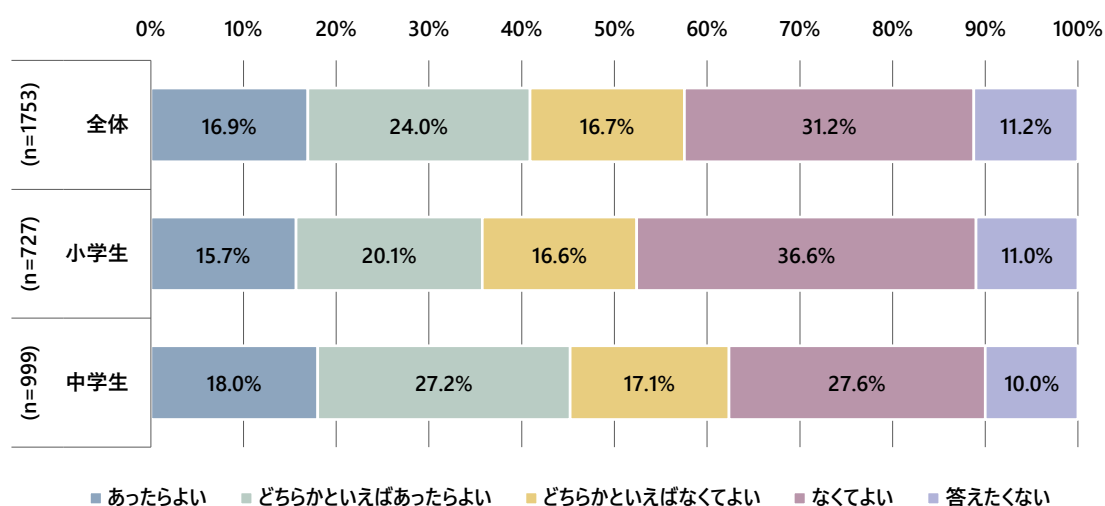
図表 132 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価  
(保健室や、学校の相談室に行った)(学校種別)



### 4)学校ではない県や市のやっている相談室へ行った

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

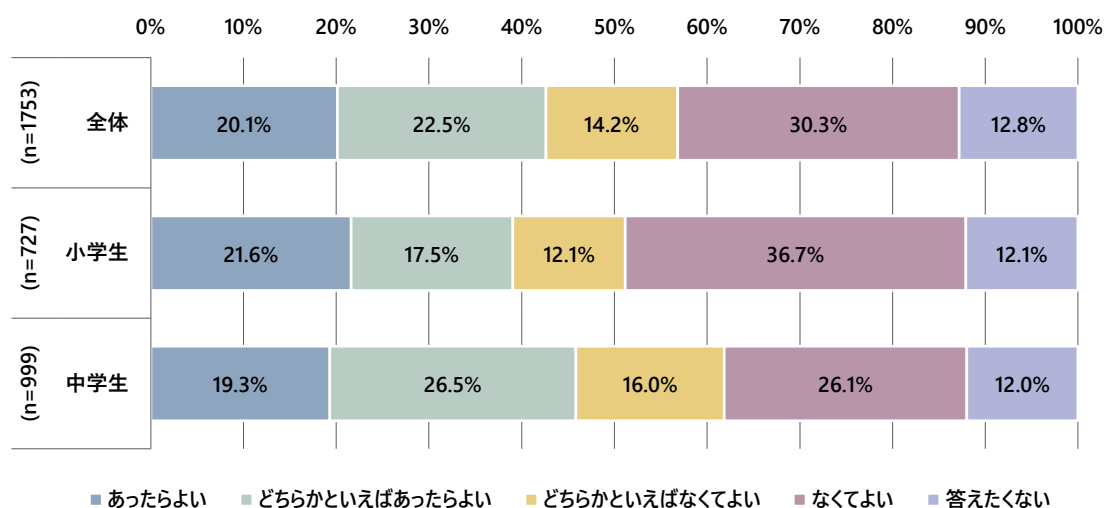
図表 133 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価  
(学校ではない県や市のやっている相談室へ行った)(学校種別)



## 5)フリースクールへ行った

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

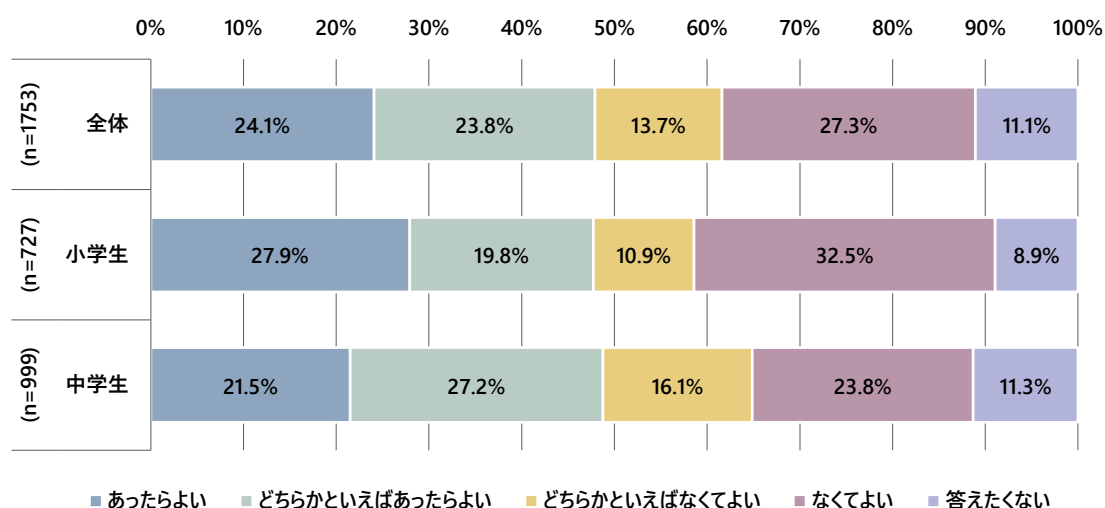
図表 134 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価(フリースクールへ行った)(学校種別)



## 6)習い事へ行った

学校種別にみると、「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」/「どちらかといえばなくてよい」「なくてよい」の合計値については、特段の傾向の差はみられなかった。

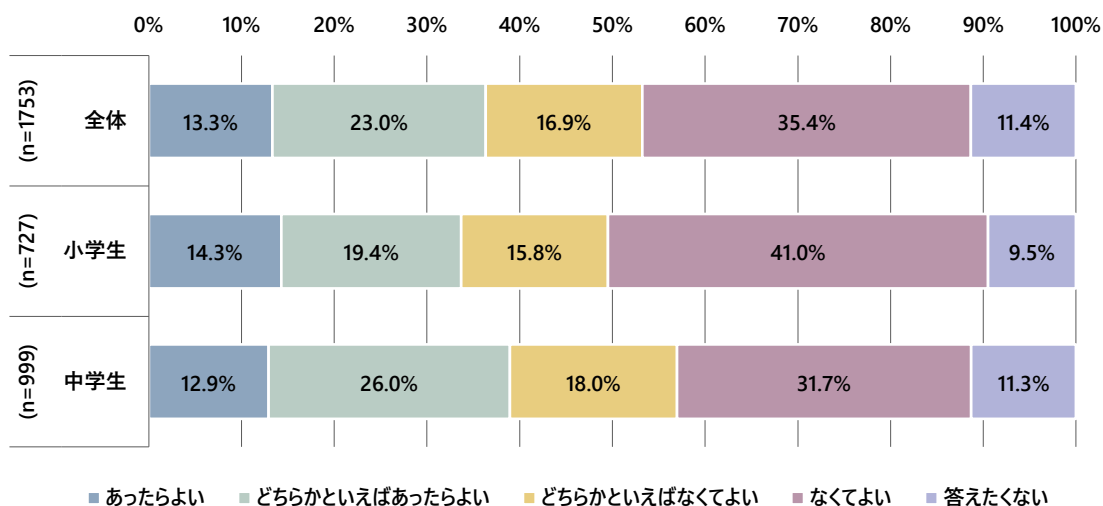
図表 135 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価(習い事へ行った)(学校種別)



## 7)オンラインの習い事をした

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

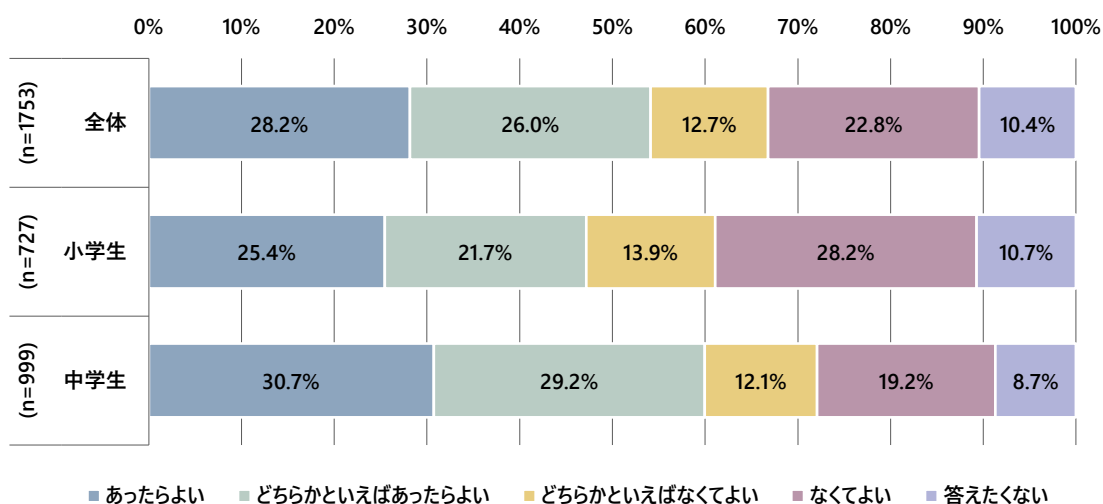
図表 136 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価(オンラインの習い事をした)(学校種別)



## 8)病院へ行った

学校種別にみると、中学生において「あったらよい」「どちらかといえばあったらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 137 学校を休んでいるときにあった・行ったことへの評価(病院へ行った)(学校種別)

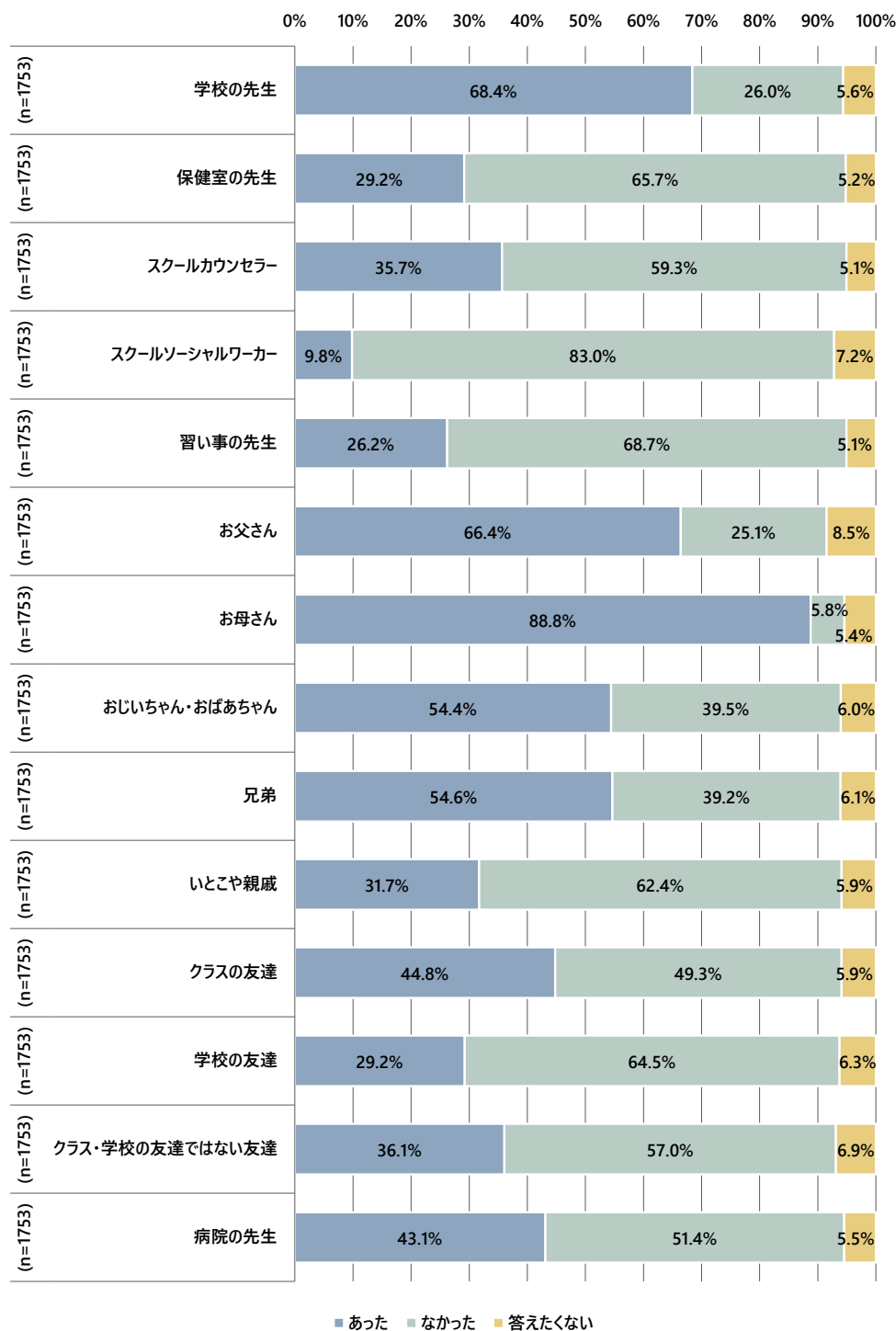


## (29)学校を休んでいるときに話した人はいるか

### ①全体

学校を休んでいるときに、話をした人がいるか尋ねた。「あった」の割合の合計に着目すると、「お母さん」の割合が最も高く 88.8%である。次いで、「学校の先生 (68.4%)」、「お父さん (66.4%)」である。

図表 138 学校を休んでいるときに話した人はいるか

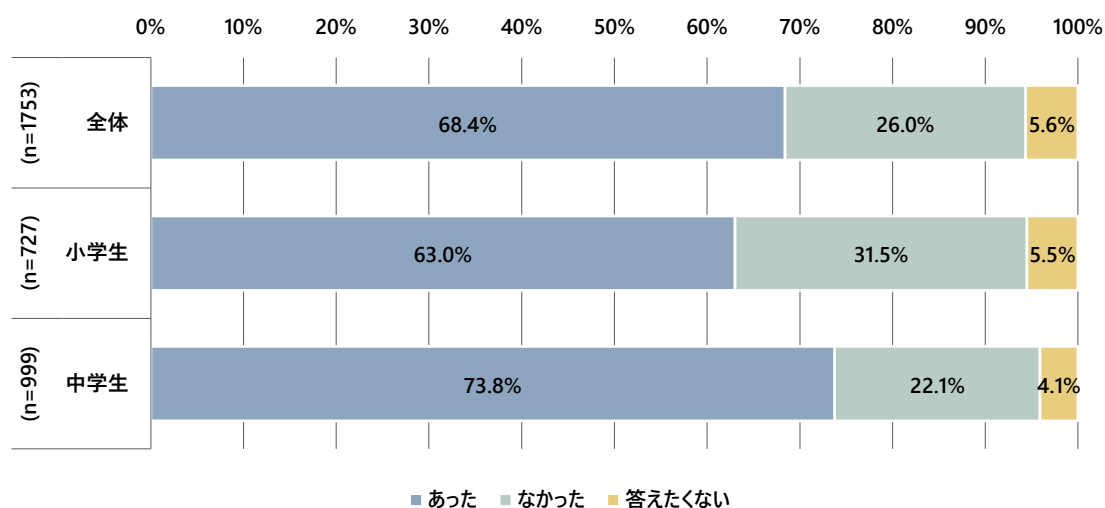


## ②学校種別

### 1)学校の先生

学校種別にみると、中学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

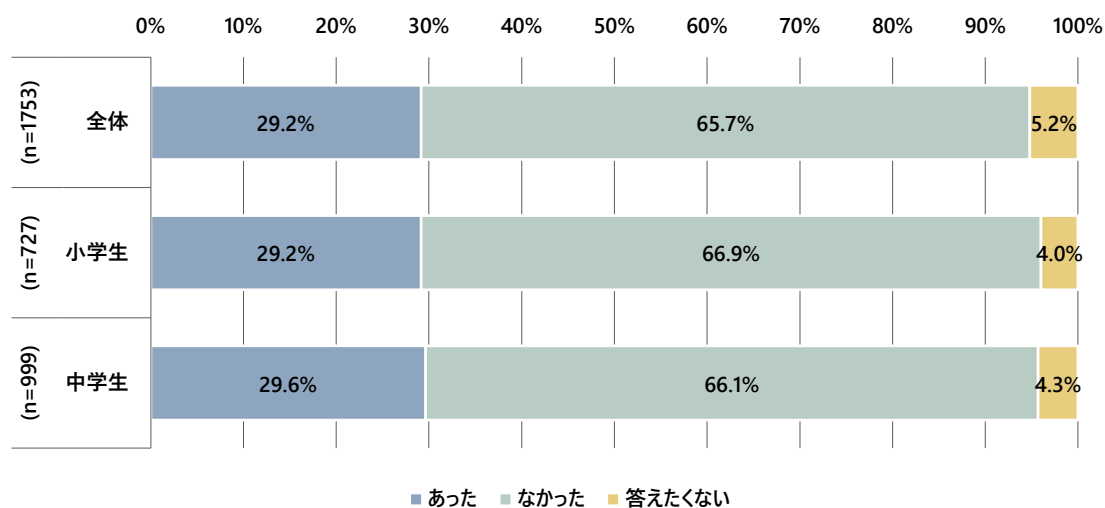
図表 139 学校を休んでいるときに話した人はいるか(学校の先生)(学校種別)



### 2)保健室の先生

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

図表 140 学校を休んでいるときに話した人はいるか(保健室の先生)(学校種別)

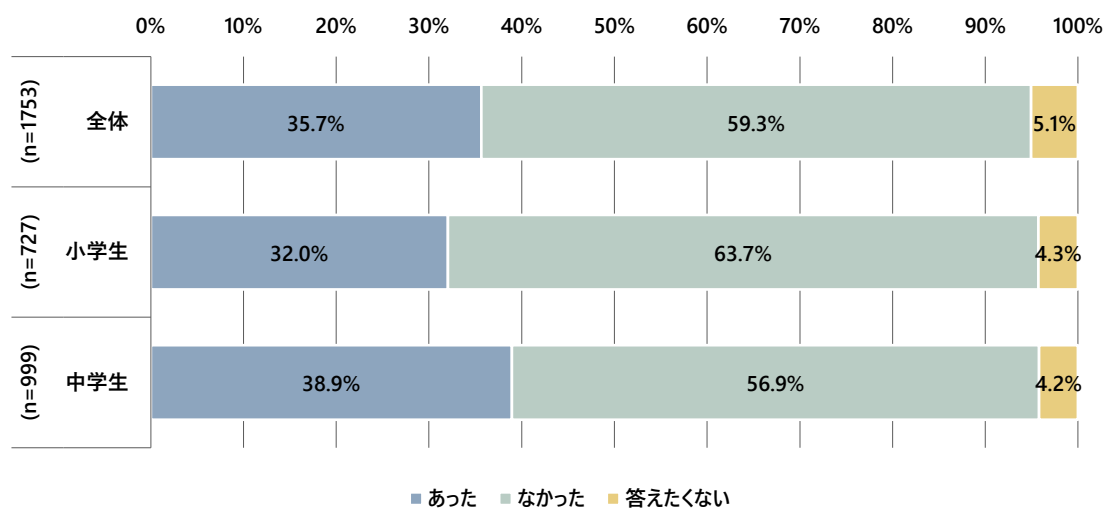




### 3) スクールカウンセラー

学校種別にみると、中学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

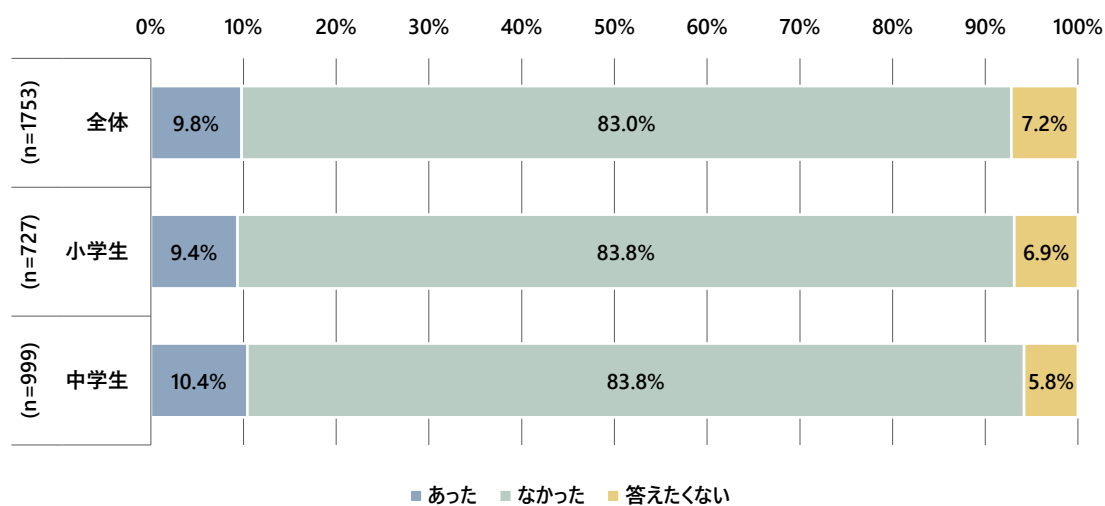
図表 141 学校を休んでいるときに話した人はいるか(スクールカウンセラー)(学校種別)



### 4) スクールソーシャルワーカー

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

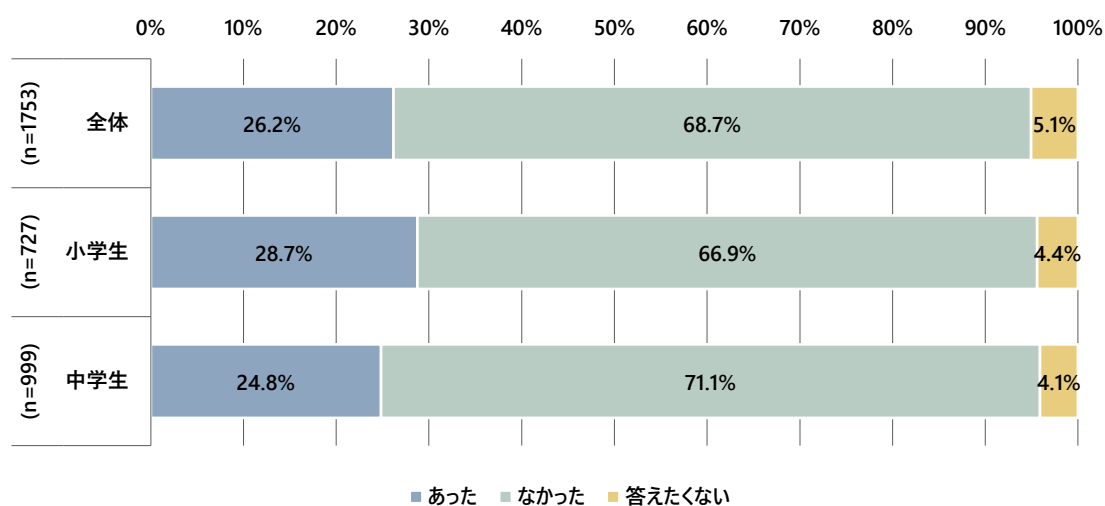
図表 142 学校を休んでいるときに話した人はいるか(スクールソーシャルワーカー)(学校種別)



## 5) 習い事の先生

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

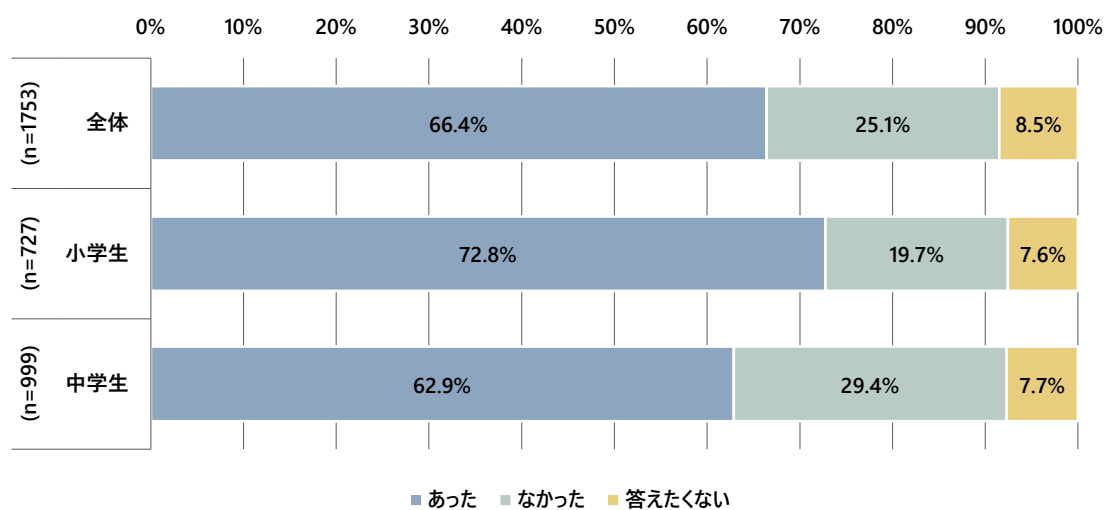
図表 143 学校を休んでいるときに話した人はいるか(習い事の先生)(学校種別)



## 6) お父さん

学校種別にみると、小学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

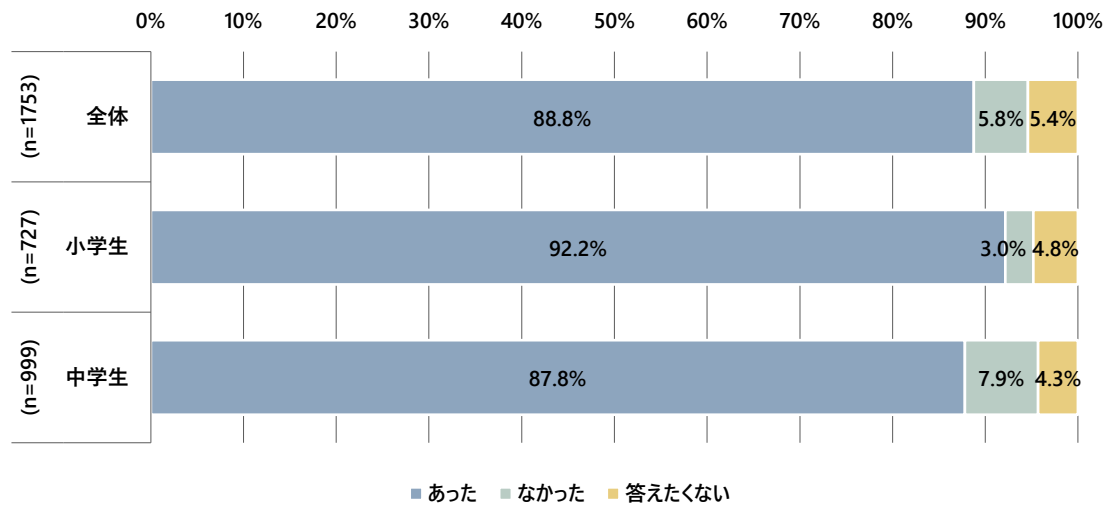
図表 144 学校を休んでいるときに話した人はいるか(お父さん)(学校種別)



## 7)お母さん

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

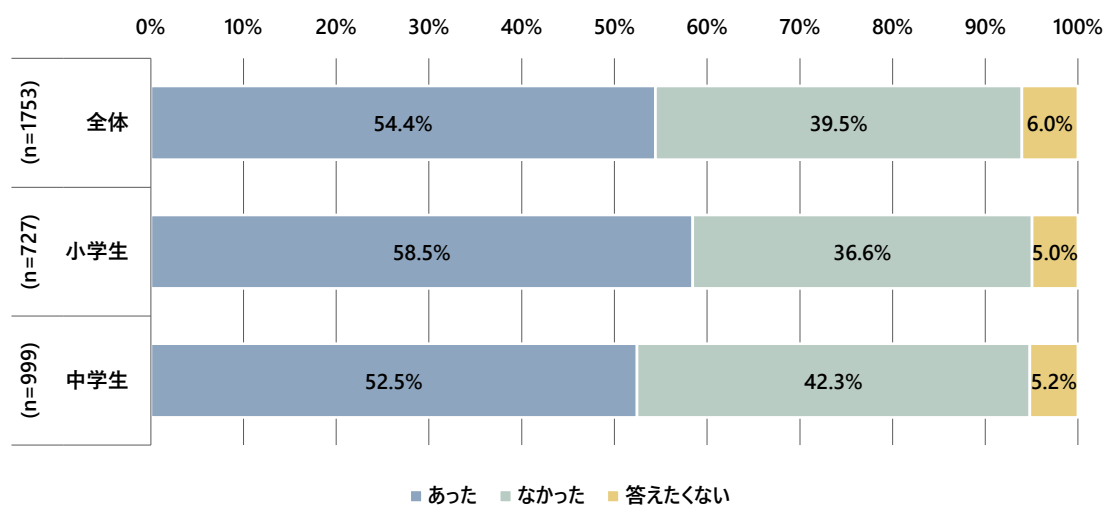
図表 145 学校を休んでいるときに話した人はいるか(お母さん)(学校種別)



## 8)おじいちゃん・おばあちゃん

学校種別にみると、小学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

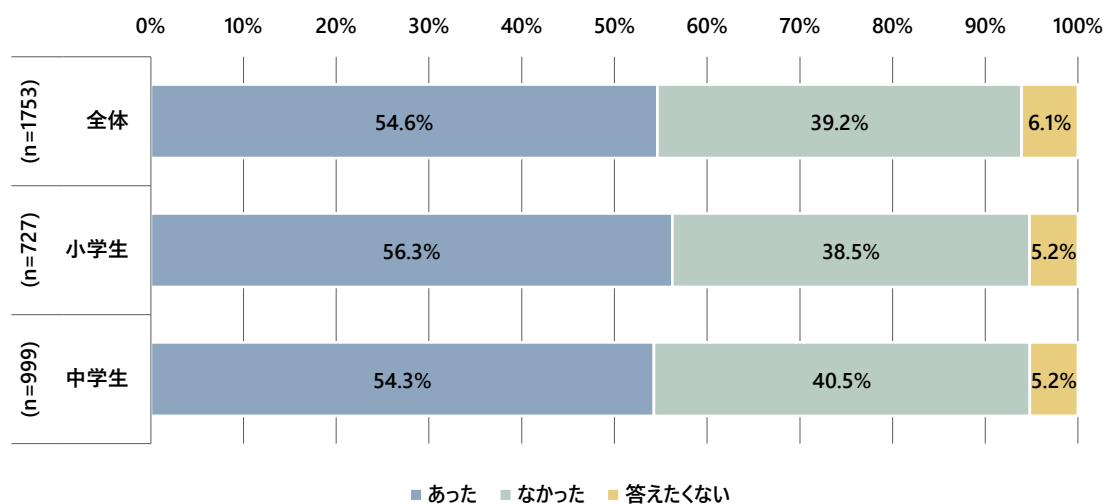
図表 146 学校を休んでいるときに話した人はいるか(おじいちゃん・おばあちゃん)(学校種別)



## 9)兄弟

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

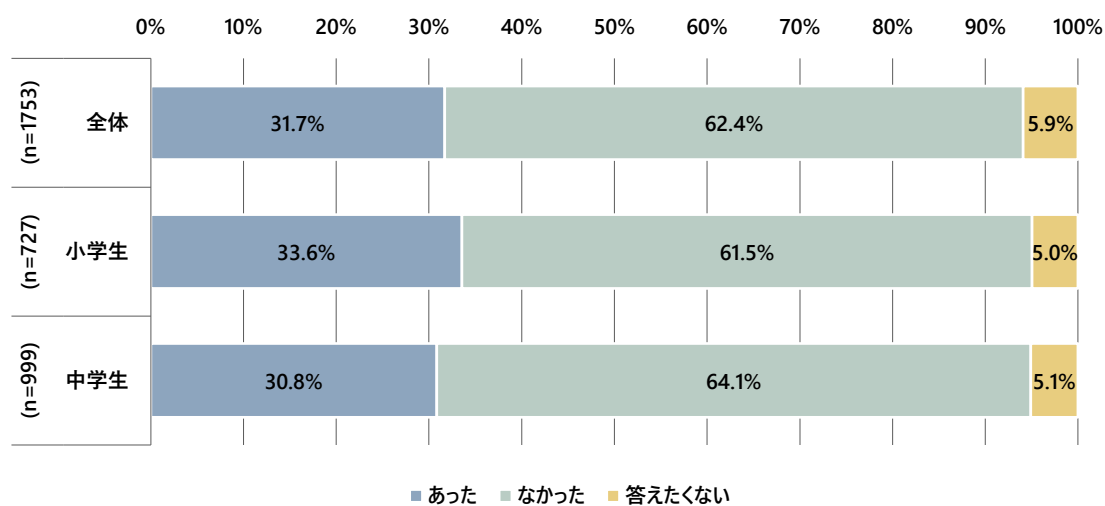
図表 147 学校を休んでいるときに話した人はいるか(兄弟)(学校種別)



## 10)いとこや親戚

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

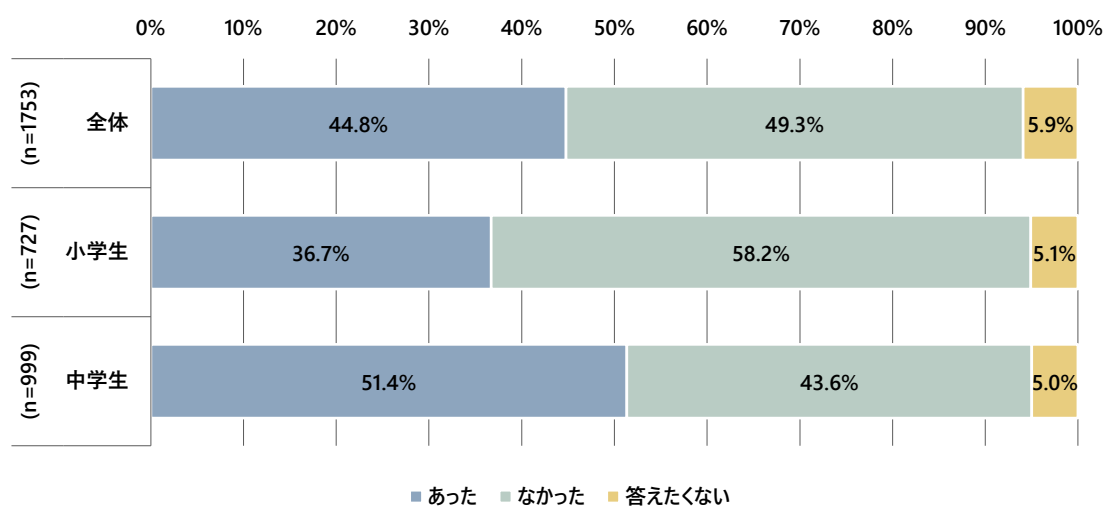
図表 148 学校を休んでいるときに話した人はいるか(いとこや親戚)(学校種別)



## 11) クラスの友達

学校種別にみると、中学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

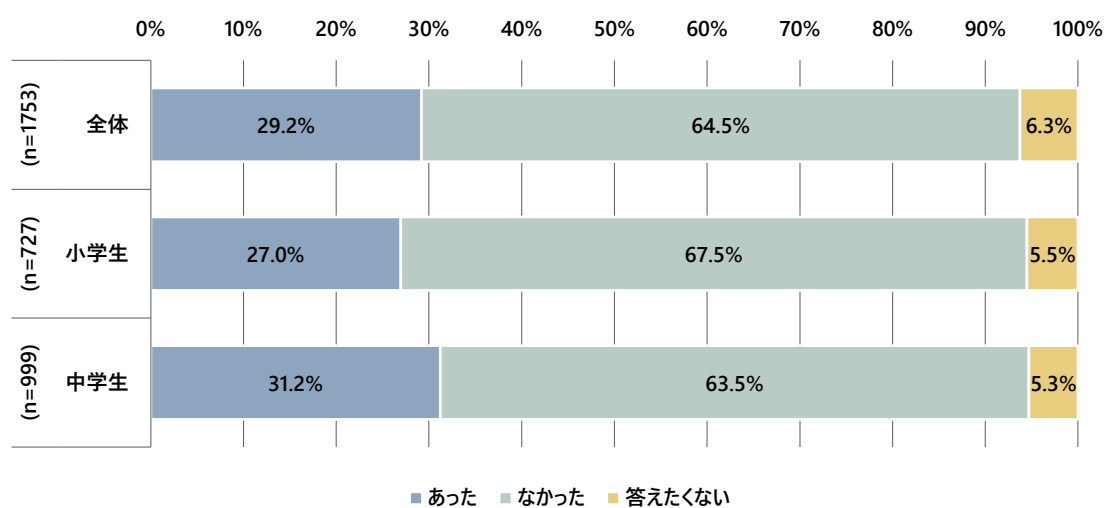
図表 149 学校を休んでいるときに話した人はいるか(クラスの友達)(学校種別)



## 12) 学校の友達

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

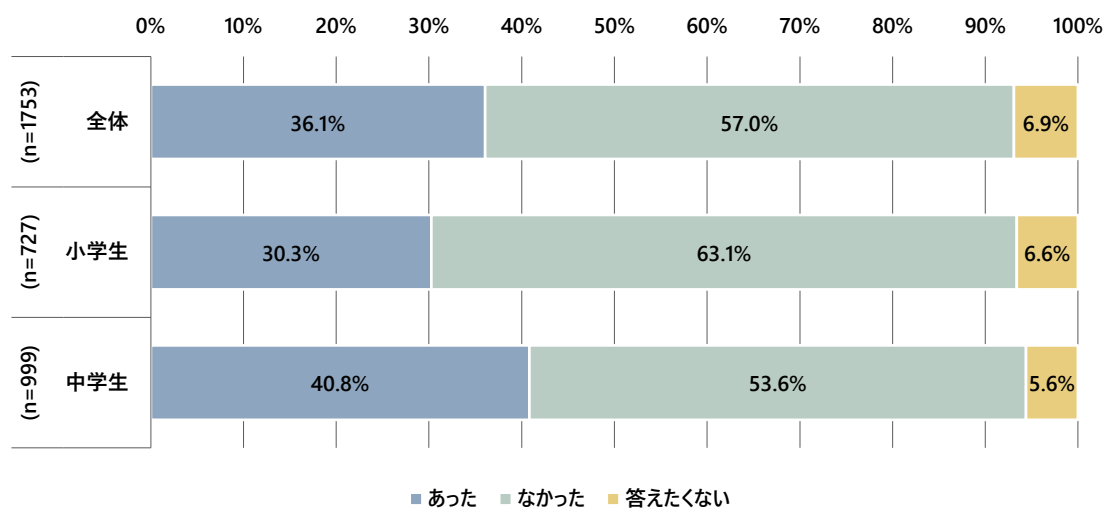
図表 150 学校を休んでいるときに話した人はいるか(学校の友達)(学校種別)



### 13) クラス・学校の友達ではない友達

学校種別にみると、中学生において「あった」と回答した割合が高い傾向がみられる。

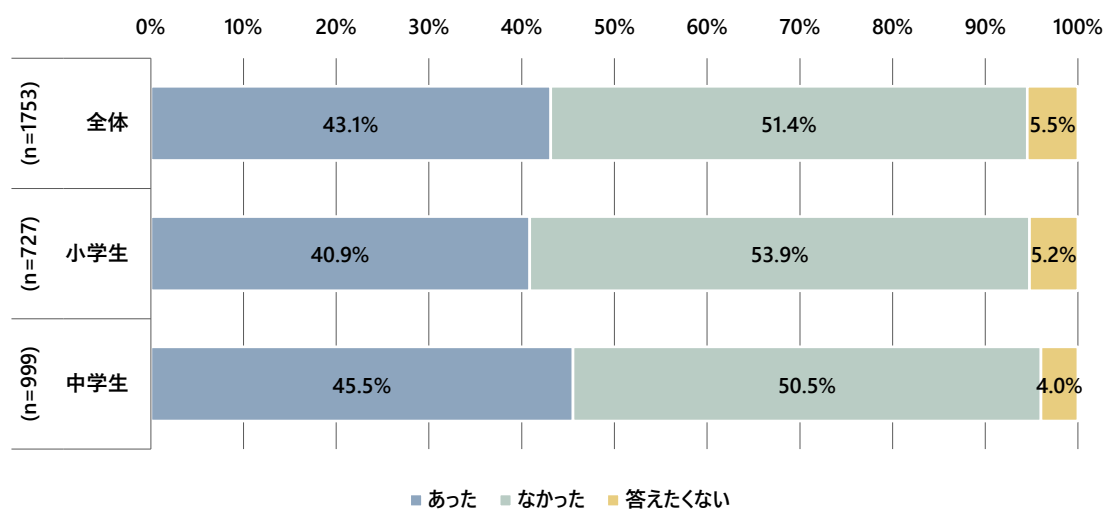
図表 151 学校を休んでいるときに話した人はいるか(クラス・学校の友達ではない友達)(学校種別)



### 14) 病院の先生

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

図表 152 学校を休んでいるときに話した人はいるか(病院の先生)(学校種別)

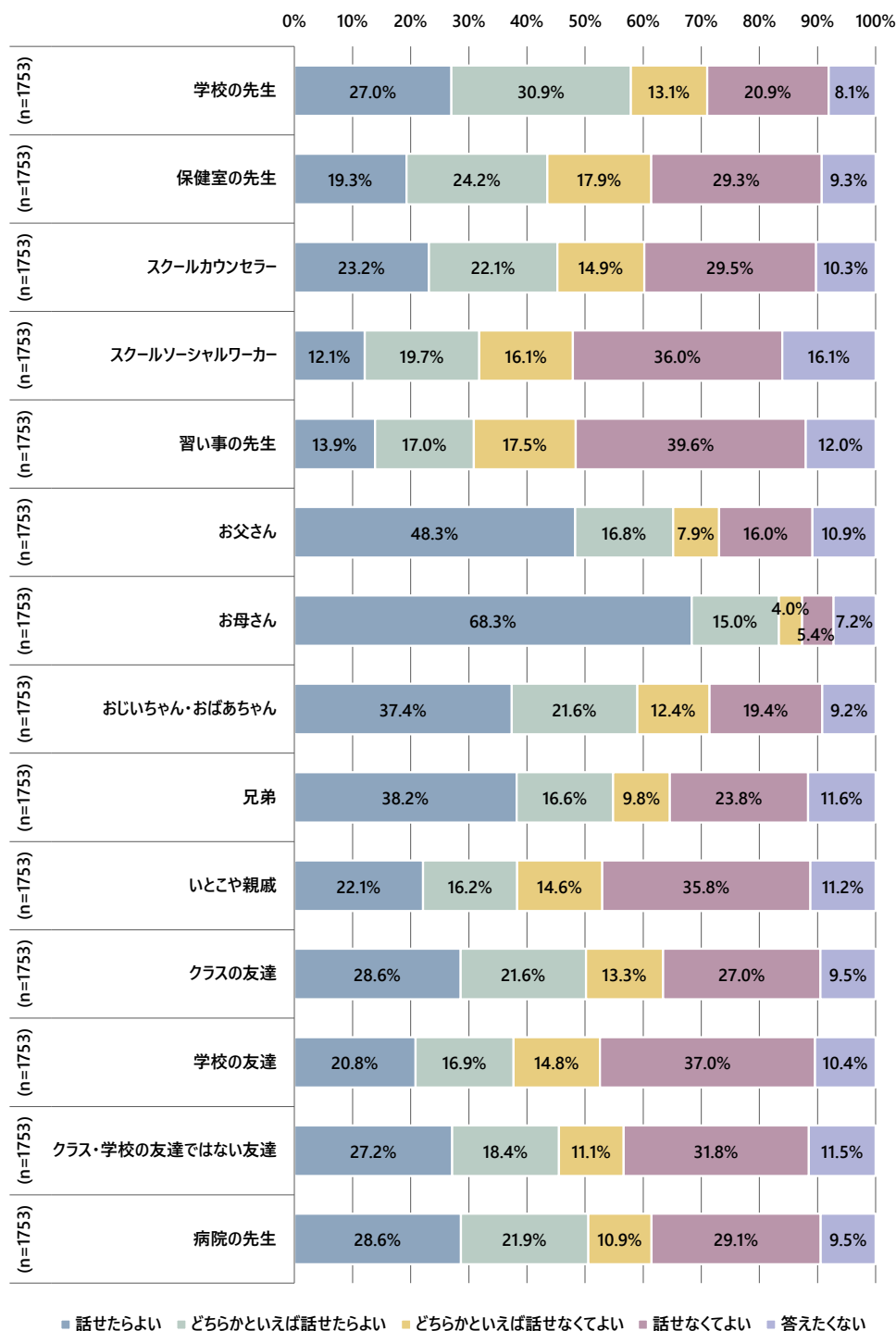


### (30)学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか

#### ①全体

学校を休んでいるときに、話して(話せたら)よかったか尋ねた。「話せたらよい」と「どちらかといえば話せたらよい」の割合の合計に着目すると、「お母さん」における割合が最も高く 83.3%である。次いで、「お父さん(65.1%)」、「おじいちゃん・おばあちゃん(59.0%)」である。

図表 153 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか

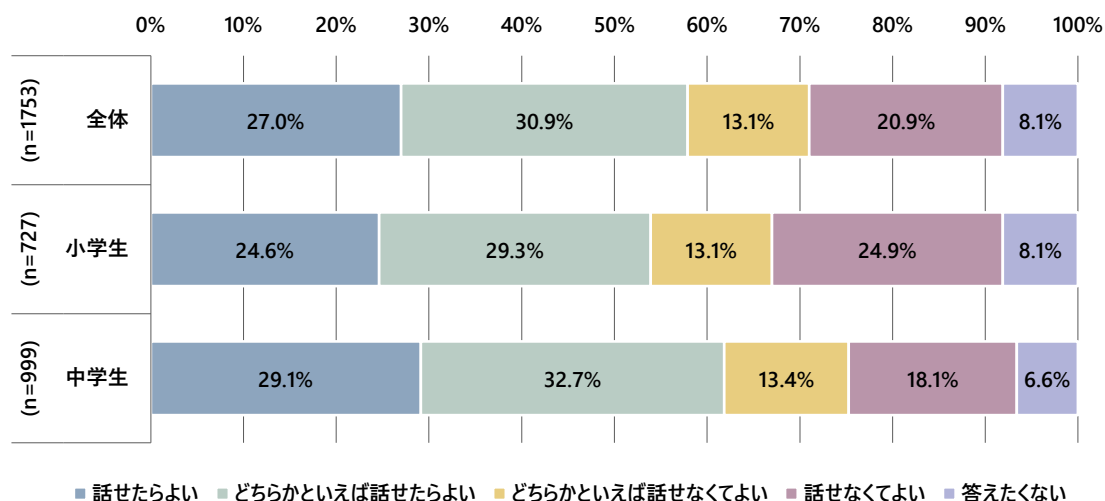


## ②学校種別

### 1)学校の先生

学校種別にみると、中学生において「話せたらよい」と「どちらかといえば話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

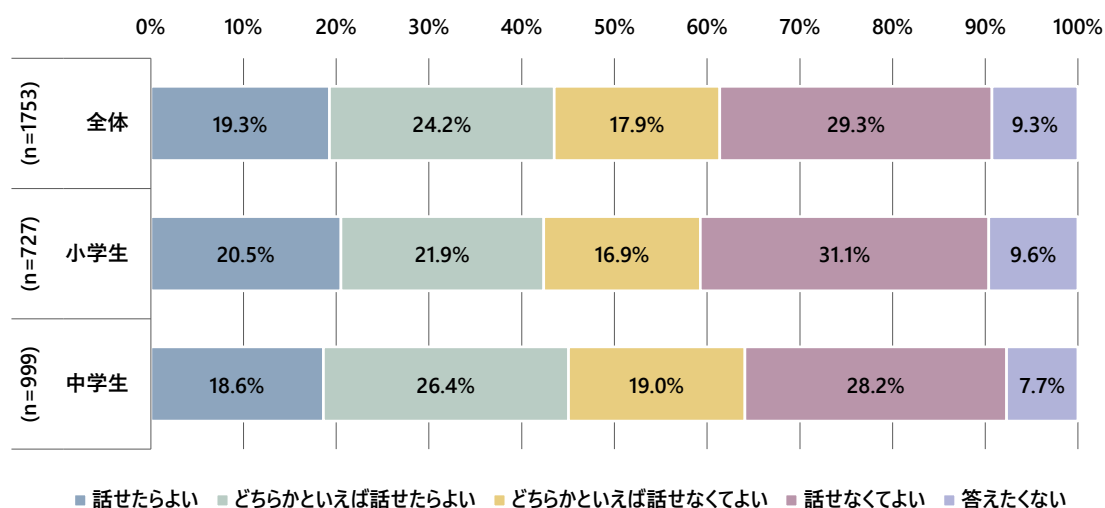
図表 154 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(学校の先生)(学校種別)



### 2)保健室の先生

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

図表 155 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(保健室の先生)(学校種別)

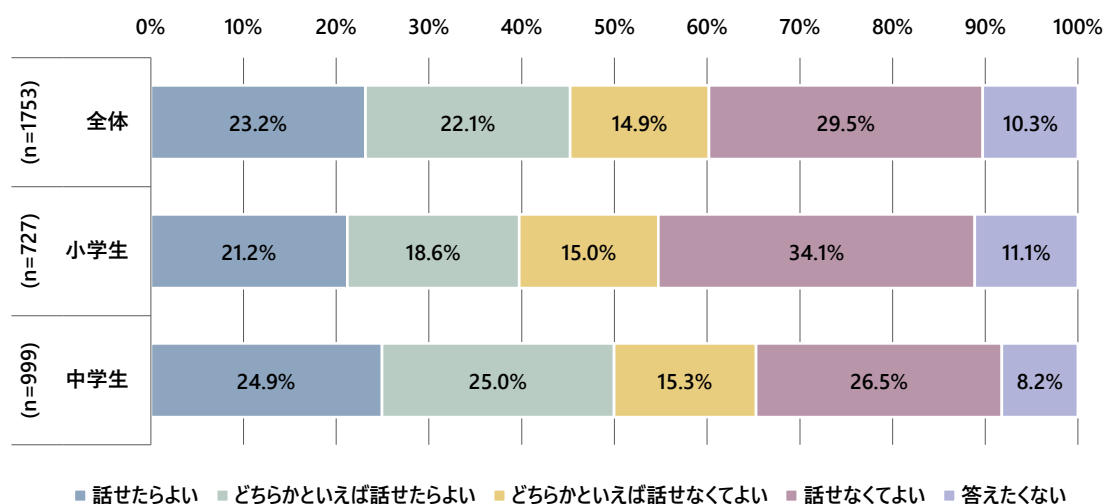




### 3) スクールカウンセラー

学校種別にみると、中学生において「話せたらよい」と「どちらかといえば話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

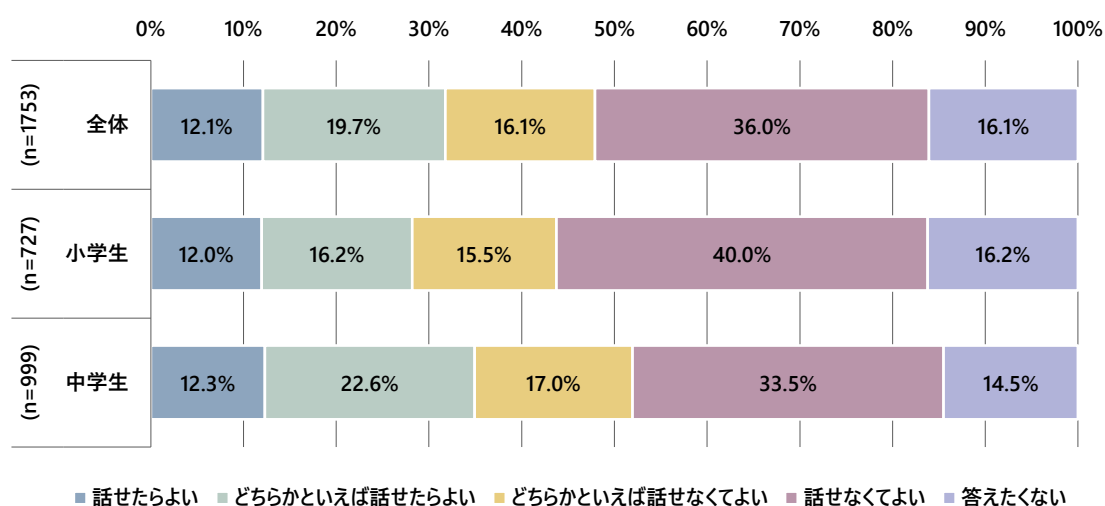
図表 156 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(スクールカウンセラー)(学校種別)



### 4) スクールソーシャルワーカー

学校種別にみると、中学生において「話せたらよい」と「どちらかといえば話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

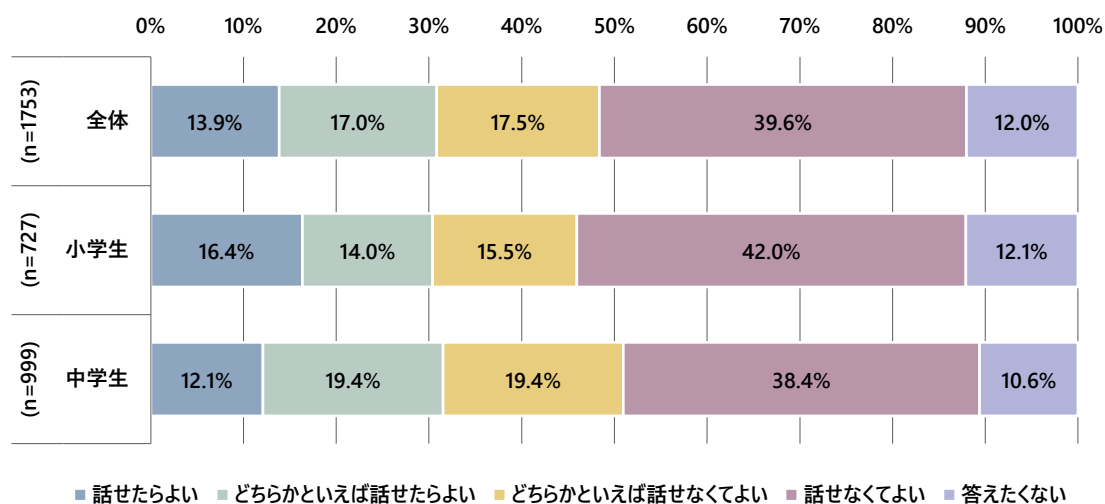
図表 157 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(スクールソーシャルワーカー)(学校種別)



## 5) 習い事の先生

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

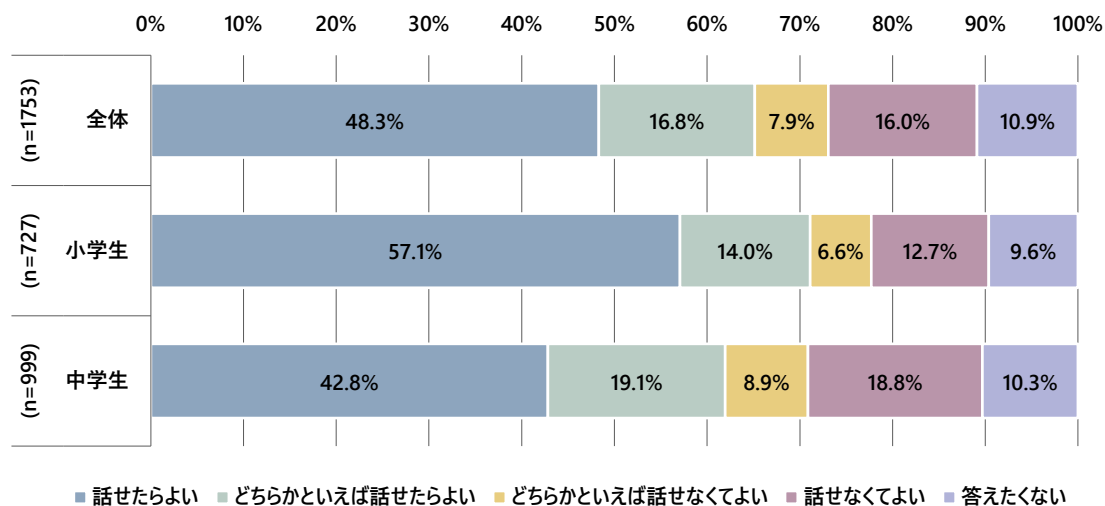
図表 158 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(習い事の先生)(学校種別)



## 6) お父さん

学校種別にみると、小学生において「話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

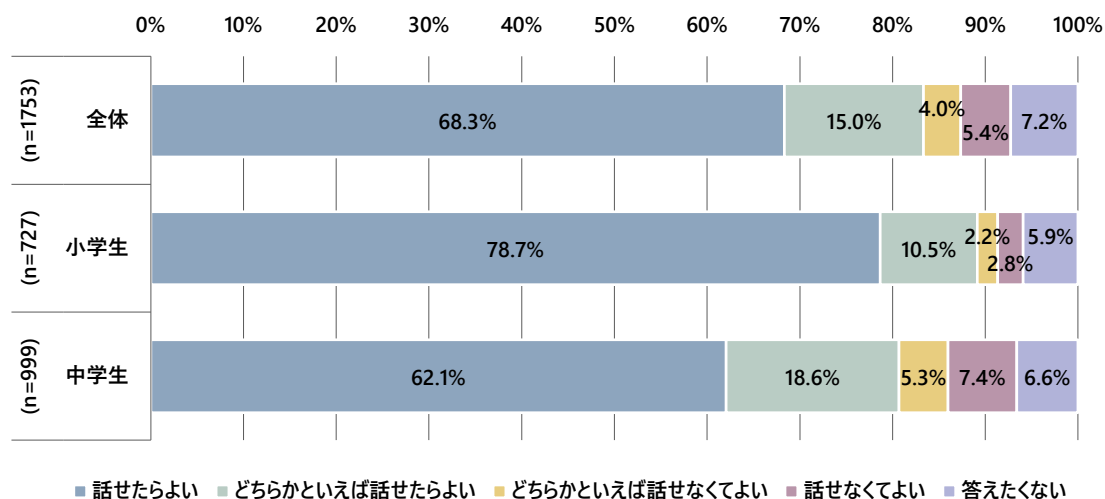
図表 159 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(お父さん)(学校種別)



## 7)お母さん

学校種別にみると、小学生において「話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

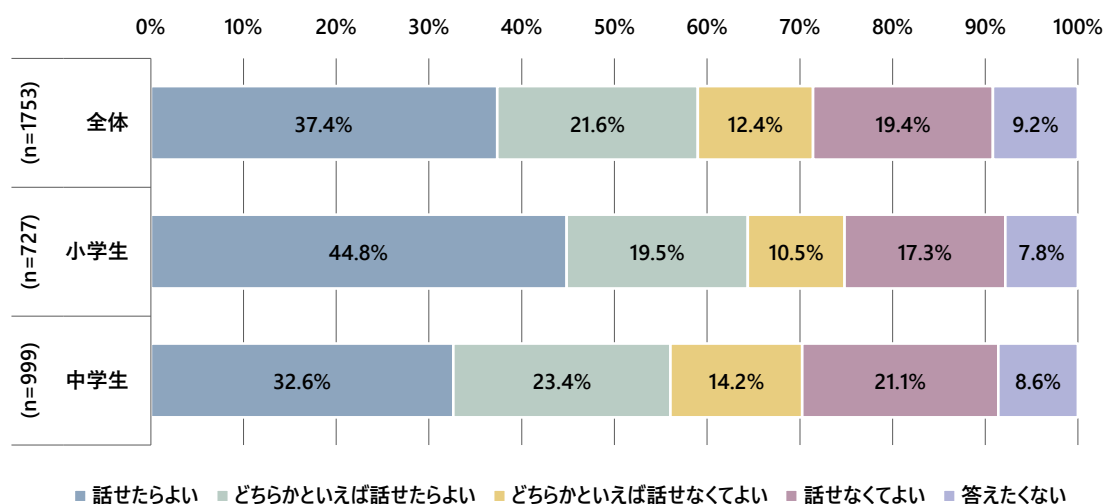
図表 160 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(お母さん)(学校種別)



## 8)おじいちゃん・おばあちゃん

学校種別にみると、小学生において「話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

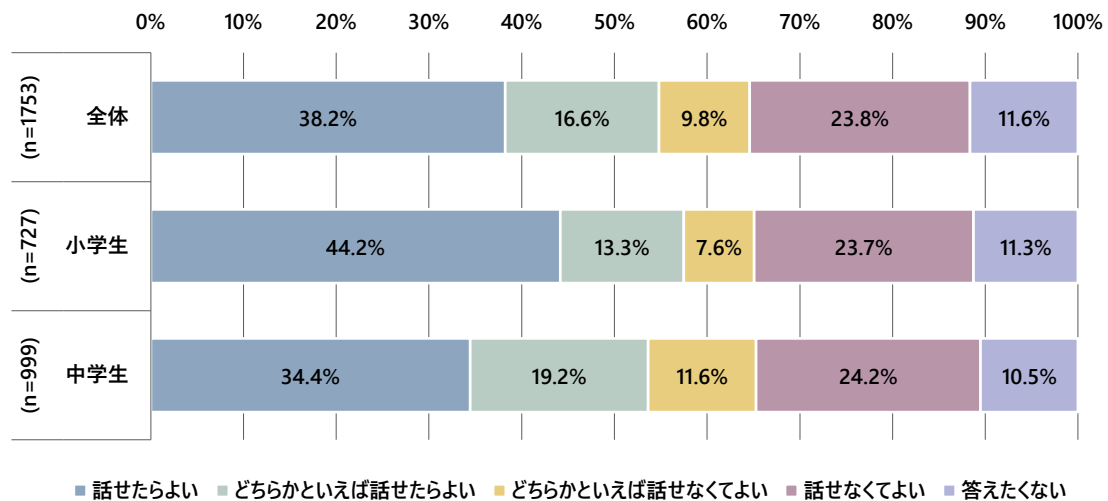
図表 161 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(おじいちゃん・おばあちゃん)(学校種別)



## 9)兄弟

学校種別にみると、小学生において「話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

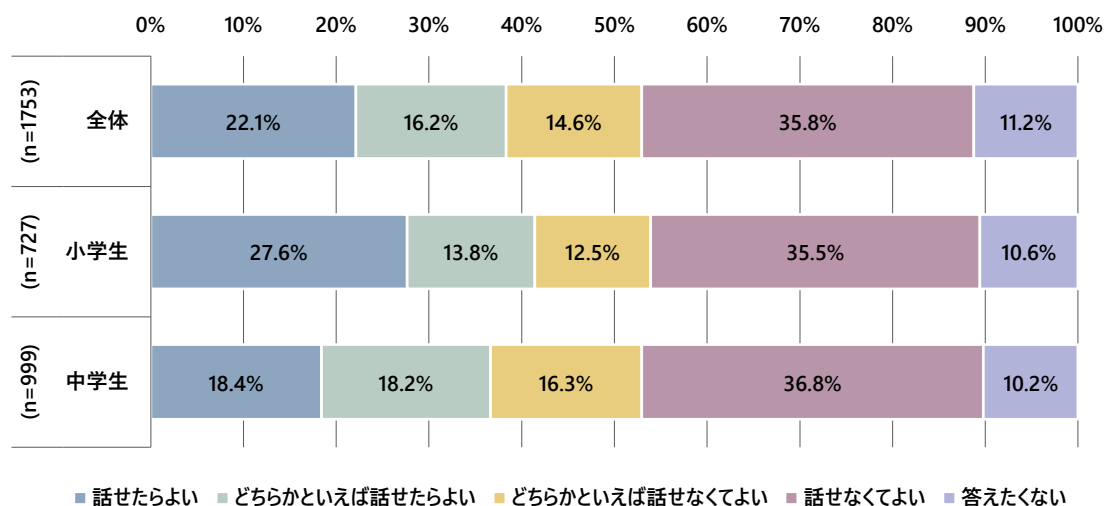
図表 162 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(兄弟)(学校種別)



## 10)いとこや親戚

学校種別にみると、小学生において「話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

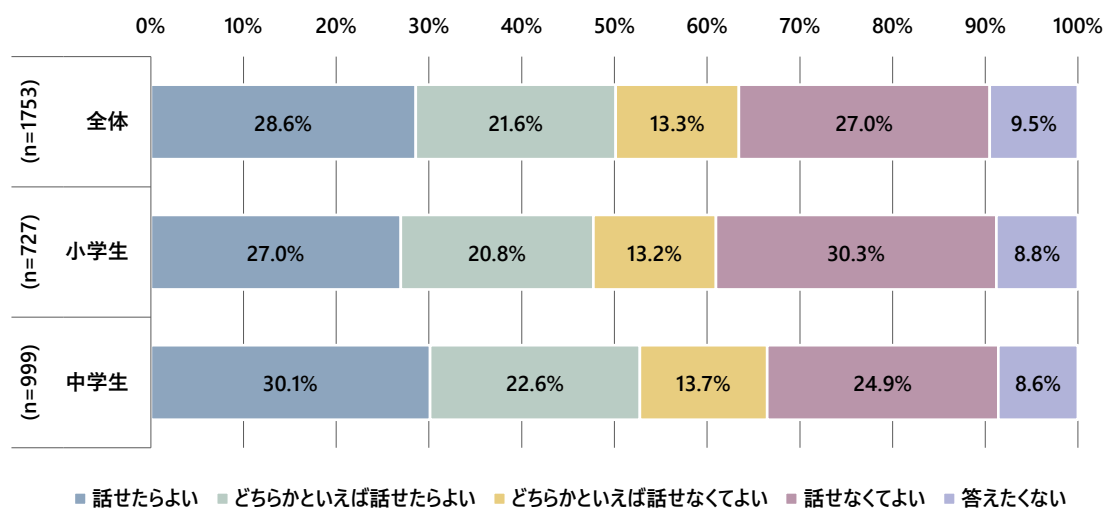
図表 163 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(いとこや親戚)(学校種別)



## 11) クラスの友達

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

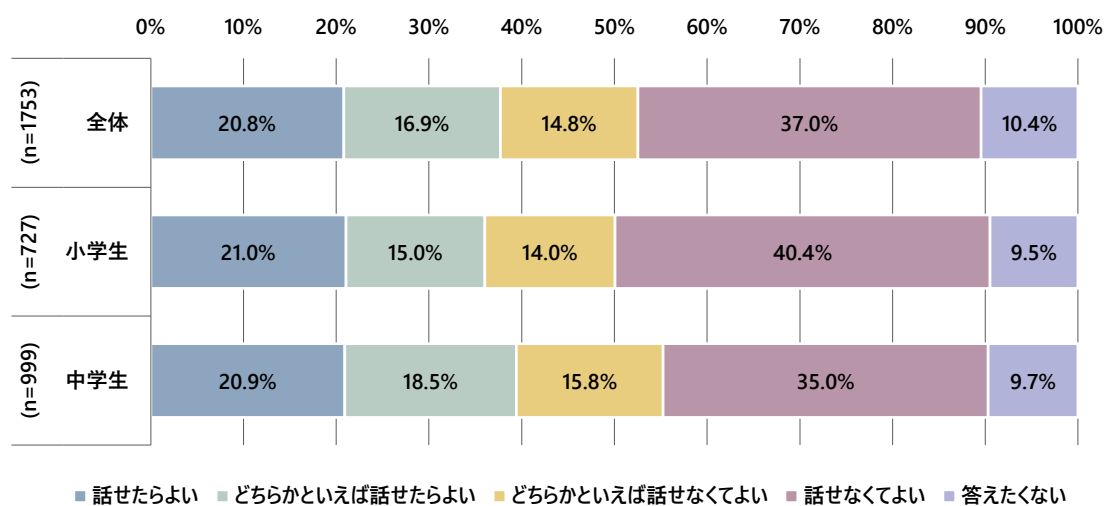
図表 164 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(クラスの友達)(学校種別)



## 12) 学校の友達

学校種別にみると、特段の傾向の差はみられなかった。

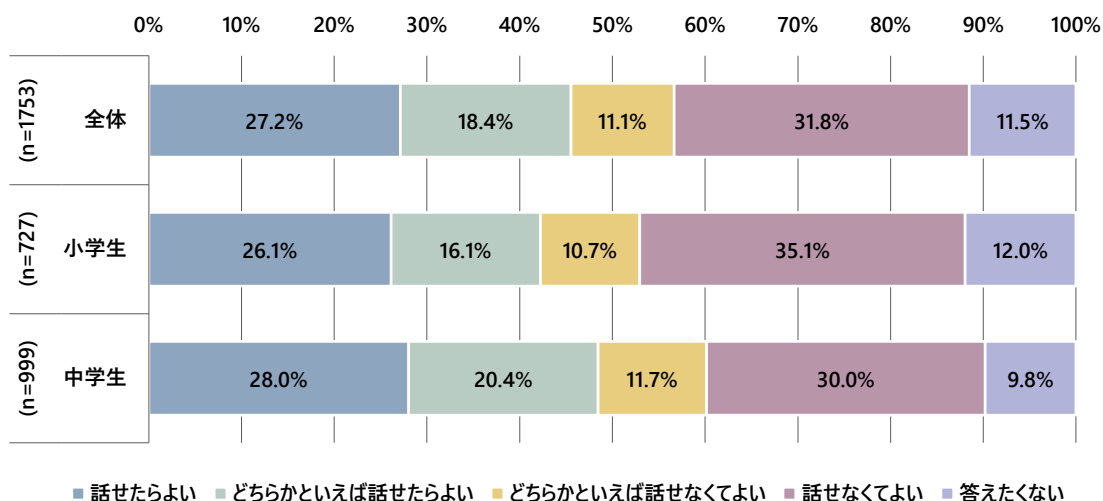
図表 165 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(学校の友達)(学校種別)



### 13) クラス・学校の友達ではない友達

学校種別にみると、中学生において「話せたらよい」と「どちらかといえば話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

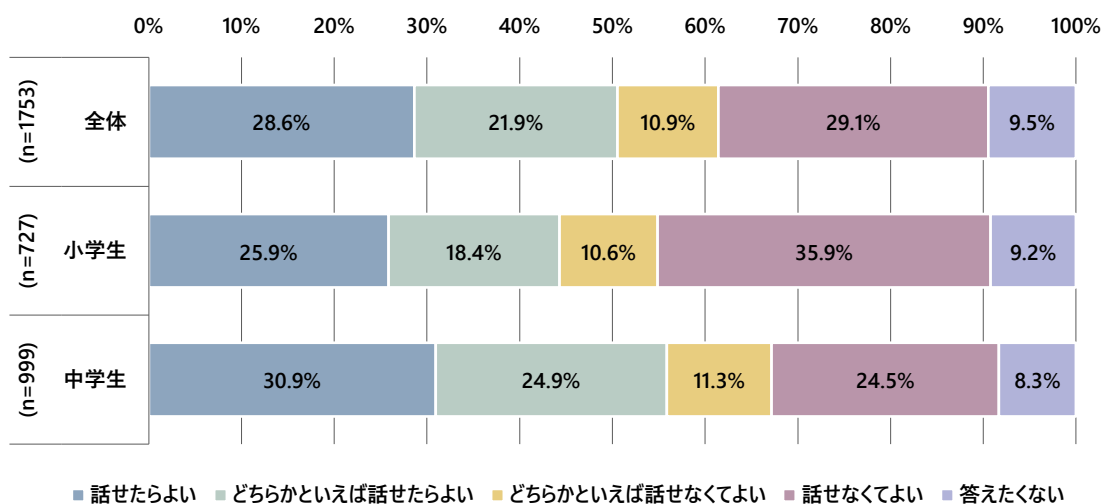
図表 166 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか  
(クラス・学校の友達ではない友達)(学校種別)



### 14) 病院の先生

学校種別にみると、中学生において「話せたらよい」と「どちらかといえば話せたらよい」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 167 学校で休んでいるときに話して(話せたら)よかったか(病院の先生)(学校種別)



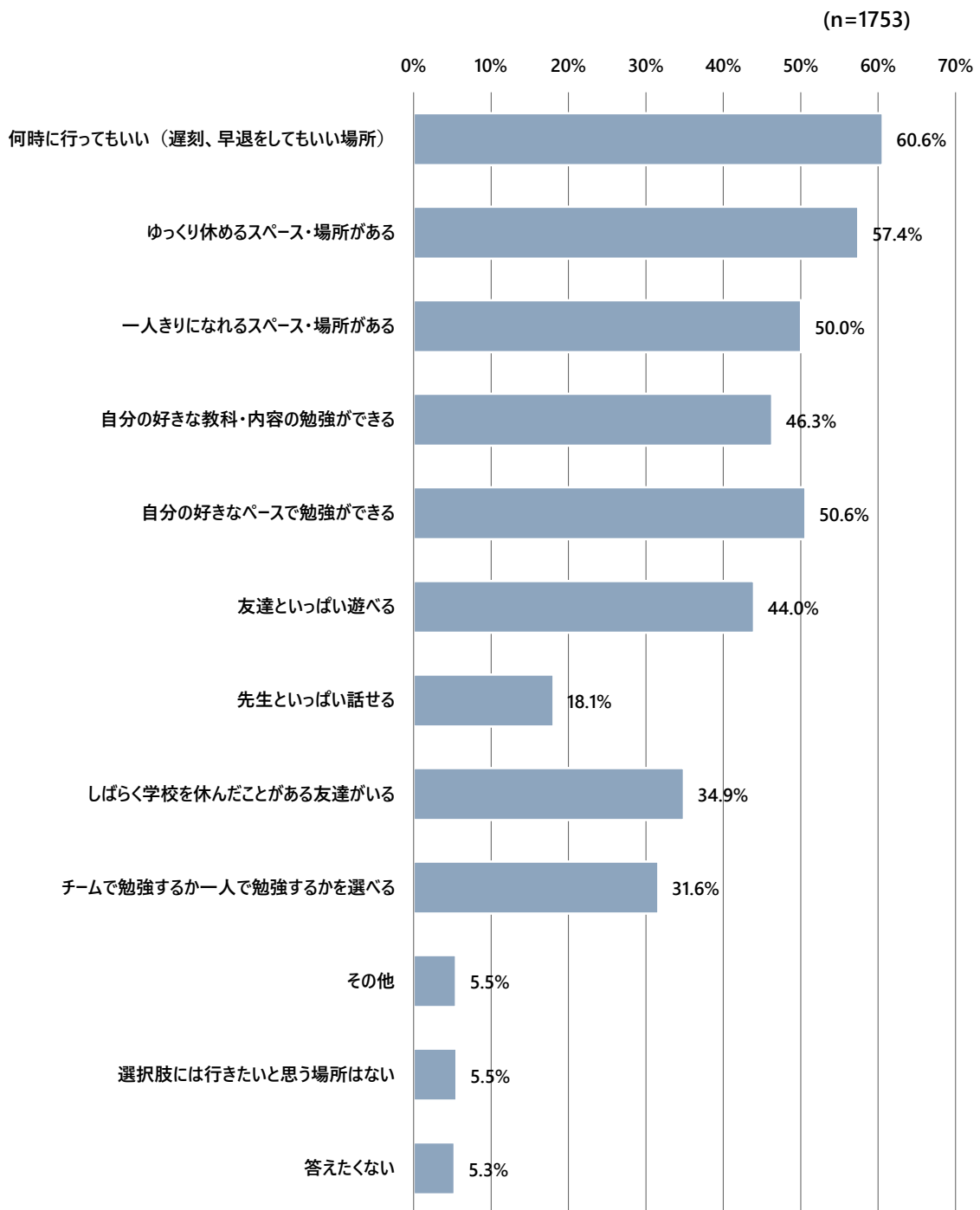
## ■支援や環境に対するニーズ

### (31)どんな場所なら行きたいと思うか

#### ①全体

どんな場所なら行きたいと思うかを尋ねたところ、「何時に行ってもいい（遅刻、早退をしてもいい場所）」の割合が最も高く 60.6%である。次いで、「ゆっくり休めるスペース・場所がある（57.4%）」、「自分の好きなペースで勉強ができる（50.6%）」である。

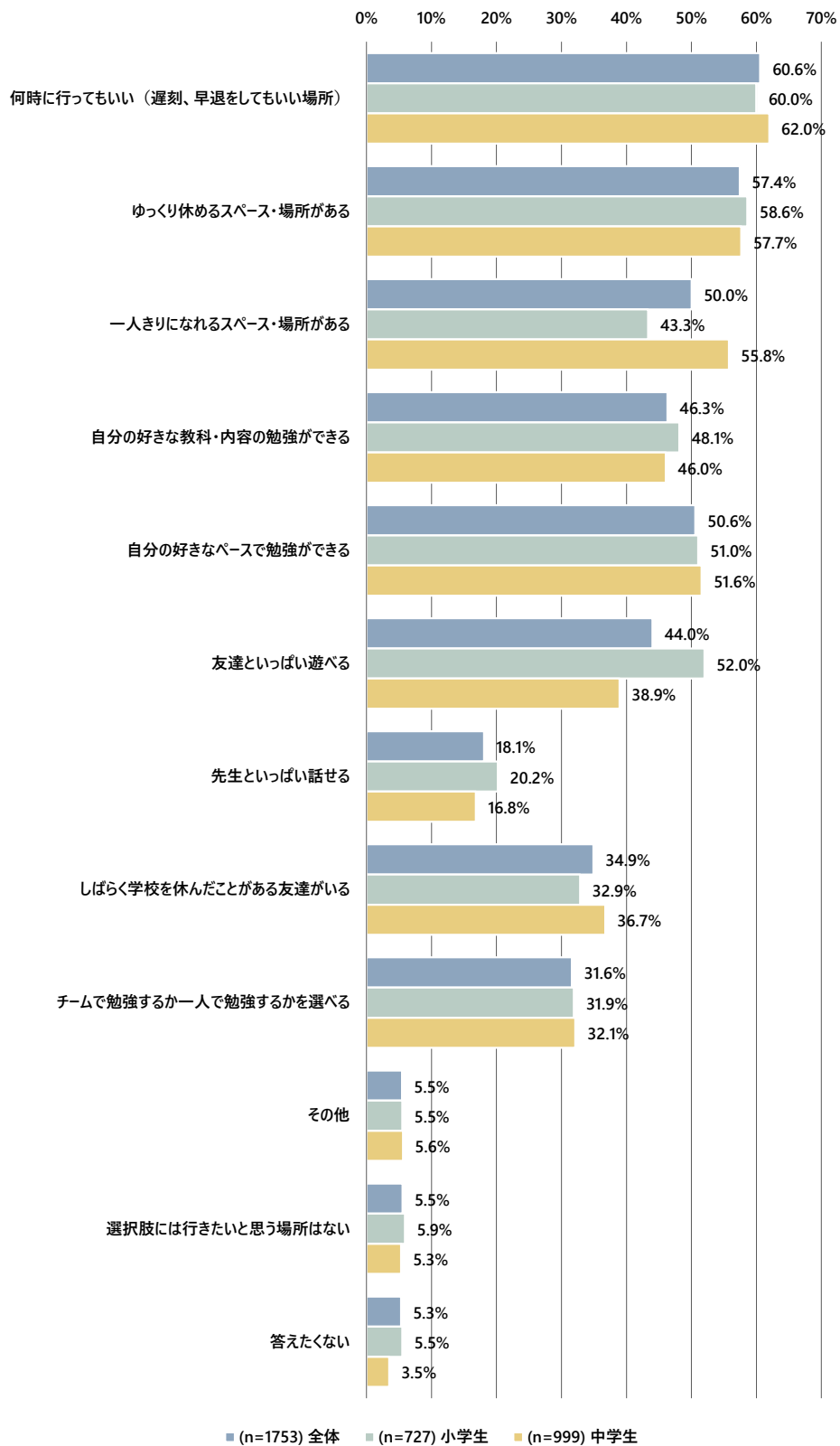
図表 168 どんな場所に行きたいか



## ②学校種別

学校種別にみると、小学生において「友達といっぱい遊べる」、中学生において「一人きりになれるスペース・場所がある」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 169 どんな場所に行きたいか(学校種別)



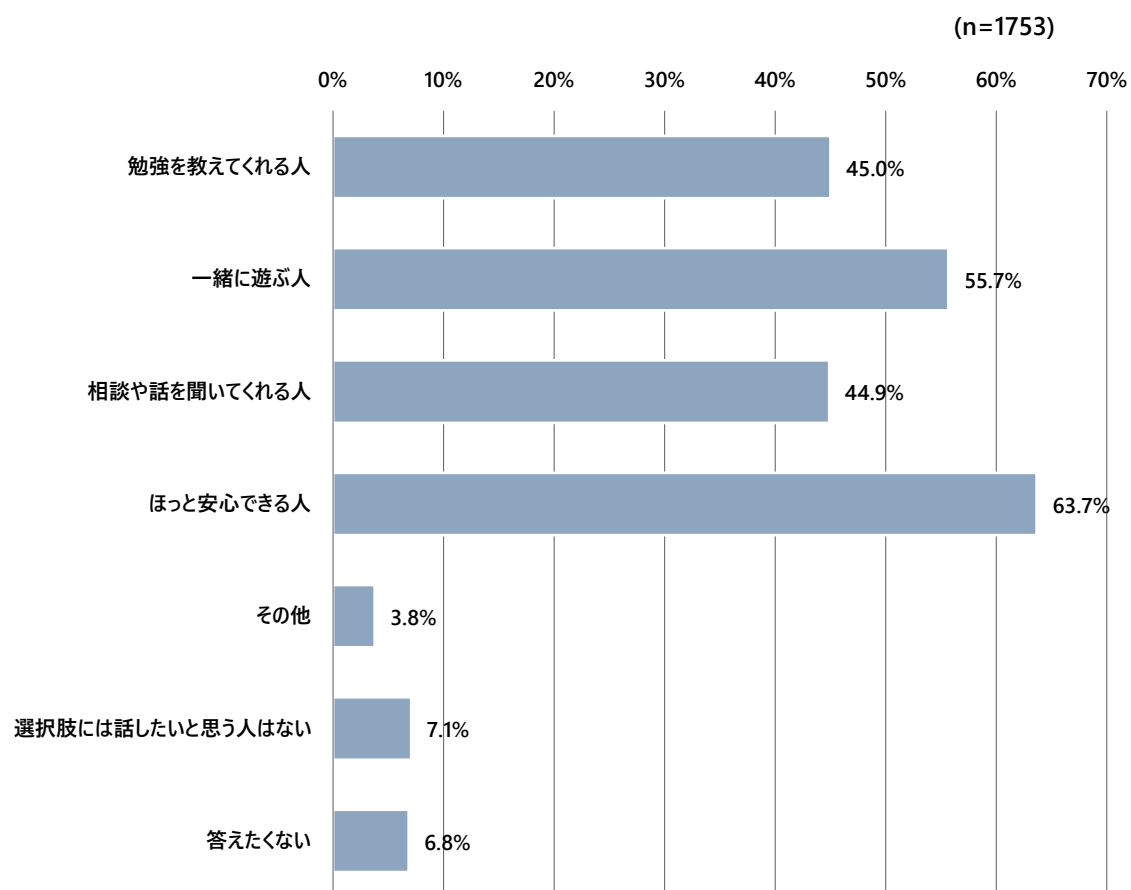


## (32)どんな人がいるといいか

### ①全体

学校を休んでいるときに、どんな人がいるといいと思うかを尋ねたところ、「ほっと安心できる人」の割合が最も高く 63.7%である。次いで、「一緒に遊ぶ人 (55.7%)」、「勉強を教えてくれる人 (45.0%)」である。

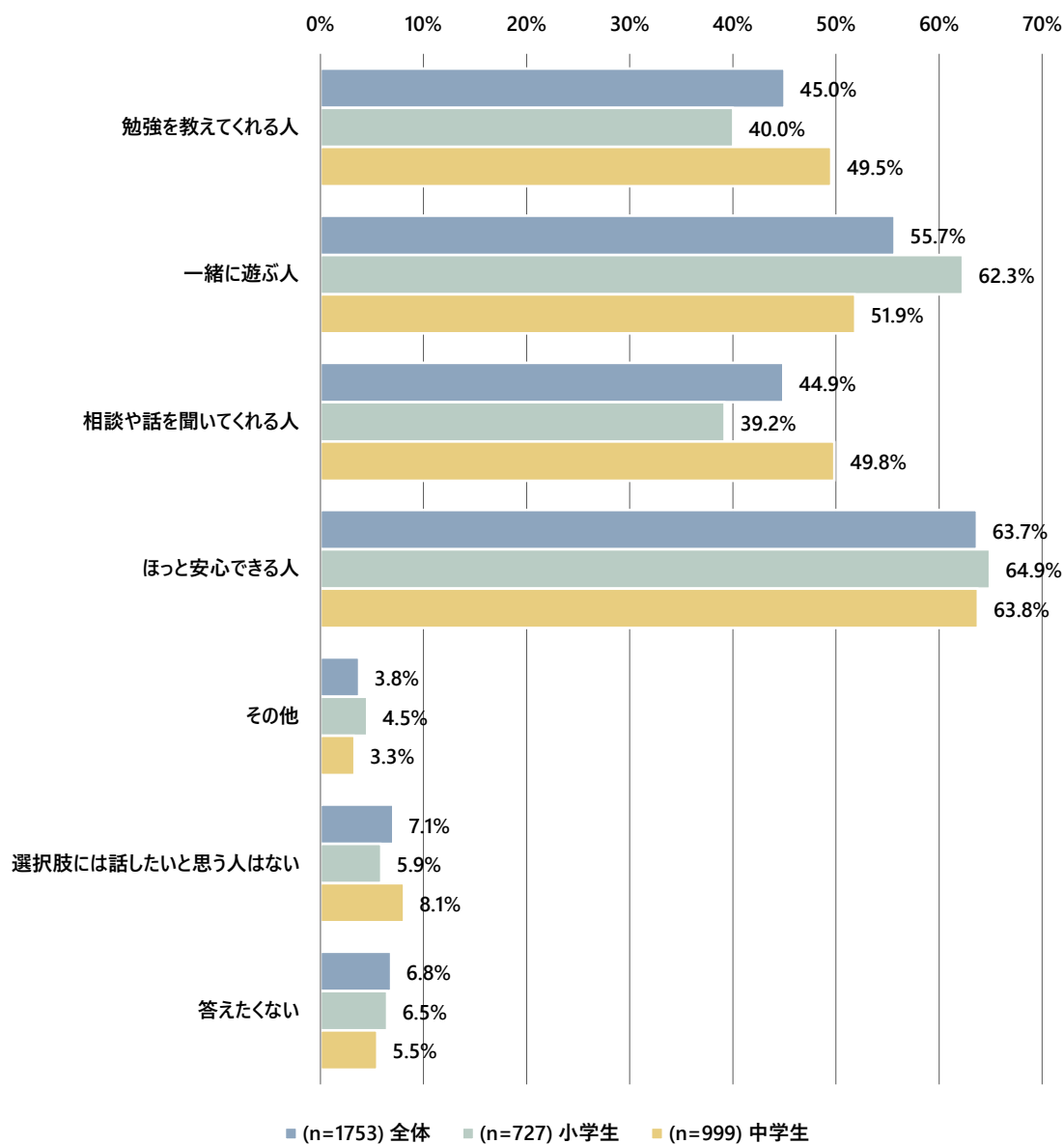
図表 170 どんな人がいるといいか



## ②学校種別

学校種別にみると、小学生において「一緒に遊ぶ人」、中学生において「相談や話を聞いてくれる人」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 171 どんな人がいるといいか(学校種別)

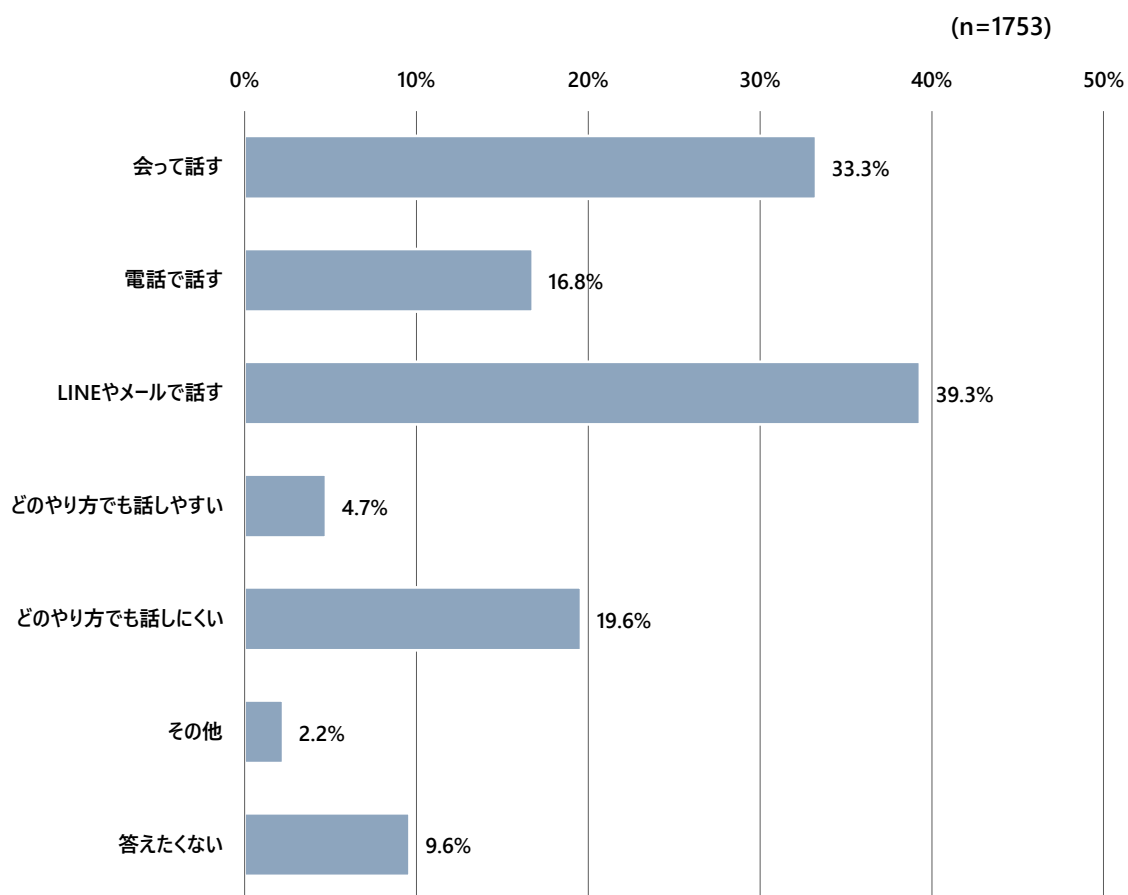


### (33)学校を休みたい気持ちを話す際、どの方法が話しやすいか

#### ①全体

学校を休みたい気持ちを話すときに、どんなやり方だと話しやすいかを尋ねたところ、「LINE やメールで話す」の割合が最も高く 39.3%である。次いで、「会って話す (33.3%)」、「どのやり方でも話しにくい (19.6%)」である。

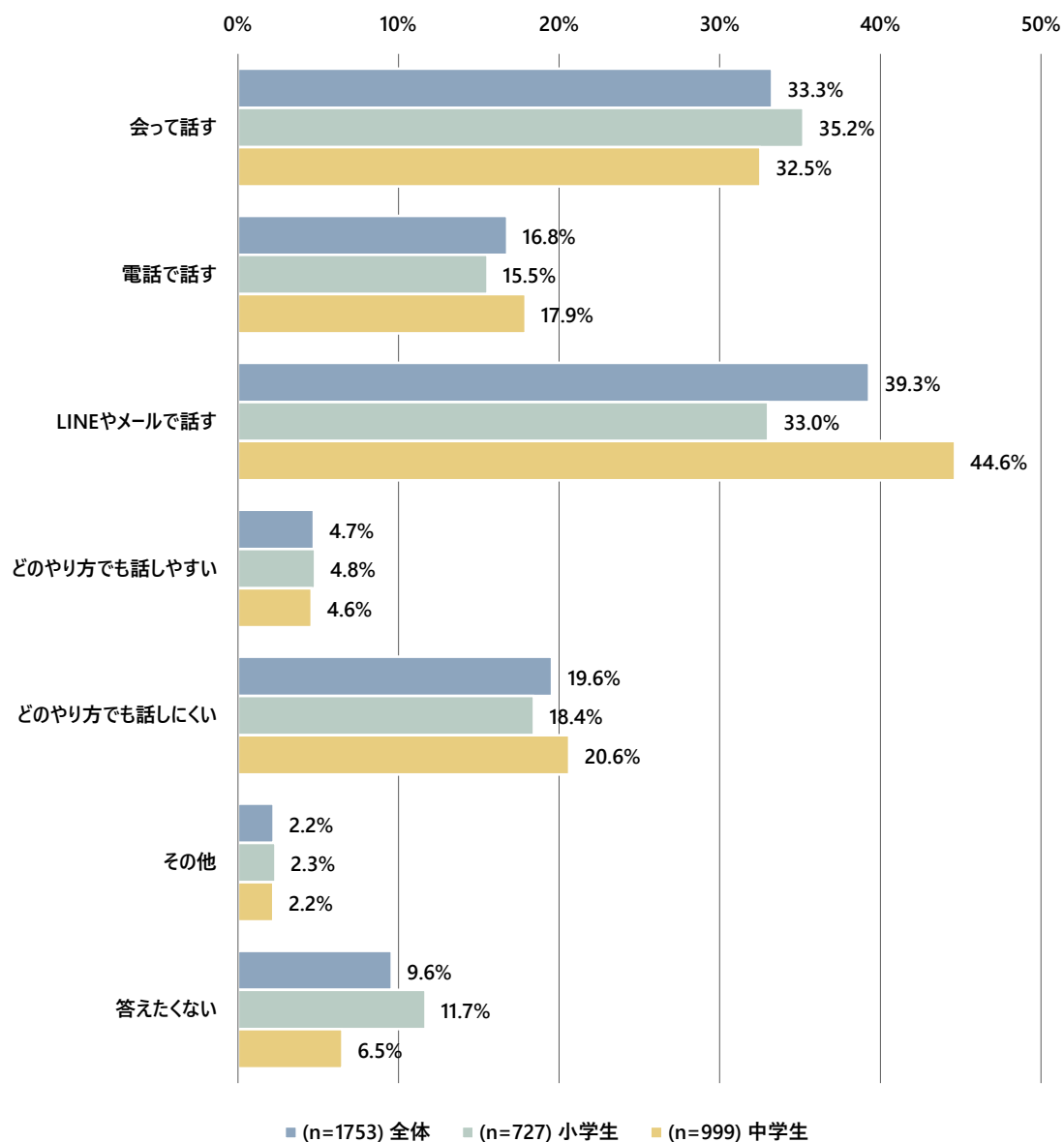
図表 172 学校を休みたい気持ちを話す際、どの方法が話しやすいか



## ②学校種別

学校種別にみると、中学生において「LINE やメールで話す」と回答した割合が高い傾向がみられる。

図表 173 学校を休みたい気持ちを話す際、どの方法が話しやすいか(学校種別)



### (34)不登校児童生徒への支援に関する自由意見

学校を休んでいる児童生徒がもっと過ごしやすくなるようにするにはどうしたらよいか考えるため、「こんな風にしてほしい」「こんな事がだめだと思う」といった気持ちや意見について尋ねた。以下、自由記述のうち、一部を抜粋して掲載している。

#### ①無理に学校に行かせないで欲しい

- ・ 先生が家に来て無理矢理学校に連れて行くのはやめてほしい。学校に通っている人が、登校できていない人に手紙を書かせるのをやめてほしい。先生やスクールカウンセラーと話するとき、学校を休んでいる理由などを聞き出さず、趣味や好きなものについて否定せず会話をして欲しい。
- ・ 学校の先生たちや周りの子達が『学校』に行くことが当たり前、行かなきゃいけない所だと考えていることを変えて行って欲しい。楽しいと感じるようなワークをたくさん取り入れて欲しい。
- ・ まずは本人の気持ちを聞いて欲しい。無理やり学校に連れて行かれると余計行きたくなくなるし、学校がもっと嫌になる。

#### ②同じ境遇の人たちの居場所・少人数クラスが欲しい

- ・ 学校の中で、少人数で受けられるクラスがあるといいと思う。自分のペースで勉強できるところ。
- ・ 不登校の人でも行きやすい居場所があるとすごくいい。例えば自分のやりたいことが自由にできたり、勉強をしなくてもよかったり、少人数や1人で過ごせたり、ゲームを持ち込んでもOKだったり。自分の意思が尊重される場所がいい。家から近いと通いやすい。
- ・ 不登校専用の学校を作る。
- ・ 性格の特性に合ったクラスをつくる。例えば、繊細（HSC）な子供が集まっているクラスなどがあれば、学校に行きやすいと思います。今、HSC の子供を主に対象にしているフリースクールに通っていてそこなら通いやすいです。休んでいる間の勉強が分からなくなってしまっているの、個別で教えてもらえる場所があればいいなと思います。
- ・ 行きたく無いと思い始めた頃なら校内フリースクールがあったらよかった。何時にいても良くて、落ち着いた子供たちが集まっている少人数クラスで図工や家庭科や理科の実験など自分が受けたい授業だけ通常学級で受けられたらよかった。

#### ③学校以外の居場所(フリースクール等)を増やしてほしい

- ・ 自分に合うフリースクールがあって良かったと思っています。友達もできて楽しいし、勉強も教えてもらえて不安が減ります。
- ・ フリースクールが増えてほしい。生徒に会わずにプリントなどを貰える場所、時間があったらいいと思う。

- ・ フリースクールを増やしてほしい。場所によっては、通うことのできない子供たちもいます。(遠くてとか親の送迎ができないとか) 自分の住んでいるところ以外のフリースクールもあるが、週3回だったり丸1日やってないなど制限もあるので学校のよ  
うな時間帯で、活動はフリースクールのような場所があると助かります。送迎の車も  
あると助かる。フリースクールに行きたいのに中々これない友達もいます。(今フリ  
ースクールに行ってるので)
- ・ 学校の外に、ホッとできる場所があるといい。適応指導教室が、もっと近くにあれば  
いい。
- ・ 適応教室や別室を学校以外の場所に設置して欲しい。学校に行けないのに校内にそう  
いった教室やスクールカウンセラーの相談室があるのでは、本末転倒です。
- ・ 学校じゃない行ける場所を作ってほしい。少ない人数でよく分かってくれる先生のい  
る場所がいい。

#### ④自分のペースで学びたい

- ・ 拘束時間が長いから 午前中だけ 午後だけ とかにしてほしい。好きな時間に行って  
好きな時間で帰りたい。
- ・ 私は、ゆっくり休めて好きな時に好きな勉強できる場所がほしい!
- ・ 行きたい時に行って、帰りたいときに帰れる。やりたい教科を選べる。自分のペース  
で勉強を進められる。
- ・ 自分の場合は、起立性調節障害がある為。普通の時間の生活にはついて行けない為自  
由登校でも学べれば良いと思う。
- ・ 好きな時にきて、自由にして、少しずつ学校にくる回数を、多くできればいいと思っ  
ている。

#### ⑤オンラインでの授業参加やコミュニケーションを行いたい

- ・ 学校の先生方や、スクールカウンセラーの方に、対面ではなく手紙やメールなどで相  
談できるシステムがあったら良いと思います。私が学校に行っていない時は人とコミ  
ュニケーションをとる事が苦手であり直接話したくないと思っていたので、私と同  
じような人は電話や対面だけでは思うように話しにくいのではないかと感じました。
- ・ 今はオンライン授業をあまり対応していないので、行けない日はオンラインで参加で  
きるようにしておいてほしい。
- ・ 学校を長期間休んでいると勉強へついていけていけるのかという不安を感じるものが  
あったので、家からでも学校の学習に参加することができるシステムがあると助かる  
と思います。

#### ⑥相談しやすいカウンセラーや先生が欲しい

- ・ 自分が信頼できるカウンセラーさんやソーシャルワーカーさんと直ぐに会えるよう  
にしてほしい。見守っていてほしい。

- ・ 学校のソーシャルワーカーの方とは連絡がつかずに話せませんでした。もう少し保護者でも気軽に相談できる第三者がいたら良いと思います。
- ・ スクールカウンセラーの人との交流をもっと気軽にしてほしい。学校に行きたくないって悩みを話すために、時間をかけたくないと思ったり行くまでに辛くなったりしてわざわざこのために相談室に行こうって思うことがなくなってしまう。
- ・ 子供に優しくせっしてくれて、きつい言葉を使わない先生がいいと思います。
- ・ 先生が、生徒の話を聞いてあげる事。
- ・ 先生がもっと児童目線で気持ちを考えて欲しい。意見を否定する先生が多い。

#### ⑦学校に行っても普通に接して欲しい

- ・ 学校に行ったときに大声で囲まないでほしい。今までと同じように接してほしい。
- ・ 久しぶりに学校にいったときに自然に迎え入れてほしい。
- ・ 不登校に対しての先生の対応は、他の生徒とあまり変わりなく接した方が良いと思う。学校久しぶりに行った時、すごいじゃん！がんばったね！とか過剰に褒めるのは少し肩身が狭く感じる。
- ・ たまに登校した時、クラスの子から注目される事が嫌です。
- ・ 休んでいる人が来た時に、あまりじろじろ見ないでくれるとうれしいです。

#### ⑧いじめを解決してほしい

- ・ いじめが放置されるのがだめだとおもいます。
- ・ いじめをちゃんと認められる学校があればいいと思います。
- ・ いじめられた人の気持ちを考えて欲しい。いじめた人の味方をしないで欲しい。